

# NAGOYA UNIVERSITY

PROFILE 2025

名古屋大学プロフィール

## Contents

- 02 総長メッセージ
- 04 Nextビジョン2027
- 14 数字で見る名古屋大学
- 16 沿革・歴代総長
- 18 ノーベル賞・文化勲章等 各賞受賞者

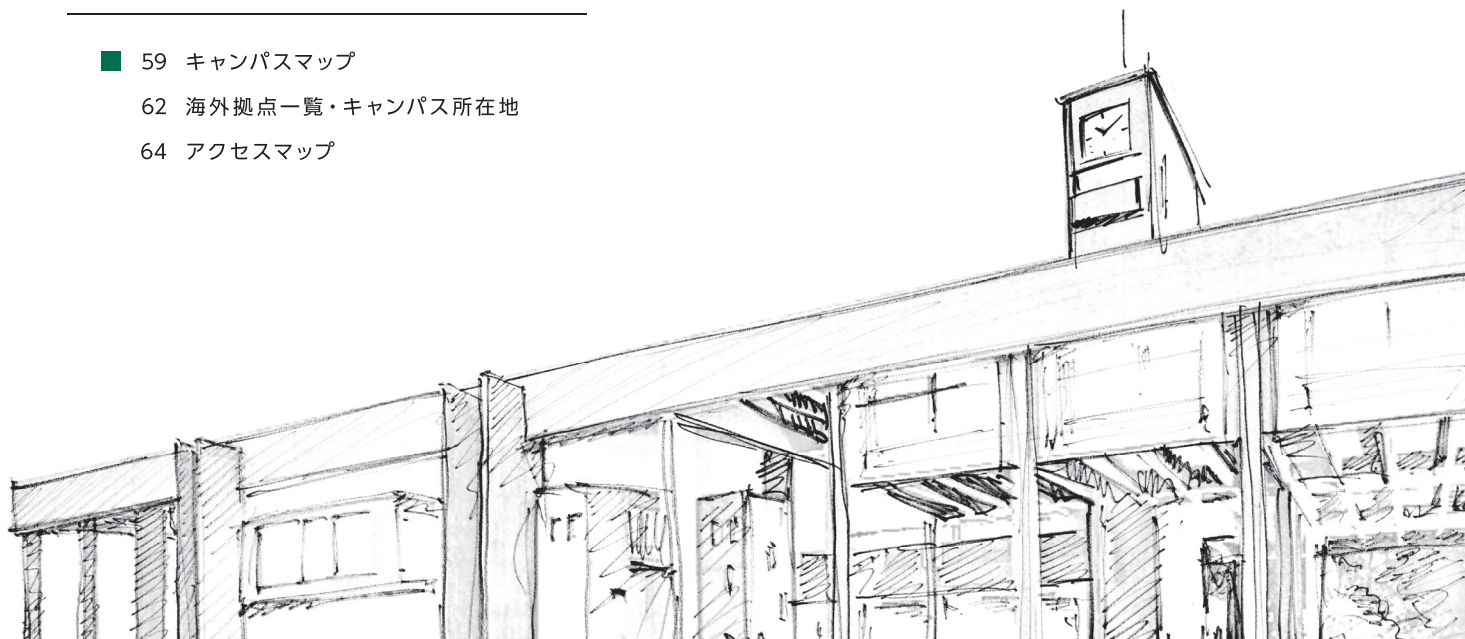
- 
- 20 組織
  - 22 役職員
  - 24 教育研究組織
  - 30 役員・教職員数

- 
- 34 学生数
  - 35 入学者数
  - 37 卒業・学位授与者数
  - 38 卒業・修了後の進路

- 
- 40 主な教育・研究プログラム
  - 43 国際交流
  - 50 社会との連携

- 
- 52 財政
  - 52 外部資金等
  - 55 諸施設
  - 57 土地及び建物

- 
- 59 キャンスマップ
  - 62 海外拠点一覧・キャンパス所在地
  - 64 アクセスマップ



# 名古屋大学学術憲章

名古屋大学は、学問の府として、大学固有の役割とその歴史的、社会的使命を確認し、その学術活動の基本理念をここに定める。

名古屋大学は、自由闊達な学風の下、人間と社会と自然に関する研究と教育を通じて、人々の幸福に貢献することを、その使命とする。とりわけ、人間性と科学の調和的発展を目指し、人文科学、社会科学、自然科学をともに視野に入れた高度な研究と教育を実践する。このために、以下の基本目標および基本方針に基づく諸施策を実施し、基幹的総合大学としての責務を持続的に果たす。

## 1. 研究と教育の基本目標

---

- (1) 名古屋大学は、創造的な研究活動によって真理を探究し、世界屈指の知的成果を産み出す。
- (2) 名古屋大学は、自発性を重視する教育実践によって、論理的思考力と想像力に富んだ勇気ある知識人を育てる。

## 2. 社会的貢献の基本目標

---

- (1) 名古屋大学は、先端的な学術研究と、国内外で指導的役割を果たしうる人材の養成とを通じて、人類の福祉と文化の発展ならびに世界の産業に貢献する。
- (2) 名古屋大学は、その立地する地域社会の特性を生かし、多面的な学術研究活動を通じて地域の発展に貢献する。
- (3) 名古屋大学は、国際的な学術連携および留学生教育を進め、世界とりわけアジア諸国との交流に貢献する。

## 3. 研究教育体制の基本方針

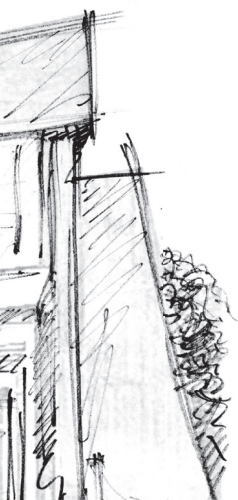
---

- (1) 名古屋大学は、人文と社会と自然の諸現象を俯瞰的立場から研究し、現代の諸課題に応え、人間性に立脚した新しい価値観や知識体系を創出するための研究体制を整備し、充実させる。
- (2) 名古屋大学は、世界の知的伝統の中で培われた知的資産を正しく継承し発展させる教育体制を整備し、高度で革新的な教育活動を推進する。
- (3) 名古屋大学は、活発な情報発信と人的交流、および国内外の諸機関との連携によって学術文化の国際的拠点を形成する。

## 4. 大学運営の基本方針

---

- (1) 名古屋大学は、構成員の自律性と自発性に基づく探究を常に支援し、学問研究の自由を保障する。
- (2) 名古屋大学は、構成員が、研究と教育に関わる理念と目標および運営原則の策定や実現に、それぞれの立場から参画することを求める。
- (3) 名古屋大学は、構成員の研究活動、教育実践ならびに管理運営に関して、主体的に点検と評価を進めるとともに、他者からの批判的評価を積極的に求め、開かれた大学を目指す。



# 総長メッセージ



名古屋大学は、  
勇気ある知識人を育成し、尖った研究力を磨き、  
社会課題、人類課題の解決に貢献します

名古屋大学総長 杉山 直

計画・方針等

第4期  
中期目標・  
中期計画



名古屋大学の  
教育を支える  
3つの方針





名古屋大学は1871年に創設された仮病院・仮医学校に源流をもち、1939年には医学部と理工学部を設置する帝国大学として発足し、1949年に新制名古屋大学として再出発しました。

戦後すぐ、国を立て直さなければならなかった当時の名古屋大学は、総合大学として誕生したばかりで、選りすぐりの「活きの良い」若手研究者たちが集い、さながら梁山泊のような様相であったと想像されます。そこでは、自由闊達な学風が生まれ、世界に類のない質が高くオリジナルな研究が展開されていきました。この若い息吹がその次の世代に伝わり、6人のノーベル賞受賞者に代表される研究成果へと結実し、世界トップレベルの研究大学へのあゆみを進めてきました。同時に、産業集積地である東海地方を代表する大学として産業界にも数多の人材を送り出し、イノベーションを牽引してきました。

現在では9学部、13研究科を擁する日本を代表する総合研究大学へと成長しましたが、国立大学をめぐる環境は、2004年の法人化以降目まぐるしく変わっていています。名古屋大学は、世界と

伍して、国際的に卓越した教育研究、社会実装を推進する3類型の大学となり、2018年には、世界最高水準の教育研究活動の展開が相当程度見込まれる国立大学として、指定国立大学法人に選ばれています。

現状に甘んじることなく、次のステップを踏み出していくために、2020年には岐阜大学と法人統合を果たし、東海国立大学機構を発足させ、2022年度には、「教育・人材育成」「研究・価値創造」「社会連携・産学連携」「国際展開」の4つの事業を強力に推進するため「Nextビジョン2027」を策定しました。

キャンパスに世界中から優れた研究者や学生が集い、名古屋大学からも世界中に人材が飛躍していくというダイナミックな交流が展開されること、社会課題・人類課題と向き合い、基礎的研究面でのインパクト(アカデミック・インパクト)と社会への発信・人類課題解決へのインパクト(ソーシャル・インパクト)の最大化を目指して、絶えることのない挑戦を続けていきます。

# 名古屋大学のNextビジョン2027と戦略

## －世界と伍する研究大学を目指します－

名古屋大学は、自由闊達な学風の下、研究と教育を通じて人々の幸福に貢献することを目指して、2027年までのビジョンと戦略を策定しました。

### ミッション

自由闊達な学風の下、研究と教育を通じて新たな価値を創造し  
人々の幸福に貢献する。

- 創造的な研究活動によって真理を探究し、世界屈指の知的成果を産み出す。
- 自発性を重視する教育実践によって、論理的思考力と想像力に富んだ勇気ある知識人を育てる。
- 先端的な学術研究と、国内外で指導的役割を果たしうる人材の養成とを通じて、人類の福祉と文化の発展ならびに世界の産業に貢献する。
- 立地する地域社会の特性を生かし、多面的な学術研究活動を通じて地域の発展に貢献する。
- 国際的な学術連携および留学生教育を進め、世界とりわけアジア諸国との交流に貢献する。
- 東海国立大学機構とともに、知とイノベーションのコモンズとして国立大学の新たな形を追求し続ける。

### 強み

- ノーベル賞に代表される尖った研究力(国際高等研究機構)
- ものづくりの拠点 東海地域の立地に基づいた産学官連携の推進(未来社会創造機構)
- 社会課題解決のための独立研究科の設置(国際開発研究科・環境学研究科)
- アジアサテライトキャンパスを中心としたアジア展開
- リーディング・卓越大学院に代表される博士教育(博士課程教育推進機構)
- He For Sheを代表とする女性活躍

### Nextビジョン2027

世界屈指の研究大学へ、  
進化し続け未来を拓く  
名古屋大学

学び働くことに  
誇りと喜びを感じる  
名古屋大学

## 4つの戦略

[戦略]

1

教育・  
人材育成高大接続から大学院、学び直しまでシームレスに紡ぐ  
国際通用性のある教育・人材育成

- 1 国際通用性のある新たな教養基礎教育の確立
- 2 国内外から多様で優れた学生を獲得、積極的な交流を通じインクルーシブなキャンパスを実現
- 3 既存の学問領域の枠にはまらない大学院学位プログラムの設置
- 4 博士人材育成に向けた積極的経済支援とキャリア形成サポートの充実
- 5 リカレント・リスキリング教育の充実、拡大



[戦略]

2

研究・  
価値創造世界トップ研究者が集う知の梁山泊が生み出す  
知的成果の創出と価値化

- 1 知の地平線を広げ、新たな「知」を集積する基礎研究と、集積された知を価値化し、社会実装・社会変革につなげる応用研究の両輪で生み出す世界屈指の研究成果
- 2 名古屋大学の研究者を核に卓越教授など国内外のトップ研究者が集う中核的研究拠点の形成と若手中心萌芽の拠点の積極的育成
- 3 大学院後期課程から博士研究員(新たなポストドクポジション)、若手教員、PIまで、シームレスに支援する若手支援総合パッケージ構築
- 4 支援スタッフ増員とコアファシリティの整備(機器共用)による研究専念環境構築
- 5 多様な研究者がアンダーワンルーフで集い連携し、融合研究を育み新たな分野を創造



[戦略]

3

社会連携・  
産学連携世界有数の産業集積地に根ざし、新たな価値を創造し  
グローバル/ローカル課題の解決に貢献

- 1 スタートアップ共成長パッケージに基づく、未来創造マインドの醸成と起業支援による新たな産業エコシステムの創成
- 2 大学の総合知を結集したカーボン・ニュートラル実現をはじめとするグローバル課題の解決
- 3 パートナー企業との戦略的連携、ディープテックベンチャーによる社会課題解決の加速とグローバル展開



[戦略]

4

国際展開

ニューノーマル時代の新たな国際展開

- 1 戦略的パートナー大学との連携で進める世界トップレベルの国際共同研究、頭脳循環促進、国際共修、スタートアップ推進
- 2 グローバル・マルチキャンパスを活用したテラーメイド型留学、国際プログラムなどによる双方向の留学生数の飛躍的増加
- 3 国際広報の強化による研究成果の積極的な海外への発信とレピュテーションの向上

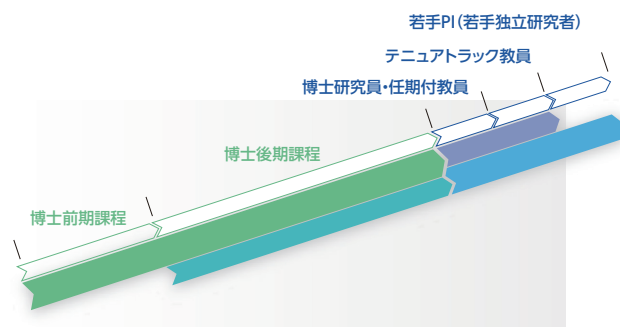


## 大学運営方針

- 1 総長・執行部と部局長・部局構成員との対話と改革理念の共有を通じた大学将来像の共有
- 2 トータルバジェットに基づいた資源の戦略的配分と事業ポートフォリオ  
名古屋大学基金をコアとしたエンダウメントの醸成
- 3 執行部、教員、職員、学生すべてについて多様性(女性、外国人など)と包摂性による組織活性化を確保

## グローバル社会とアカデミアに貢献する人材を育成・支援する、総合的な取り組み

名古屋大学では、国内外から優秀な人材を惹きつけ、育成し、社会に輩出するため、大学院教育から若手研究者支援までシームレスに続く総合的な育成・支援パッケージを構築し、世界基準の研究者育成の取り組みを展開しています。



### 博士課程教育支援

社会に貢献できる専門家として活躍するには、専門領域の深い学識と卓越した能力に加えて、関係者との協働ネットワークを創造発展させる「PhDスキル」が不可欠です。文部科学省の大型教育研究プロジェクトをテコに大学院生への経済的支援、多様な専門家や人々と交流・協働する中で高いスキルが培われる環境・制度を整えています。

#### 1 博士課程教育推進機構

##### 博士前期課程／博士後期課程

世界屈指の水準の博士課程教育を実現し、学术界のみならず、産業界、国際機関等、日本国内外のあらゆるところで活躍し得る博士人材の育成を目的とし、6件の博士課程教育リーディングプログラムで培った知見や成果を全学に展開するため設置されました。

全学共通科目（プロフェッショナルリテラシー）の全学展開／トランスファラブルスキルの各種取組の実施／JASSO海外留学支援制度の採択・実施／企業と博士人材の交流会等キャリア支援の実施／卓越大学院プログラム（4プログラム）採択／科学技術イノベーション創出に向けた大学フェロシップ創設事業の採択・実施／次世代研究者挑戦的研究プログラムの採択・実施／教育プログラム履修生の授業料免除

#### 2 卓越大学院プログラム

##### 博士前期課程／博士後期課程

博士課程教育リーディングプログラムの後継として卓越大学院プログラムを4プログラム展開しています。全プログラム合計で300名を超える大学院生が、経済支援を受けながら研究に加え、企画力や統率力などのトレーニングにも取り組み、海外大学での研修、異なる専門の大学院生との協働、企業との共同研究、スタートアップ研修起業の訓練、海外インターンシップなどを実践。有力企業の専門家との交流や協働も日常的に行われています。

### 博士前期課程

- 1 博士課程教育推進機構
- 2 卓越大学院プログラム



トランスフォーマティブ化学生命融合研究大学院プログラム（2018年度～）／未来エレクトロニクス創成加速DII協働大学院プログラム（2018年度～）／情報・生命医科学コンボリューション グローカルアライアンス卓越大学院プログラム（2019年度～）／ライフスタイル革命のための超学際移動イノベーション人材養成学位プログラム（2020年度～）



## 若手研究者支援総合パッケージ

名古屋大学では、国からの支援に加え、給与支給、授業料免除、民間からの奨学金制度などを導入・活用するとともに、独自の施策として若手研究者のポストを用意するなど、世界で戦える研究者の育成と支援を推進しています。

### 3 東海国立大学機構メイク・ニュー・スタンダード次世代研究事業

#### 博士後期課程

JST「次世代研究者挑戦的研究プログラム」の支援により、東海国立大学機構メイク・ニュー・スタンダード次世代研究事業を展開しています。

I. 未来社会革新加速、II. 物質・生命融合、III. 情報・生命・医学融合、IV. ライフスタイル革命学際、V. アジア・環太平洋未来創造、VI. グローバル課題解決推進、VII. 学際的基盤研究の7分野の大学院生(合計649名程度)を対象に、経済支援とカリキュラムを提供し、将来の知識基盤社会を先導する博士人材育成を目的としています。専門の異なる博士課程学生や価値観の異なるメンター、さらにはロール・モデルとなる社会で活躍する博士人材などとの交流の機会を設けることで、自身の発想に基づく新たな研究展開や融合研究の創出を促します。



博士後期課程

- 1 博士課程教育推進機構
- 2 卓越大学院プログラム

- 3 東海国立大学機構メイク・ニュー・スタンダード次世代研究事業
- 4 東海国立大学機構名古屋大学次世代AI人材育成事業 (TokAI BOOST)



### 5 研究環境向上のための若手研究者雇用支援事業 (JSPS)

学振特別研究員 (PD, RPD, CPD) が安心して自身の研究に専念できる環境を整備することで、研究者としての基盤構築を支援しています。

### 6 Young Leaders Cultivation Program (YLC)

若手研究者を組織的に育成するために、すべての学問分野から毎年8名程度の、博士号取得後間もない若手研究者をダイバーシティに配慮しつつ特任助教 (YLC 教員) として採用しています。5年間の任期のうち、必要に応じて教育体験も積みながら腰を据えて自律的に研究に取り組みつつ、YLCセミナー、YLC教員同士の共同研究活動を通じて分野を超えた学際的な研究を支援します。

### 7 世界的課題を解決する知の「開拓者」育成事業 (T-GEx)

T-GExは、2021年度科学技術人材育成費補助事業「世界で活躍できる研究者戦略育成事業」に採択されたプログラムです。大型の国際的・学際的

### 4 東海国立大学機構名古屋大学次世代AI人材育成事業 (TokAI BOOST)

#### 博士後期課程

JST「国家戦略分野の若手研究者及び博士後期課程学生の育成事業次世代AI人材育成プログラム (博士後期課程学生支援)」の支援プロジェクトであるTokAI BOOSTは、近年急速に発展する人工知能 (AI) の新たなパラダイムシフトを先取りし、かつこれまでの個別研究分野から学際的なデータ駆動型研究・教育変革・産業応用を先導できる人材の育成を目的としています。

テニョアトラック  
教員

若手PI  
(若手独立研究者)

- 5 研究環境向上のための若手研究者雇用支援事業 (JSPS)
- 6 Young Leaders Cultivation Program (YLC)

- 7 世界的課題を解決する知の「開拓者」育成事業 (T-GEx)
- 8 創発的研究支援事業
- 9 若手新分野創成研究ユニット (B-3)



研究プロジェクトを牽引するPI (Principal Investigator) を目指す研究者や、産学連携や起業を国内外で活発に展開する高度人材を目指す研究者への支援を通じ、次世代に対するロール・モデルを輩出し、人材育成の好循環をつくり出します。

研究環境構築支援／研究費支援／異分野・異業種の研究者とのネットワーキングの機会提供／メンター、アドバイザー、URAによる支援

### 8 創発的研究支援事業

2020年度よりスタートしたJSTが実施する創発的研究支援事業として、計72名 (2024年12月末現在) の研究提案が採択されています。これは研究提案の採択数として全国の大学の中で累積4位の実績を誇っています。

年間700万円の研究費支援／人件費・研究環境構築支援 (最大7年間) ／活発な学術交流を促進するため創発の場の支援

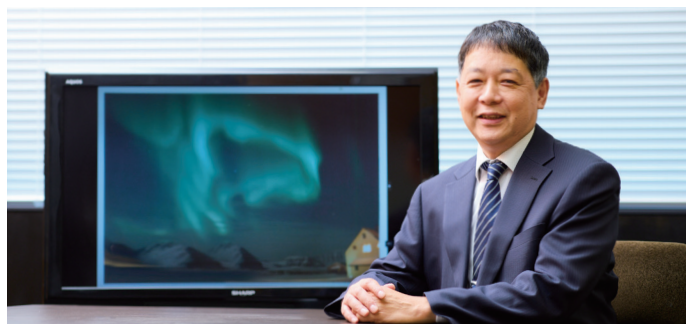
### 9 若手新分野創成研究ユニット (B-3)

特任・PDを含む若手研究者の育成と視野拡大を支援することにより、若手研究者による新分野の創成を目指しています。

研究費支援 (100万円上限) ／ユニット構成研究者の雇用支援 (1名) ／研究環境構築支援

宇宙科学と地球科学を結びつける全国唯一の研究所『宇宙地球環境研究所』

## 国際共同利用・共同研究拠点の推進



宇宙地球環境研究所 所長  
塩川 和夫 教授

### 宇宙と地球、人類社会に加え、 時間的には太古までさかのぼる研究分野に挑む

宇宙地球環境研究所(以下 ISEE)は宇宙科学と地球科学を結びつける国内唯一の共同利用・共同研究拠点として、国際的な宇宙地球環境研究のハブとしての役割を果たすことをミッションとし、国際水準の研究に基づく共同研究と、幅広い視野を持つ国際人材の育成、分野の枠を超えた融合研究を推進しています。その研究分野は総合解析、宇宙線、太陽圏、電磁気圏、気象大気、陸域海洋圏生態、年代測定と広がり、宇宙・太陽・地球・生命・社会が織りなす複雑でダイナミックな環境と人類社会との関わりを探究してきました。



宇宙地球環境研究所の研究対象の例

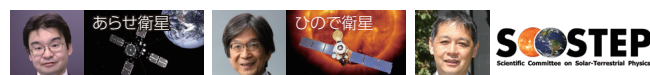
### 国際共同利用・共同研究拠点に認定

2024年10月31日、ISEEは、国際的な関連コミュニティの大型研究計画の立案・実施において中心的な役割を担い、関連コミュニティを牽引する活動を行っていることが高く評価され、文部科学省から国際共同利用・共同研究拠点の認定通知を受け取りました。この国際拠点に認定されている研究所は、全国でも9つしかありません。今後は、国際的な連携の中で宇宙・太陽・地球のシームレスな研究を推進しつつ、若手研究員を国際公募する「国際拠点連携ラボ」の構築、トップクラスの外国人教員や研究力強化を支えるURAの雇用、多彩な国際共同利用・共同研究プログラムのさらなる拡充によって、宇宙科学と地球科学において国際的な貢献を果たしていきます。

### ISEEの強みと特徴

#### ■ 国際プロジェクトのリーダーが牽引するISEEの研究

ISEEには、日本を代表するJAXAのあらせ衛星(ジオスペース探査)、ひので衛星(太陽探査)のプロジェクトサイエンティスト、太陽地球系物理学科学委員会(SCOSTEP) Presidentなどの国際リーダーが在籍しています。



三好 由純 教授



草野 完也 教授



塩川 和夫 教授



あらせ衛星写真/ひので衛星写真 出典:ISAS/JAXA

#### ■ 世界に誇る研究と教育、国際連携、データベースの構築

ISEEの強みは、データ解析と理論・モデリングを組み合わせた研究を多角的に展開していることです。これまで数多くの国際共同研究を行い、SCOSTEP、Future、Earth、WCRPなどの国際プログラムも主導しています。また若手研究者の海外への派遣、海外からの招聘、国際スクールの開催支援についても年間30件以上をサポートし、今後はさらに拡充していきます。

### 数字で見るISEEの強み

- **研究成果**  
論文出版 ▶ 年間約200編 論文の国際共著率 ▶ **約75%**
- **共同利用・共同研究の実績**  
**17種類、約200件**の公募型共同利用・共同研究プログラムを毎年実施(うち10種類、約70件が国際プログラム)
- **国際連携の展開**  
**55か所**の観測点、世界の**45の機関**との連携(うち27機関と学術交流協定を締結)
- **データベース保有件数(2023年度)**  
太陽風速度データベース、SuperDARN 北海道陸別短波レーダーデータベース、ERGデータベース、磁気圏MHDシミュレーション、超高層大気イメージングシステムデータベースなど、国際水準の**約620万件**のデータベースを保有、世界の研究者に利用された件数は**約2149万**



# 宇宙地球環境科学と歴史学・考古学を結び 超学際ネットワーク形成を目指して

## 宇宙と地球の幅広い文理融合研究をさらに推進する



宇宙地球環境研究所 副所長  
超学際ネットワーク形成推進室 室長  
南 雅代 教授

名古屋大学宇宙地球環境研究所 (ISEE) が進める、宇宙地球環境科学と歴史学・考古学を融合することで新しい学問領域の創生を目指す取り組みが、2024年9月9日、文部科学省の共同利用・共同研究システム形成事業「学際領域展開ハブ形成プログラム」に採択されました。



幅広い研究分野における高精度炭素14測定を推進する  
名古屋大学タンデロン加速器質量分析計

### 宇宙地球環境科学と歴史学・考古学を結び 超学際ネットワークを形成

ISEEが中核機関となり、国立歴史民俗博物館、山形大学高感度加速器質量分析センター、九州大学アジア埋蔵文化財研究センター、情報・システム研究機構データサイエンス共同利用基盤施設、名古屋大学デジタル人文社会科学推進センターが参画し、宇宙地球環境科学と歴史学・考古学を結び超学際ネットワーク形成事業を推進していきます。

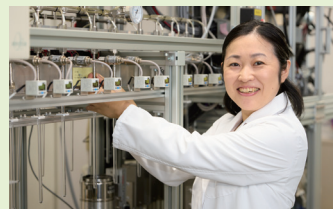
地球上の生命を育む太陽活動の変化は、時に地球環境や社会に大きな影響を与えます。太陽面で発生する巨大な太陽面爆発は、地球の放射線環境や超高層大気を激しく乱すことがあります。ISEEでは、これまで屋久杉年輪の炭素14年代測定など、地質試料から文化財資料にわたる幅広い同位体分析に基づく学際分野を進展させてきましたが、それをさらに拡充し、気候変動や太陽面爆発などが人類の歴史に及ぼしてきた影響を解明することで、人類社会の課題に大きく貢献する新しい分野、つまり超学際的な分野を創生することを目指します。

### 期待される成果

宇宙地球環境科学と歴史学・考古学を融合する超学際ネットワークを形成することにより、従来の考古学・歴史学などの人文科学に新しい手法やデータを提供し、過去の激甚太陽嵐の様態や頻度を明らかにするなど、宇宙地球環境科学と歴史学・考古学の両方の分野に新しい道を切り開くことが期待されます。例えば、百年、千年に一度の激甚太陽嵐が現代文明に与える影響を定量的に評価することによって、宇宙災害への備えと減災を実現し、安全・安心な宇宙利用に貢献することが期待されます。また、新しい年代マーカーの同定による超高精度年代測定を実現し、歴史学・考古学の発展と地震や火山などの災害史の理解や防災に貢献することができます。1万年以上の古地磁気年代測定法を歴史考古学に適用することは、新たな年代測定手法を獲得するとともに、地磁気変化・宇宙災害の長期予測に役立つことが期待されています。さらに、この事業の推進を通して、理工学と人文科学の広い視野を持ち、宇宙に広がる発展的社会的形成に貢献する次世代国際人材を育成していきたいと考えています。

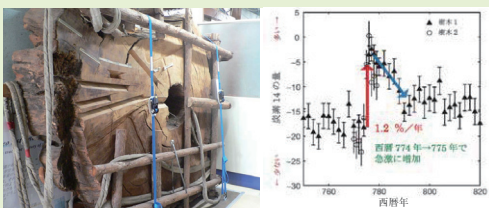
URL: <https://transeha.isee.nagoya-u.ac.jp/>

### 世界を驚かせた研究成果

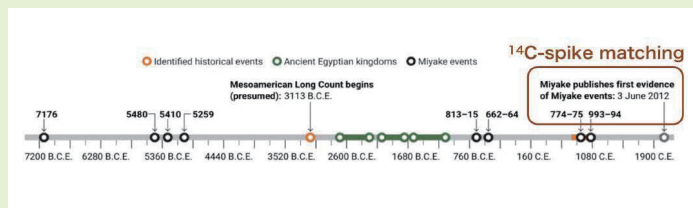


宇宙地球環境研究所  
基盤研究部門  
宇宙線研究部  
三宅 美沙 准教授

宇宙地球科学の研究成果が考古学の研究に大きな影響を与えた例が、名古屋大学の加速器質量分析計を駆使したISEEの三宅美沙准教授を中心とする研究チームの屋久杉年輪の炭素14年代測定です。これは屋久杉の年輪に含まれる炭素14の量が774年から775年の間に急激に増えたことを発見し、放射線バーストが地球に到達したことを示唆する論文として発表され(2012年)、世界的に注目されました。屋久杉に限らず、世界各地の遺跡中の木や、地震や火山噴火等で枯れた樹木に炭素14の急激な増加が発見されたらその時期が774~775年だと特定できるので、歴史・考古資料や巨大災害の年代を正確に測定することができます。こうして物理学を超えて、考古学、歴史学の中でも非常に重要な論文として知られるようになり、物理学、考古学双方の分野でTop10論文として評価されるようになりました。このような学際的な研究は、今後起こるかもしれない巨大な太陽面爆発のヒントを得るとい意味で非常に重要であり、人類社会への大きな貢献が期待されています。



屋久杉年輪の炭素14分析による宇宙線急増(西暦774/775年)を発見(Miyake et al. Nature, 2012)



突発的な宇宙線の増加現象は「ミヤケ・イベント」と呼ばれ、世界の考古学の研究に生かされている  
Price (2023) Scienceから改変 doi: 10.1126/science.adi2040

## アントレプレナーシップに満ちた 大学と社会づくりを目指して

名古屋大学では、スタートアップ創出と育成、スタートアップ・エコシステム構築を推進し、教育から起業支援、施設の共有などを展開しています。学内における正課のアントレプレナーシップ教育や、東海地区の大学コンソーシアムによる教育・起業家育成プログラムを展開するTongali\*との連携、東海機構、地域の他大学、自治体、産業界、金融界などとのネットワークを利活用し、イノベーションの推進を目指しています。

\*Tongali : Tokai Network for Global Leading Innovation 東海地区26大学2機関による東海地区産学連携大学コンソーシアム  
<https://tongali.net/>

### スタートアップ・エコシステムの構築に貢献

#### シンガポールに現地法人を設置し、 スタートアップ支援を加速

名古屋大学は、2023年11月、シンガポール現地法人としてNAGOYA UNIVERSITY GLOBAL CAMPUS LTD.を設立し、シンガポールのスタートアップハブBLOCK71に入居しました。本学の戦略的パートナー大学(SPU)であるシンガポール国立大学(以下「NUS」)をはじめとする教育機関、公的機関、民間企業などと連携し、シンガポールを中心とした本学の教育研究活動を格段に推進する体制が整いました。2024年にはNUSの起業教育プログラム「NUS Overseas Colleges (NOC) Inbound」や、新設プログラムへの本学学生の参加がスタートし、シンガポールでのインターンシップの機会も提供しています。名大発スタートアップ支援では、同年10月にシンガポールで開催されたSwitch2024およびTech Innovation2024に参加し、Tech Innovation2024には本学のブースを出展し、3つの研究シーズを紹介しました。GO GLOBALの流れが加速する中、名大発スタートアップのGlobal展開をより積極的に支援していきます。



NAGOYA UNIVERSITY GLOBAL CAMPUS LTD. が入居するBLOCK71

#### シンガポール国立大学や「STATION Ai」との 連携強化によるスタートアップ推進

名古屋は日本で唯一、NUSが展開する起業教育「NOC (NUS Overseas Colleges) プログラム」の拠点都市となっています。名古屋大学は、SPUと位置づけているNUSや、愛知県が設立し2024年10月に開業した日本最大のスタートアップ拠点「STATION Ai」との連携を強力に推進しています。これらを通じて、東海地域で革新的なスタートアップ企業の創出と

育成を促進するとともに、スタートアップ・エコシステムの構築を実現していきます。

2024年9月STATION Ai株式会社と施設・設備利用に関する基本合意書を締結



#### GAPファンドプログラムを核としたスタートアップ支援

GAPファンドプログラムとは、大学の基礎研究と事業化の間に存在するギャップ(GAP)を埋めるために、大学研究者に開発資金を供与し、その後のインキュベーションプログラムを通して事業化を推進するものです。既存企業ではリスクを負えないポテンシャルの高い技術シーズの事業化に挑戦するベンチャー設立を目指す研究者を支援しており、2020年度SCORE事業・2021年度START事業の予算を活用したGAPファンドプログラムを実施し、2期合計39件が採択され、参加チームからは7社が起業しています。

2023年度にはJSTの大学発新産業創出基金事業「スタートアップ・エコシステム共創プログラム」の採択を受け、東海地域の14大学と、大学共同利用機関法人自然科学研究機構、およびSTATION Ai株式会社の計16機関でGAPファンドプログラムを実施しています。

#### 起業に向けたルールの整備と相談窓口の設置

名古屋大学では、起業に向けた関係諸規程を整備・ルール化しており、Tongali プラットフォーム各機関と共有しています。学術研究・産学官連携推進本部内の知財・技術移転部門には、共同研究やライセンス契約を円滑に維持する体制、利益相反マネジメント体制を整備しています。

また、大学とベンチャー企業との関係の明確化、本学の研究成果の社会発信、本学関係者のベンチャー起業へのモチベーション向上、名古屋大学とベンチャー企業との連携強化といった目的で、大学発ベンチャーの称号認定を行い、大学ホームページ上で認定ベンチャー\*を公表しています。2024年8月末現在、大学発ベンチャー70社、学生ベンチャー7社が認定されています。また、共同研究企業のうち大学発ベンチャーは、2022年5月に36社中3社でしたが、2024年10月現在、40社中9社と増加しています。

\* <https://www.aip.nagoya-u.ac.jp/venture/entrepreneurship/nu-venture>

## ベンチャーファンドによるスタートアップ支援

起業したベンチャーが事業拡大を目指す上ではリスクマネーの獲得と支援が欠かせません。そのため、「名古屋大学・東海地区広域大学向けベンチャーファンド」の第1号は25億円(2016年)、第2号は20億円(2019年)で組成されました。

さらに、東海国立大学機構においては2023年10月、共同研究やスタートアップの育成・支援をワンストップでサポートできる環境を構築するため、機構として初の子会社となる株式会社Tokai Innovation Institute (TII) を設立し、TIIのもとに、独自のベンチャー・キャピタル(株式会社 Central Japan Innovation Capital) を2024年11月に立ち上げ、1号ファンドを33億円でファーストクローズしました。

これまで、愛知・名古屋・浜松地域が、Central Japan Startup Ecosystem Consortium (愛知県、名古屋市、浜松市、一般社団法人中部経済連合会、名古屋大学)として世界に伍するグローバルなスタートアップ・エコシステムを形成することを目指した取り組みを進めていきましたが、2025年2月にはスタートアップ・エコシステム形成を加速させるためのグローバルイベント「TechGALA Japan」を初めて開催しました。また、スタートアップ企業を「J-Startup CENTRAL」として選定し、集中的な支援を実施しています。

今後も名古屋大学は、東海地域のアントレプレナーシップの醸成と起業家創出の側面から、東海地域のスタートアップ・エコシステムの構築に貢献し、中部圏の持続可能な成長と発展につなげていくことを目指していきます。

## 起業家精神の育成

課題を発見し、それを他と協調しながら解決する力は、これから社会に出る学生全員が身につけるべき特に重要な素養です。名古屋大学ではチャレンジ精神や創造性、協調力、リーダーシップ能力などの育成をアントレプレナーシップ教育と位置づけ、2023年4月に設置したディープレック・シリアルイノベーションセンター(D-center)を中心に、全学規模で実施しています。

また、より実践的なワークショップやアイデアピッチコンテストなど、個人や

グループが持つアイデアを起業に結びつけるさまざまな取り組みを、他大学も参加する形でTongali プログラムとして用意しています。2023年度は、104プログラムを実施し、延べ8,220名の学生がアントレプレナーシップ教育を受講しました。現在では、学部生・大学院生・ポストドクターなどを対象にアントレプレナーシップの醸成を促すとともに、その対象を小中高生にも拡大しています。加えて、研究者の起業支援、起業環境整備まで活動内容を拡大させ、中部圏のスタートアップ・エコシステムの構築に貢献しています。

## 起業・イノベーションの場の提供

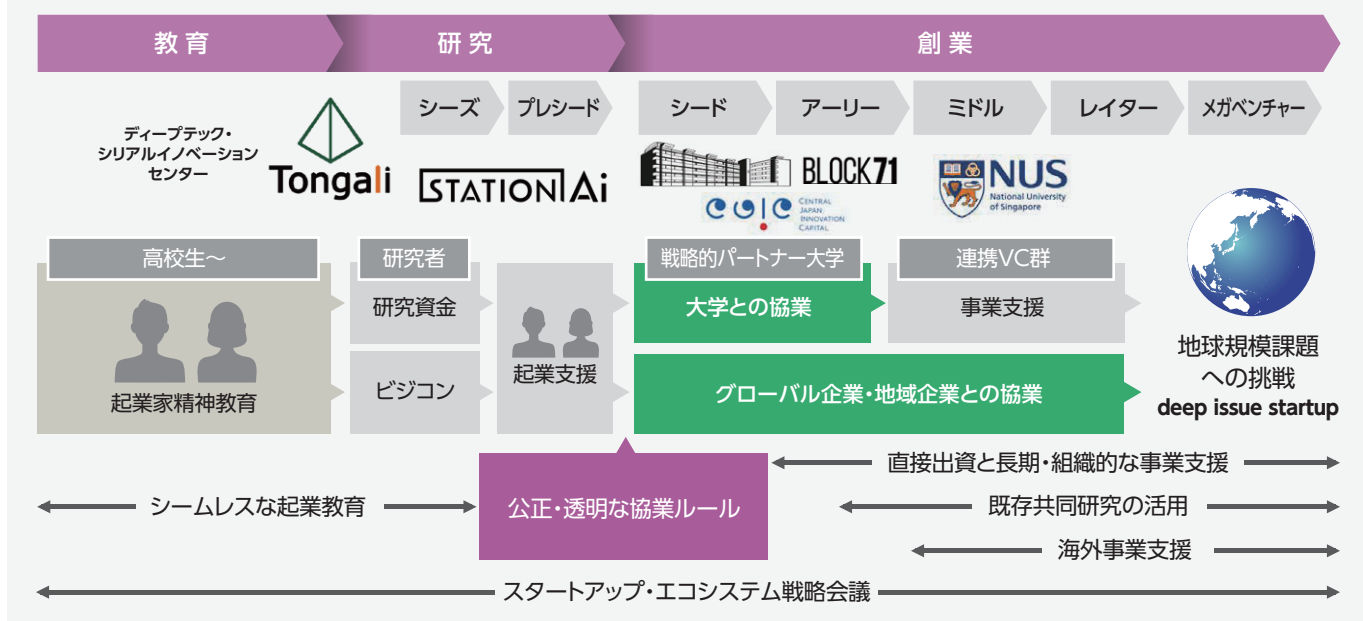
2022年9月、名古屋大学NIC内に「100年先の未来を豊かにするために常識にとらわれないエネルギーとテクノロジーが集まるIdea (アイデア)の実験区」をキャッチコピーとした「IdeaStoa」を設置しました。今までで会うことのなかった人や物事との出会いを促すプログラムも並走させ、新たなイノベーションが生まれ、育つ場となることを目指しています。

2024年5月には名古屋大学東山キャンパス内にTokai Open Innovation Complex (TOIC名古屋サイト)の運営を開始しました。TOIC名古屋サイトでは、起業活動だけでなく、産学交流、共同研究の3つの取り組みを連携して支援することで、企業やベンチャー、行政、研究者・学生など多様なステークホルダーとの交流の場を創出し、新たなイノベーションの創出を実現していきます。



IdeaStoaに集まり新たなアイデアを生み出す

## スタートアップ共成長パッケージ ～「支援」から「協業」への転換～



## グローバル・コモンズを目指す 名古屋大学の世界戦略

名古屋大学では、世界の大学・研究機関との連携を戦略的に展開することで、国際的な科学技術・学術の環境変化や高等教育の動向にも柔軟に対応した研究と教育の実現を目指しています。また、真に学生本位で、学修成果が得られる質の高い教育、国際通用性のある教育の実践・改善とともに、国際競争力を強化するため、ジョイント・ディグリープログラム(JDP)\*の推進、海外からの留学生・研究者の増加、国際共同研究の拡充などさまざまな取り組みを展開しています。

\*ジョイント・ディグリープログラム(JDP):外国の大学と共同で単一の学位(ディグリー)を授与する制度

### 独自の強みを活かした国際展開

#### 世界と伍する研究大学への飛躍を目指した グローバル・マルチキャンパス構想

名古屋大学では学術憲章に、「国際的な学術連携および留学生教育を進め、世界とリわけアジア諸国との交流に貢献する」「活発な情報発信と人的交流、および国内外の諸機関との連携によって学術文化の国際的拠点を形成する」と定め、独自の活動を展開しています。

2022年には「グローバル・マルチキャンパス(GMC)構想」がスタートし、名古屋大学がこれまで蓄積してきた海外大学などとのネットワークと海外拠点の展開の実績をもとに、アジア・欧州・北米の3極から、ノースカロライナ州立大学、シンガポール国立大学、エディンバラ大学、フライブルク大学を戦略的パートナー大学(SPU)と位置づけ、相互のリアル・キャンパスの設置を含む組織的かつ双方向の連携活動を推進しています。2023年3月にはノースカロライナ州立大学に、同年7月にはシンガポール国立大学に本構想を推進する拠点を設置しました。今後、他のSPUにも拡大していく計画です。

今後は、このGMCを活用してさまざまな留学プログラムを構築し、個々の学修状況に合わせて対応できる「テラーメイド型留学」を提供し、学部から大学院までシームレスなグローバル人材育成を促進します。併せて、SPUとの連携を中心に、世界トップレベルの国際共同研究、頭脳循環促進、国際共修、スタートアップの推進など、世界標準の教育・研究の実現を目指します。また、国際広報の強化による研究成果の積極的な海外への発信とレピュテーションの向上など、幅広い視点でグローバル化を進めます。

#### JDPのフロントランナーとして積み上げてきた実績

名古屋大学では、2015年に医学系研究科において我が国初めてのJDPを開設して以来、4つの研究科で合計7つのJDPを開設しています\*。JDPでは連携先大学と共同して博士後期課程、または医学博士課程のJDPを構築し、学生は1つの研究テーマを設定し、双方の大学の2人以上の指導教員から指導を受け、研究を行います。学位論文その他の修了要件を満たした学生には、双方の大学が連名で単一の学位を授与します。JDPを通じて学生は海外有名大学を含む2つの大学・研究室に在籍することで、1つのテーマを多面的な観点から検討・議論し、同時に異なる文化、宗教、生活様式を体験することが可能で、問題を解決するコミュニケーション能力とマネジメント能力も身につけることもできます。JDPを通じ、国際共同研究、共著論文が増加し、世界的に著名な研究室への就職という実績もあげています。

\* [https://www.nagoya-u.ac.jp/academics/nu\\_eduprogram/jd\\_pgm/index.html](https://www.nagoya-u.ac.jp/academics/nu_eduprogram/jd_pgm/index.html)

相手国	相手大学	研究科名	分野/課程
オーストラリア	アデレード大学	医学系研究科	医学/博士
イギリス	エディンバラ大学	理学研究科	理学/博士
スウェーデン	ルンド大学	医学系研究科	医学/博士
タイ	カセサート大学	生命農学研究科	農学/博士
ドイツ	フライブルク大学	医学系研究科	医学/博士
オーストラリア	西オーストラリア大学	生命農学研究科	農学/博士
タイ	チュラロンコン大学	工学研究科	工学/博士



岸田総理大臣(当時)と裕子夫人が米国ノースカロライナ州立大学内「Nagoya University Global Campus at NC State University」を視察



エディンバラ大学にて戦略的パートナー大学協定を締結(2024.7)

## 英語力向上に貢献する国際プログラム群 (G30)

国際プログラム群 (G30) は、英語のみで学位が取得できる秋入学の国際プログラム群です。国籍に関係なく、外国の教育制度に基づいた教育を受けてきた学生を対象に2011年に開講されました。現在は6学部 (10プログラム)、8研究科 (博士前期課程11プログラム・博士後期課程7プログラム) で実施しています。日本国籍の学生を含め、毎年50名前後の学生を世界中から受け入れており、2024年度の学部出願者数は4.5倍以上に増えています。

留学生に対しては日本語授業の受講が必須で、ニーズや目的に応じて日本語強化のサポートも行っています。一方、日本人学生にとっては留学生と英語で共修することにより学内留学を経験することになります。学部卒業生の4分の1は世界トップレベル大学大学院へ、3割は本学大学院へ進学しています。

## アジア戦略の展開

名古屋大学では、戦略的パートナー大学との国際教育・研究・産学官連携を推進する運営統括センター、国際共同研究部門、ネットワーク部門の他に、アジアサテライトキャンパス学院 (ASCI)、法政国際教育協力研究センター (CALE)、日本法教育研究センター (CJL) などを置き、学生および教職員に一層質の高い国際的な交流活動の機会を提供することを目指しています。

ASCIでは、アジア諸国の国家中枢人材養成プログラムを実施しています。この取り組みは、アジア諸国から優秀な人材を受け入れ、サテライトキャンパスと本邦キャンパスとの連携により研究指導を行うハイブリッド型博士課程プログラムで、学生は長期に職場を離れることなく博士の学位を取得できます。これまで、教育発達科学、法学、医学系、生命農学、国際開発、環境学の6研究科が、9か国から学生を受け入れ、その修了生が各国の要職に就き、国家中枢人材として活躍しています。2023年からは工学研究科も新たにプログラムに参加しました。



ASCIカンボジアサテライトキャンパス2024年度入学式 (2024年11月1日)



CALEでは、アジア4か国のトップ大学と連携してCJL を設立し、日本語による日本法教育を実施しています。優秀な学生は名古屋大学など日本の大学院に留学し、修了後は母国政府、大学、法律事務所、日系企業などで活躍しています。

さらに、Young Leaders' Program (YLP: 医療行政コース) では、アジア12か国の医療政策、公的医療機関の管理、公衆衛生において指導的役割を果たす行政官を受け入れ、医療行政、医療経済、医療統計などの知識・技術について、修士課程1年をかけて修得できます。修了生はASCIで博士号取得も可能で、世界の保健、医療活動に貢献しています。

さらに、ASCI やCJL、YLPの修了した方々は、アジア各地に展開する海外同窓会16支部の支部長や、各国の要職 (ベトナム副首相、駐日ベトナム大使、王立ポンペン大学長など)、大学教授などに就任し、名古屋大学とアジアをつなぐ人材として教育・研究・社会連携の面でめざましい貢献をしています。これからも、修了生とのネットワークを強化することで地球規模課題対応のためのパートナーシップを強化していきます。



CJL (モンゴル) 第14期修了式 (2024年6月10日)

# 数字で見る名古屋大学

## NU in NUMBERS

創基

1871年 

創立

1939年 

学部

9学部 

令和7年5月1日現在

大学院

13研究科 




令和7年5月1日現在

学生数

学部学生 9,524名  
※科目等履修生、聴講生、研究生等は除く  
 大学院学生 6,435名  
※研究生は除く

令和7年5月1日現在

教員数

   学生10に対し  
 教員1  
 教員数 1,627名  
※任期付正職員除く

令和7年5月1日現在

留学生数

2,543名 

令和6年度

ノーベル賞受賞者

6名 

令和7年5月1日現在

### 土地面積

バンテリンドームナゴヤ

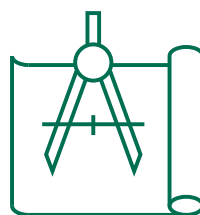
約 65 個分



**3,123,796** m<sup>2</sup>

令和7年4月1日現在

### 各キャンパス土地面積



東山 **697,470** m<sup>2</sup>

鶴舞 **89,137** m<sup>2</sup>

大幸 **48,463** m<sup>2</sup>

令和7年4月1日現在

### 建物面積



**830,299** m<sup>2</sup>

令和7年4月1日現在

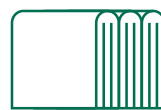
### 財政

収入 **141,175** 百万円

支出 **131,456** 百万円

決算額 (令和6年度)

### 蔵書数



**3,398,580** 冊

令和7年4月1日現在

2020-2024  
TOP10% 論文数

**2,803** 本 

令和2年~令和6年

2023年度  
若手研究者支援創発的研究支援事業

全国**4**位  
**72** 採択 

### 就職率

**97.1** % 

令和7年5月1日現在

### 名大発ベンチャー企業数

**180** 社 

起業累積数 (令和6年度末現在)

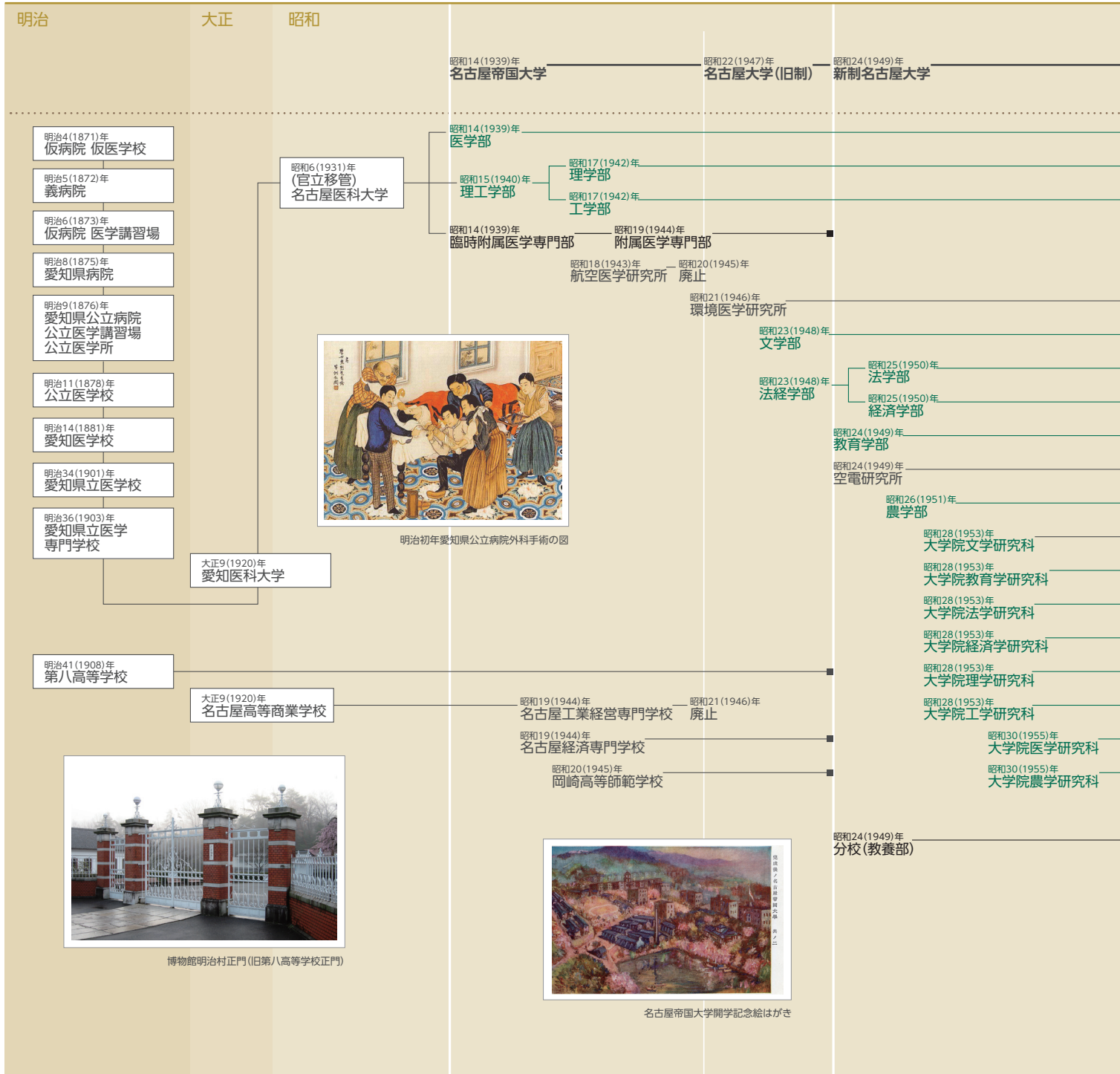
# 沿革

沿革・歴代総長

## 前身校期

## 帝国大学(旧制大学)期

## 新制大学期

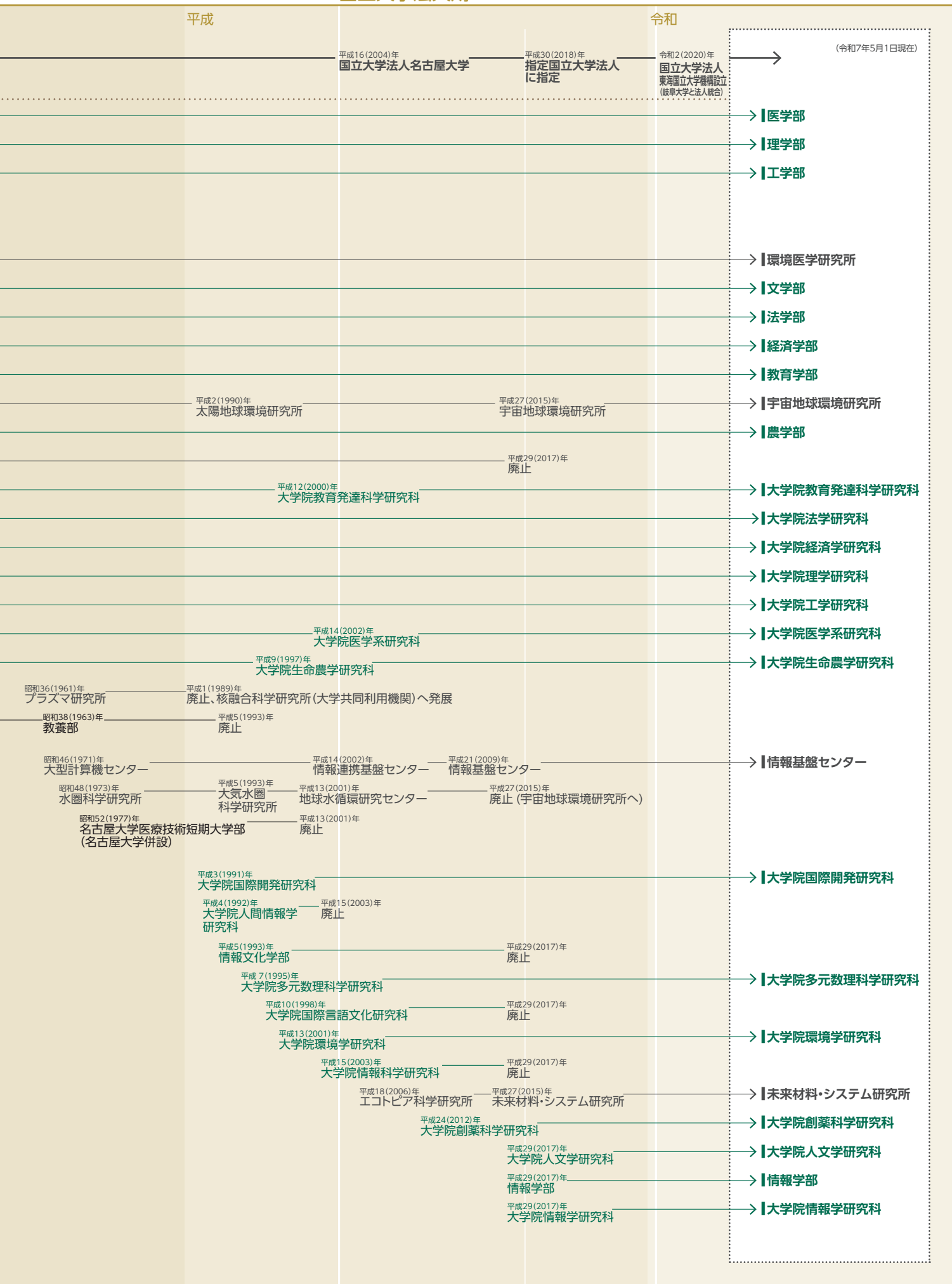


## 歴代総長

代数	氏名	在任期間
初代総長	澁澤 元治	昭和14(1939)年4月 1日～昭和21(1946)年1月31日
2代総長	田村 春吉	昭和21(1946)年1月31日～昭和24(1949)年5月17日
(事務取扱)	生源寺 順	昭和24(1949)年5月17日～昭和24(1949)年7月11日
3代総長	勝沼 精藏	昭和24(1949)年7月11日～昭和34(1959)年7月10日
4代総長	松坂 佐一	昭和34(1959)年7月11日～昭和38(1963)年7月10日
5代学長	篠原 卯吉	昭和38(1963)年7月11日～昭和44(1969)年5月20日
(事務取扱)	芦田 淳	昭和44(1969)年5月20日～昭和44(1969)年7月22日
6代学長	芦田 淳	昭和44(1969)年7月22日～昭和50(1975)年7月21日
7代学長	石塚 直隆	昭和50(1975)年7月22日～昭和56(1981)年7月21日

代数	氏名	在任期間
8代学長	飯島 宗一	昭和56(1981)年7月22日～昭和62(1987)年7月21日
9代学長	早川 幸男	昭和62(1987)年7月22日～平成 4(1992)年2月 5日
(事務取扱)	松尾 稔	平成 4(1992)年2月 5日～平成 4(1992)年4月 1日
10代総長	加藤 延夫	平成 4(1992)年4月 1日～平成10(1998)年3月31日
11代総長	松尾 稔	平成10(1998)年4月 1日～平成16(2004)年3月31日
12代総長	平野 眞一	平成16(2004)年4月 1日～平成21(2009)年3月31日
13代総長	濱口 道成	平成21(2009)年4月 1日～平成27(2015)年3月31日
14代総長	松尾 清一	平成27(2015)年4月 1日～令和 4(2022)年3月31日
15代総長	杉山 直	令和 4(2022)年4月 1日～

# 国立大学法人期



# ノーベル賞・文化勲章等 各賞受賞者

## ノーベル化学賞

受賞年	氏名	受賞対象研究	備考
2001(平成13)年	野依 良治	キラル触媒による不斉水素化反応の研究	理学研究科教授(受賞時)
2008(平成20)年	下村 脩	緑色蛍光たんぱく質GFPの発見と開発	理学博士(名古屋大学)、元理学部助教授

## ノーベル物理学賞

受賞年	氏名	受賞対象研究	備考
2008(平成20)年	小林 誠	フオークが自然界に少なくとも三世代以上ある事を予言する、対称性の破れの起源の発見	理学博士(名古屋大学)
	益川 敏英		理学博士(名古屋大学)、元理学部助手
2014(平成26)年	赤崎 勇	明るく省エネルギーの白色光原を可能にした高輝度の青色発光ダイオードの発明	工学博士(名古屋大学)、元工学部教授
	天野 浩		工学博士(名古屋大学)、工学研究科教授(受賞時)

## フィールズ賞

受賞年	氏名	備考
1990(平成2)年	森 重文	元理学部教授

## ガードナー国際賞

受賞年	氏名	備考
2020(令和2)年	竹市 雅俊	理学部卒業、理学研究科修士課程修了

## ガウス賞

受賞年	氏名	備考
2006(平成18)年	伊藤 清	元理学部助教授

## チャーン賞

受賞年	氏名	備考
2018(平成30)年	柏原 正樹	元理学部助教授

## 京都賞

受賞年	氏名	備考
1998(平成10)年	伊藤 清	元理学部助教授
2009(平成21)年	赤崎 勇	工学博士(名古屋大学)、元工学部教授
2018(平成30)年	柏原 正樹	元理学部助教授

## 日本国際賞

受賞年	氏名	備考
2005(平成17)年	竹市 雅俊	理学部卒業、理学研究科修士課程修了
2019(平成31)年	岡本 佳男	元工学研究科教授、特別招へい教授(受賞時)

## 文化勲章

決定年	氏名	専門	所属(在籍時)
昭和29年	勝沼 精藏	血液学・航空医学	医学部・総長
昭和38年	久野 寧	生理学	医学部
昭和59年	高橋 信次	放射線医学	医学部
平成12年	野依 良治	反応有機化学	理学研究科
平成19年	中西 香爾	有機化学	理学部
平成20年	伊藤 清	数学	理学部
平成20年	小林 誠	素粒子物理学	理学研究科
平成20年	下村 脩	海洋生物学	理学部
平成20年	益川 敏英	素粒子物理学	理学部
平成21年	飯島 澄男	材料科学	理学部
平成23年	赤崎 勇	半導体電子工学	工学部
平成26年	天野 浩	電子・電気材料工学	未来材料・システム研究所
令和 3年	岡崎 恒子	分子生物学	理学部
令和 3年	森 重文	数学	理学部

## 文化功労者

決定年	氏名	専門	所属(在籍時)
昭和29年	勝沼 精藏	血液学・航空医学	医学部・総長
昭和30年	澁澤 元治	電気工学	総長
昭和37年	柴田 雄次	無機化学	理学部
昭和38年	久野 寧	生理学	医学部
昭和54年	高橋 信次	放射線医学	医学部
平成 2年	平田 義正	天然物有機化学	理学部
平成 2年	森 重文	数学	理学部
平成10年	野依 良治	有機化学	理学研究科
平成11年	中西 香爾	有機化学	理学部
平成13年	岸 義人	天然物有機化学	農学部
平成13年	小林 誠	素粒子物理学	理学研究科
平成13年	益川 敏英	素粒子物理学	理学部
平成14年	塩野谷祐一	経済哲学	経済学部
平成15年	伊藤 清	数学	理学部
平成16年	赤崎 勇	半導体電子工学	工学部
平成16年	竹市 雅俊	発生物理学	理学研究科
平成20年	下村 脩	海洋生物学	理学部
平成21年	杉浦 昌弘	植物分子生物学・植物ゲノム科学	遺伝子実験施設
平成22年	田中 靖郎	X線天文学・学術振興	理学部
平成26年	小池 和男	労働経済学	経済学部
平成26年	天野 浩	電子・電気材料工学	未来材料・システム研究所
平成27年	岡崎 恒子	分子生物学	理学部
平成28年	篠崎 一雄	植物分子生物学	遺伝子実験施設
平成30年	山本 尚	有機化学・合成化学・生体関連化学	工学研究科
令和元年	近藤 孝男	時間生物学	理学研究科

## 日本学士院賞等

## ▶ 恩賜賞

受賞年	氏名	所属(在籍時)
昭和 2年	柴田 雄次	理学部
昭和16年	久野 寧	医学部
昭和25年	坂田 昌一	理学部
昭和26年	外山 修之	工学部
昭和31年	志方 益三	農学部
昭和35年	山崎 一雄	理学部
昭和42年	吉田 耕作	理学部

受賞年	氏名	所属(在籍時)
昭和45年	中村 榮孝	文学部
昭和52年	高橋 信次	医学部
昭和53年	伊藤 清	理学部
平成 2年	中西 香爾	理学部
平成11年	岸 義人	農学部
平成26年	赤崎 勇	工学部

注 恩賜賞は日本学士院賞を受賞した研究のうち特に優れた者に重ねて授与される。

## ▶ 日本学士院賞

受賞年	氏名	所属(在籍時)
大正15年	勝沼 精藏	医学部・総長
昭和 8年*	小口 忠太	医学部
昭和15年	石田 元季	愛知医科大学予科(医学部の前身)
昭和25年	名倉 重雄	医学部
昭和29年	中山 正	理学部
昭和29年	小野 勝次	理学部
昭和32年	野田 稲吉	工学部
昭和33年	松村 博司	文学部
昭和33年	菅原 健	理学部
昭和38年	関口春次郎	工学部
昭和41年	鶴高 重三	農学部
昭和43年	宮川 正澄	医学部
昭和51年	山本 時男	理学部
昭和52年	高橋 信次	医学部
昭和52年	平田 義正	理学部
昭和52年	香川 毓美	工学部
昭和52年	永澤 満	工学部
昭和55年	阿閉 吉男	文学部
昭和57年	八木 國夫	医学部
平成 2年	森 重文	理学部
平成 3年	塩野谷祐一	経済学部

受賞年	氏名	所属(在籍時)
平成 3年	早川 幸男	理学部・学長
平成 4年	大澤 省三	理学部
平成 4年	石崎 宏矩	理学部
平成 6年	井村 徹	工学部
平成 7年	野依 良治	理学部
平成 8年	竹市 雅俊	理学研究科
平成 9年	山寺 秀雄	理学部
平成14年	佐藤 彰一	文学研究科
平成19年	山本 尚	工学研究科
平成20年	永井 美之	医学部
平成20年	藤吉 好則	理学部
平成21年	安藤 隆穂	経済学研究科
平成24年	中西 聡	経済学研究科
平成25年	巽 和行	物質科学国際研究センター
平成26年	近藤 孝男	理学研究科
平成26年	岡本 佳男	工学研究科
平成28年	宮本 憲一	経済学部
令和 5年	篠崎 一雄	遺伝子実験施設
令和 6年	上田 龍三	医学系研究科
令和 7年	吉田 久美	情報学研究科

注 \*は東宮御成婚記念賞受賞。

## ▶ 日本学士院エジンバラ公賞

受賞年	氏名	所属(在籍時)
平成28年	松岡 信	生物機能開発利用研究センター

## 紫綬褒章

受章年	氏名
昭和32年	増井 清
昭和46年	山本 時男
昭和48年	上田 良二
昭和48年	伏見 康治
昭和49年	高木健太郎
昭和50年	山本 賢三
昭和51年	末松 玄六
昭和52年	榊 米一郎
昭和52年	芦田 淳
昭和53年	石井 義郎
昭和54年	磯野 謙治
昭和60年	大澤 文夫
昭和60年	福井 崇時
昭和61年	早川 幸男
平成 2年	齋藤 哲夫
平成 3年	赤澤 堯
平成 3年	井村 徹
平成 4年	山田 和生

受章年	氏名
平成 5年	樋口 敬二
平成 5年	大西 英爾
平成 7年	永津 俊治
平成 9年	赤崎 勇
平成10年	飯田 経夫
平成11年	泉 有亮
平成11年	杉山 達夫
平成12年	岡崎 恒子
平成12年	岩原 弘育
平成13年	山下 興亜
平成13年	永井 美之
平成14年	岡本 佳男
平成14年	三田 一郎
平成14年	山本 尚
平成15年	板倉 文忠
平成18年	道家 紀志
平成19年	福井 康雄
平成20年	磯部 稔

受章年	氏名
平成21年	上村 大輔
平成22年	生田 幸士
平成23年	近藤 孝男
平成24年	松本 邦弘
平成24年	村瀬 洋
平成25年	河本 邦仁
平成26年	佐藤 健一
平成27年	小澤 正直
平成27年	福田 敏男
平成28年	篠原 久典
平成28年	松岡 信
平成29年	八島 栄次
平成29年	森 郁恵
平成29年	貝淵 弘三
令和 2年	高橋 雅英
令和 3年	馬場 嘉信
令和 4年	堀 勝
令和 5年	榑原 均
令和 6年	鳥居 啓子

# 組織

## 令和7年度名古屋大学組織図

組織





注 \*1は教育関係共同利用拠点として、文部科学省より認定。  
\*2は共同利用・共同研究拠点として、文部科学省より認定。  
\*3は国際共同利用・共同研究拠点として、文部科学省より認定。

# 役職員

## 名古屋大学

### 総長、副総長等

総長	杉山 直
副総長(統括・医学系連携担当)	門松 健治
副総長(財務・施設・DO・広報ブランディング担当)	木村 彰吾
副総長(研究・情報系戦略(研究)担当)	山中 宏二
副総長(教育・留学生・情報システム(DU)・情報系戦略(教育/その他)担当)	寺崎 一郎
副総長(国際・計画・評価・IR担当)	水谷 法美
副総長(産学官連携・スタートアップ担当)	佐宗 章弘
副総長(学生支援・入試・人文社会系改革・図書館・附属学校担当)	佐久間淳一
副総長(法務・リスク管理・公正研究・内部統制・監査・人権担当)	矢野 昌浩
副総長(男女共同参画・多様性担当)	永田 雅子
総長特別補佐(国際卓越担当)	武田 一哉
総長補佐(NU-Tech担当)	神山 知久
総長補佐(シンガポール名古屋大学グローバル・キャンパス担当)	今泉 寛
総長補佐(GaNプロジェクト研究開発推進・半導体戦略担当)	須田 淳
参与	小川 宏嗣*
参与	徳川 義崇*
参与	國枝 秀世*
参与	Tim Warner*
参与	渡部美由紀*

注 \*は学外非常勤。

### 副総長補佐

研究戦略・研究人材社会連携担当	榎本 篤
研究戦略・研究人材育成担当	山口 茂弘
G30プログラム担当	笠原 次郎
全学教育担当	林 誠
情報基盤整備担当	森 健策
情報連携戦略担当	青木 学聡
BOOST担当	井手 一郎
国際戦略担当	長谷川 正
国際広報担当	リンリー マシュー
国際連携担当	井上 直子
国際戦略・計画・評価担当	横溝 大
産学官共創(生物系)担当	福島 和彦
産学官共創(工学系)担当	宇佐美徳隆
全学技術センター・機器共用システム改革担当	大槻 主税
入試・高大連携担当	石井 秀宗
キャリア支援担当	土井 康裕
人権担当	河野 荘子
人権担当	高橋 祐介
人権担当	池田 素子
男女共同参画・多様性担当	山崎真理子
多様性(障害者)担当	工藤 晋平

### 教育研究評議会評議員

機構長	松尾 清一
総長	杉山 直
理事(統括副総長)	門松 健治
理事(副総長)	木村 彰吾
副総長	寺崎 一郎
人文学研究科長	星野 幸代
教育発達科学研究科長	高井 次郎
法学研究科長	中東 正文
経済学研究科長	清水 克俊
情報学研究科長	北 栄輔
理学研究科長	田中健太郎
医学系研究科長	勝野 雅央
工学研究科長	小橋 眞
生命農学研究科長	中園 幹生
国際開発研究科長	島田 弦
多元数理科学研究科長	大平 徹
環境学研究科長	谷川 寛樹
創薬科学研究科長	山本 芳彦
教養教育院長	納谷 信
高等研究院長	榑原 均
環境医学研究所長	林 良敬
未来材料・システム研究所長	内山 知実
宇宙地球環境研究所長	塩川 和夫
医学部附属病院長	丸山 彰一
ジェンダーダイバーシティセンター長	山崎真理子
総合保健体育科学センター長	石田 浩司
連合I群選出評議員(教育基盤連携本部)	加藤 真紀
連合II群選出評議員(情報基盤センター長)	森 健策
評議会選出評議員	池田 素子
評議会選出評議員	田川 美穂
評議会選出評議員	竹本さやか
評議会選出評議員	中村 靖子
評議会選出評議員	服部 美奈
評議会選出評議員	本田 育美
評議会選出評議員	王 謙

役員

## 東海国立大学機構

### 役員等

機構長	松尾 清一
大学総括理事・副機構長(岐阜大学長)	吉田 和弘
大学総括理事・副機構長(名古屋大学総長)	杉山 直
理事	王 志剛
理事	門松 健治
理事	木村 彰吾
理事・事務局長	澤川 和宏
理事	鈴木 武*
理事	松川 禮子*
監事	西田 裕**
監事	中谷 聡子*
監事	山田 英脩*
副理事(岐阜大学医学部附属病院長)	秋山 治彦
副理事(名古屋大学医学部附属病院長)	丸山 彰一
機構長補佐	大藪 千穂
機構長補佐	神原 信志
機構長補佐	杉山 誠
機構長補佐	益子 典文
機構長補佐	リム リーワ
機構長補佐	寺崎 一郎
機構長補佐	山中 宏二
機構長補佐	水谷 法美
機構長補佐	佐宗 章弘
機構長補佐	佐久間淳一
機構長補佐	矢野 昌浩
機構長補佐	永田 雅子
参与	上月 正博*
参与	岡村 典*
参与	武田修三郎*
参与	星屋 秀幸*
参与	吉成 信夫*
参与	加藤 智子*
参事	木全 誠一*

注 \*は学外非常勤。\*\*は学外。

### 運営方針会議構成員

トヨタ自動車株式会社 相談役	内山田竹志
学校法人トヨタ学園監事、東邦瓦斯株式会社社外取締役 等	浜田 道代
国際基督教大学名誉教授	日比谷潤子
ソフトバンク株式会社代表取締役 社長執行役員 CEO	宮川 潤一
株式会社十六フィナンシャルグループ代表取締役会長	村瀬 幸雄
フライブルク大学学長	Kerstin Kriegelstein
東海国立大学機構大学総括理事・副機構長、岐阜大学長	吉田 和弘
東海国立大学機構大学総括理事・副機構長、名古屋大学総長	杉山 直
東海国立大学機構長	松尾 清一

### 経営協議会委員

▶外部委員 令和7年7月1日現在

三井物産株式会社社外取締役	石黒不二代
株式会社十八楼 取締役女将	伊藤 知子
岐阜薬科大学名誉教授・元学長	稲垣 隆司
岐阜県副知事	大森 康宏
株式会社ナベヤ 代表取締役社長	岡本 知彦
日本アイ・ビー・エム株式会社 名誉相談役	橋本 孝之
愛知県副知事	林 全宏
東京海上日動火災保険株式会社 取締役会長	広瀬 伸一

(五十音順)

▶機構内委員

機構長	松尾 清一
大学総括理事・副機構長	吉田 和弘
大学総括理事・副機構長	杉山 直
理事	王 志剛
理事	門松 健治
理事	木村 彰吾
機構長補佐	杉山 誠

▶名古屋大学

Table listing various departments and their respective department heads at Nagoya University, including fields like Humanities, Education, Law, Economics, Information, Science, and Engineering.

▶東海国立大学機構事務局

Table listing the staff of the Tokai National University System Administration Office, including the Director and Deputy Director.

Table listing various departments and their respective staff members at Nagoya University, including administrative, research, and support roles across different faculties.

役員員

注 岐阜病院事務局及び岐阜大学教学事務部門は省略。

# 教育研究組織

## 学部

学部	学科	学科目(文学部においては学際、情報学部においては系)
文学部	人文学科	言語文化、英語文化、文献思想、歴史文化、環境活動
教育学部	人間発達科学科	生涯教育科学、学校教育科学、国際教育文化学、心理行動科学、発達臨床科学
法学部	法律・政治学科	基礎実定法学、基礎政治学、現代基礎法学、紛争処理法制、企業経済法制、公共政策、国際関係、法政情報
経済学部	経済学科	理論経済、応用経済
	経営学科	企業経営、情報会計
情報学部	自然情報学科	数理情報、複雑システム
	人間・社会情報学科	社会情報、心理・認知科学
理学部	コンピュータ科学科	情報システム、知能システム
	数理学科	数学
	物理学科	物理学
	化学科	化学
医学部	生命理学科	生物科学
	地球惑星科学科	地球惑星科学
医学部	医学科	解剖学、生理学、生化学、病理学、微生物学、医動物学、免疫学、法医学、衛生学、公衆衛生学、予防医学、内科学・神経内科学、外科学・胸部外科学、整形外科学、産婦人科学、眼科学、精神医学、小児科学、皮膚科学、泌尿器科学、耳鼻咽喉科学、放射線医学、麻酔学、口腔外科学、脳神経外科学、老年科学、救急医学、臨床検査医学
	保健学科	看護学、放射線技術科学、検査技術科学、理学療法学、作業療法学
工学部	化学生命工学科	化学生命工学
	物理工学科	物理工学
	マテリアル工学科	マテリアル工学
	電気電子情報工学科	電気電子情報工学
	機械・航空宇宙工学科	機械・航空宇宙工学
	エネルギー理工学科	エネルギー理工学
	環境土木・建築学科	環境土木・建築学
農学部	生物環境科学科	生物環境科学
	資源生物科学科	資源生物科学
	応用生命科学科	応用生命科学

## 大学院

研究科	専攻	講座等(人文学研究科においては学際)
人文学研究科	人文学専攻	言語文化、英語文化、文献思想、超域人文、歴史文化
教育発達科学研究科	教育科学専攻	生涯発達教育学、学校情報環境学、相関教育科学、高等教育学*、生涯スポーツ科学*
	心理発達科学専攻	心理社会行動科学、精神発達臨床科学、スポーツ行動科学*
法学研究科	総合法政専攻	基幹法・政治学、現代法システム論、国際・比較法政、アジア法政*
	実務法曹養成専攻	基幹法学、応用先端法学
経済学研究科	社会経済システム専攻	市場・制度分析、社会経済分析、政策システム分析、社会環境システム
	産業経営システム専攻	企業システム、経営革新、情報創造
情報学研究科	数理情報学専攻	数理情報基礎論、数理情報モデル論
	複雑系科学専攻	多自由度システム情報論、生命情報論、物質情報論、創発システム論、複雑系計算論、情報可視化論*
	社会情報学専攻	情報哲学、情報社会設計論、グローバルメディア論
	心理・認知科学専攻	認知科学、心理学
	情報システム学専攻	計算論、情報プラットフォーム論、ソフトウェア論、情報ネットワークシステム論*
理学研究科	知能システム学専攻	基盤知能情報学、システム知能情報学、フィールド知能情報学
	理学専攻	物理学第一、物理学第二、化学、生命理学、宇宙地球物理学*
	名古屋大学・エディンバラ大学 国際連携理学専攻	

研究科	専攻	講座等(人文学研究科においては学業)
医学系研究科	医科学専攻	
	総合医学専攻	生物化学、微生物・免疫学、細胞科学、機能形態学、病理病態学、社会生命科学、病態内科学、高次医用科学、脳神経病態制御学、頭頸部・感覚器外科学、病態外科学、運動・形態外科学、生体管理医学、発育・加齢医学、臨床医薬学、総合管理医学、先端応用医学*、実験動物科学*、神経科学*、腫瘍病態学*、発生・再生医学*、病態医療学*、周産母子医学*、親と子どもの精神医学*、高次神経統御学*、器官系機能調節学*、分子・細胞適応学*、健康増進医学*、分子医薬学*
	名古屋大学・アデレード大学国際連携総合医学専攻	
	名古屋大学・ルンド大学国際連携総合医学専攻	
	名古屋大学・フライブルク大学国際連携総合医学専攻	
	総合保健学専攻	ヘルスケア情報科学、オミックス医療科学、バイオメディカルイメージング情報科学、看護科学、予防・リハビリテーション科学、脳とこころの科学*
工学研究科	有機・高分子化学専攻	有機化学、高分子化学
	応用物質化学専攻	応用物理化学、固体化学
	生命分子工学専攻	分子生命化学、生命システム工学
	応用物理学専攻	量子物理学、構造物性物理学、複合系物性工学
	物質科学専攻	物質デバイス機能創成学、ナノ解析物質設計学
	材料デザイン工学専攻	計算材料設計、先端計測分析、ナノ構造設計
	物質プロセス工学専攻	先進プロセス工学、物質創成工学
	化学システム工学専攻	先進化学工学システム、材料化学
	電気工学専攻	電気エネルギー、先端エネルギー、宇宙電磁環境工学*
	電子工学専攻	未来エレクトロニクス創造、情報デバイス工学、量子システム工学、ナノエレクトロニクス*
	情報・通信工学専攻	情報通信、情報システム
	機械システム工学専攻	機械理工学、機械知能学
	マイクロ・ナノ機械理工学専攻	マイクロ・ナノ機械科学、マイクロ・ナノシステム
	航空宇宙工学専攻	空力・推進、構造・創製、飛行・制御
	エネルギー理工学専攻	エネルギー材料工学、エネルギー量子工学、エネルギー流体工学
	総合エネルギー工学専攻	核融合工学、エネルギーシステム工学、エネルギー安全工学
	土木工学専攻	構造・材料工学、水工学、地盤工学、社会基盤機能学
		名古屋大学・チュラロンコン大学国際連携サステイナブル材料工学専攻
生命農学研究科	森林・環境資源科学専攻	森林・環境資源科学
	植物生産科学専攻	植物生産科学
	動物科学専攻	動物科学
	応用生命科学専攻	応用生命科学
	名古屋大学・カセサート大学国際連携生命農学専攻	
	名古屋大学・西オーストラリア大学国際連携生命農学専攻	
国際開発研究科	国際開発協力専攻	国際開発協力、開発政策*、経営開発*、教育発達*、比較国際法政システム*、国際文化協力*
多元数理科学研究科	多元数理科学専攻	基幹数理、自然数理、社会数理、数理解析、高次元相
環境学研究科	地球環境科学専攻	地球環境変動論、地球環境システム学、気候科学、物質循環科学、地質・地球生物学、地球化学、地球惑星物理学、生態学、地球惑星ダイナミクス*、地球史学*、地球水循環科学*
	都市環境学専攻	都市持続発展論、環境・安全マネジメント、環境機能物質学、物質環境構造学、地圏空間環境学、地域・都市マネジメント、建築・環境デザイン、建築構造システム
	社会環境学専攻	環境政策論、経済環境論、環境法政論、社会学、地理学
創薬科学研究科	基盤創薬学専攻	創薬有機化学、創薬生物学、創薬分子構造学

注 \*は協力講座等。  
寄附講座及び産学協同研究講座を除く。

## 教養教育院

設置年月	設置目的
平成13年12月	本学における教養教育及び基礎教育の実施について統括するとともに、教育の質を管理する。

## 博士課程教育推進機構

設置年月	設置目的
平成30年10月	全学的な教学マネジメント及び大学院教育プログラムに係る企画・立案・調整その他卓越した博士人材の養成を図る。

## アジアサテライトキャンパス学院

設置年月	設置目的
平成26年 8月	アジア諸国の政府等の幹部、若手リーダーを対象とした博士後期課程プログラムである「アジア諸国の国家中枢人材養成プログラム」を研究科と連携して実施するとともに、海外に設置したサテライトキャンパスの運営を行う。

## 附置研究所

部局名	設置年月	設置目的
環境医学研究所	昭和21年 3月	環境医学に関する学理及びその応用の研究を行う。
未来材料・システム研究所*1	平成27年10月	地球規模での資源制約及び環境制約の下、人間と自然が調和する豊かな社会の持続的発展を支えるために必要となる未来材料からシステムに至る分野における研究課題について取り組むとともに、当該分野において国内外の産学官の研究者との共同研究を行うことで、環境調和型持続可能社会の実現に寄与する。
宇宙地球環境研究所*2	平成27年10月	地球・太陽・宇宙を一つのシステムとしてとらえ、そこに生起する多様な現象のメカニズム及び相互関係の解明を通じ、地球環境問題の解決及び宇宙にひろがる人類社会の発展に貢献する。

注 \*1は共同利用・共同研究拠点として、文部科学省より認定。  
\*2は国際共同利用・共同研究拠点として、文部科学省より認定。

## 医学部附属病院

患者安全推進部	
医学研究倫理・臨床倫理推進室	
病院戦略室	
院内法務相談室	
基金推進室	
診療科	血液内科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、糖尿病・内分泌内科、腎臓内科、血管外科、移植外科、消化器・腫瘍外科（肝胆膵）、消化器・腫瘍外科（消化管）、乳腺・内分泌外科、整形外科、リウマチ科、手の外科、リハビリテーション科、産婦人科、眼科、精神科、親と子どもの心療科、小児科、皮膚科、泌尿器科、耳鼻いんこう科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科、脳神経外科、老年内科、脳神経内科、呼吸器外科、心臓外科、形成外科、小児外科、総合診療科、救急科
中央診療施設等	検査部、手術部、放射線部、輸血部、病理部、外科系集中治療部、救急・内科系集中治療部、血液浄化部、中央感染制御部、光学医療診療部、リハビリテーション部、化学療法部、臨床工学技術部、栄養管理部、医療機器総合管理部、総合周産期母子医療センター、脳卒中医療管理センター、排泄情報センター、地域連携・患者相談センター、小児がん治療センター、重症心不全治療センター、ゲノム医療センター、メディカルITセンター、移植連携室、電子カルテ管理室、難聴支援・治療センター、小児循環器センター、希少がんセンター、難治性疾患診療部、歯科診療支援室、臨床心理室、先端医療開発部、卒後臨床研修・キャリア形成支援センター
薬剤部	
看護部	
事務部	

令和6年度（病床数は令和7年4月1日現在）

病床数	1,076	
臨床検査件数	7,802,366	
手術件数	10,295	
放射線検査・治療件数	260,234	
分娩件数	504	
メディカルソーシャルワーカーケースワーク取扱件数	42,073	
一日平均患者数	外来患者数	2,116
	入院患者数	805

注 手術件数は手術台帳から算出。

## 学内共同教育研究施設等

部局名	設置年月	設置目的
アイソトープ総合センター	昭和51年 5月	アイソトープの基礎知識・安全取り扱いに関わる教育訓練、共同利用、アイソトープの利用法・測定法・廃棄物処理法に関する新技術の研究開発、全学の放射線管理の総括を行う。
遺伝子実験施設	昭和59年 4月	学内における組換えDNA実験の支援や安全確保、関連する大型機器の共同利用を行う。
物質科学国際研究センター	平成10年 4月	物質創造の基礎的研究の我が国最初の中核的拠点として、先進的な新科学概念のもとに豊かな社会を築く有用な新物質の探求と創製を行い、地球環境、エネルギー、食料、健康など現代社会が直面している諸問題の解決を目指す。
高等教育研究センター*1	平成10年 4月	学部及び大学院における教育・研究活動と連携のもとに、高等教育に関する研究・調査を行い、その質的向上に資する。
農学国際教育研究センター	平成11年 4月 (改組:平成30年 4月)	国際農業開発分野における国際共同研究の推進とそれをベースとした農学国際教育の機能を先鋭化させ、他部局・機関との連携深化によるグローバルな農業開発への貢献を高める。
博物館	平成12年 4月	学術標本の収集・研究・保管、本物の学術標本を使った次世代教育と展示の他、大学における異分野交流・学融合の場、大学と社会とのインターフェースとして大学の研究成果を展示・公開する情報発信センター等の役割を担う。
心の発達支援研究実践センター	平成13年 4月 (改組:平成27年 4月)	心の問題が複雑化する現代のニーズに対応し、個人の心の発達支援のみでなく、個と社会のつながり、あるいは組織・集団全体の心理に対する支援研究、実践に取り組む。
法政国際教育協力研究センター	平成14年 4月	アジアの体制移行国を中心とする国々の法と政治に関する研究、法整備支援ニーズの解析と支援方法の開発、法整備に携わる人的養成のためのプロジェクトなど、法整備に関する研究と支援を行う。
生物機能開発利用研究センター	平成15年 4月	高等動植物の生命現象に関わる高次生物機能の解明の研究を進展させるとともに、その成果を有用生物に移植する研究を行うことによって生物系システムの利用に貢献する。
シンクロトロン光研究センター	平成19年 4月	光源加速器の開発からシンクロトロン光利用まで、放射光科学に関わる研究・教育を推進し、愛知県・公益財団法人科学技術交流財団等との地域・産学官連携のもと、当該分野における研究・開発推進の中心的役割を担う。
減災連携研究センター	平成24年 1月	大規模地震、風水害等の自然災害及び自然災害による被害の軽減に関する学問分野間の連携研究を推進し、当該研究の成果を社会に還元するとともに、当該研究及び減災に係る実践活動を推進する人材を育成し、地域協働による減災のための社会連携を実践する。
細胞生理学研究センター	平成24年 4月	基礎生物学的な視点から創薬科学及び先端医療と連携して新しい細胞生理学を一体的かつ先駆的に進めるため、創薬基盤技術開発等を推進する細胞生理学を中心とした基礎生物学分野に係る教育・研究を行う。
脳とこころの研究センター	平成25年12月	脳疾患に関わる研究施設や企業が戦略的かつ学際的に連携し(コンソーシアムの構築)、大規模な脳の多角的データを前方向的に蓄積する(コホートの確立)。コホートとコンソーシアムの二大基盤に基づき、脳疾患を克服する次世代創薬開発拠点の形成を目指す。
ナショナルコンポジットセンター	平成26年 1月	これまで海外でしか実施できなかった航空機や自動車などの実物大の大型の複合材部材の試作・評価等を国内で可能とする大型プレス設備と、耐雷、耐火・耐炎試験装置をパッケージした世界でも類のない拠点として、ものづくり産業の国際競争力強化への貢献を行う。
ジェンダーダイバーシティセンター	平成29年 7月 (改組:令和 4年 4月)	国内外の諸機関及び学内ジェンダー研究者との連携協力体制の下、現状マイノリティである女性研究者の育成に寄与しつつ、多様な人材の活躍を推進することにより、誰もが輝ける大学と社会のために、ジェンダー教育研究機能を兼ね備えたダイバーシティ&インクルージョン推進拠点を目指す。
低温プラズマ科学研究センター*2	平成31年 4月	低温プラズマに関する研究者を集結し、高精度なプラズマ計測装置及び多様なプラズマ発生装置を有するプラズマ科学プラットフォームを基盤として、さらなる研究の深化及び新領域の開拓を進めるとともに、この分野の教育研究を行う大学教員、研究者等の共同利用に供する。
数理・データ科学・人工知能教育研究センター	令和 元年12月	数理・データ科学に係る教育の強化及び研究の高度化並びに学内外の組織及び研究者との連携を推進する。
糖鎖生命コア研究所*2	令和 3年 1月	名古屋大学と岐阜大学の糖鎖に関する研究の高度化及び教育の強化を推進するとともに、この分野の教育研究を行う大学教員、研究者等の共同利用に供する。
ディープテック・シリアルイノベーションセンター	令和 5年 4月	学士課程から博士後期課程まで階層的に、大規模かつ学際的にアントレプレナーシップ教育を行い、本学の持つ高度技術シーズの社会実装を加速する土壌を醸成することによって、イノベーションの創出を加速するための基盤となる新しい価値観を生み出すことのできる人材を育成し、もって我が国の意識・活力の底上げに寄与する。
安全科学教育研究センター	令和 7年 4月	環境安全衛生に関する教育研究を推進するとともに、科学的・技術的に裏付けされた合理的な環境安全衛生管理の実務の展開及び効果的な安全教育の実践による環境安全衛生に配慮した人材の育成を行い、当該教育研究の成果を社会に還元することにより、我が国における環境安全衛生水準の向上に貢献し、安全な社会を実現する。
言語教育センター	令和 5年 4月	語学教育の専門家を擁する組織として、全学的な視野に立った語学教育を教養教育院、大学院人文学研究科等の関連部局と協力して実施するとともに、言語教育に関連する諸課題について、専門的見地から企画及び提言を行い、東海国立大学機構が設置する国立大学における語学教育の推進及び高度化に貢献する。
デジタル人文社会科学推進センター	令和 6年 4月	デジタルデータを活用するデータ駆動型のデジタル人文社会科学を戦略的かつ組織的に推進するため、領域横断的な新領域の開拓により人文社会科学系の研究振興を図るとともに、人文社会科学系の主導による新たな総合知の創出によりテクノロジー主体のアプローチでは解決が難しい社会課題の解決に貢献し、これらの取組を体系的な取組と組み合わせることにより、名古屋大学の研究力強化を図る。

注 \*1は教育関係共同利用拠点として、文部科学省より認定。  
\*2は共同利用・共同研究拠点として、文部科学省より認定。

## 共同利用・共同研究拠点

部局名	設置年月	設置目的
情報基盤センター*1	平成21年 4月	高度情報化社会における中核大学として教育・研究情報基盤環境の高度化を図り、名古屋大学の情報化の推進、学際大規模情報基盤の全国利用・共同研究拠点として日本の計算機科学・計算科学の発展に貢献する。
未来材料・システム研究所*1	〔附置研究所〕の欄を参照。	
宇宙地球環境研究所*2	〔附置研究所〕の欄を参照。	
低温プラズマ科学研究センター*1	〔学内共同教育研究施設等〕の欄を参照。	
糖鎖生命コア研究所*1	〔学内共同教育研究施設等〕の欄を参照。	

\*1は共同利用・共同研究拠点として、文部科学省より認定。

\*2は国際共同利用・共同研究拠点として、文部科学省より認定。

## 教育関係共同利用拠点

部局名	設置年月	設置目的
理学研究科附属臨海実験所	昭和17年 4月	主として海洋に関係のある自然科学の基礎研究及び応用研究並びに教育及び実習を行う。
高等教育研究センター	〔学内共同教育研究施設等〕の欄を参照。	

注 教育関係共同利用拠点として、文部科学省より認定。

## 総合保健体育科学センター

設置年月	設置目的
昭和50年 4月	健康・スポーツに関する教育・研究を行うとともに、学生・職員の健康管理、健康増進に関する専門的業務を行う。

## 国際高等研究機構

設置年月	設置目的
令和元年10月	高等研究院を基盤とする世界最高水準の基礎研究の支援体制の下で、知の創造から国際研究拠点の形成までの統括的マネジメント体制の強化、トランスフォーマティブ生命分子研究所、素粒子宇宙起源研究所等の国際研究拠点の研究支援体制の強化、国際広報・アウトリーチ機能の強化等により、戦略的・組織的な支援体制を強化するとともに、異分野若手研究者の交流及び融合研究を促進し、知の創造から国際展開までに係る各種施策を加速させる。

構成組織名	設置年月	設置目的
高等研究院	平成14年 4月	文理の壁を越えて世界最高水準の基礎研究を推進し、その成果を学内外に還元するとともに、学際的な視点から若手研究者の組織的な育成・自立支援を行う。
トランスフォーマティブ生命分子研究所	平成25年 4月	生命科学・技術を根底から変える革新的機能分子「トランスフォーマティブ生命分子」を生み出すとともに、化学-生物学の新融合分野を先導する次世代研究者等を育成する。
素粒子宇宙起源研究所	平成22年 4月	素粒子物理学、宇宙物理学の理論及び実験研究、さらには関連する数理論物理学や理論計算物理学の研究を結集し、素粒子及び宇宙の起源を解明する。

## 学際統合物質科学研究機構

設置年月	設置目的
平成14年 4月	物質創製化学に強みを持つ4大学（名古屋大学、北海道大学、京都大学及び九州大学）の研究組織（名古屋大学物質科学国際研究センター、北海道大学触媒科学研究所、京都大学化学研究所附属元素科学国際研究センター及び九州大学先導物質化学研究所）の組織的連携により、大学の枠を越えた学際連携の研究スタイルを刷新・変革するモデルとなり、当該分野の世界的トップ拠点を形成するとともに、大学院教育を含めた若手人材育成を大学間に広げて推進することにより、我が国の次世代の科学技術を担う人材の輩出を行う。

## 未来社会創造機構

設置年月	設置目的
平成26年 4月	産学官連携研究領域を主導し、研究、人材育成及び教育の有機結合を図り、産学官連携のもと、社会との対話を通じ次世代の教育研究を推進し、コミュニティ、社会及び世界の未来を担う新しい価値の創造を行う。

構成組織名	設置年月	設置目的
モビリティ社会研究所	平成28年 4月 (改組:平成31年 4月)	新たな学域としてのモビリティ学の創造、それに基づくイノベーションの創出及びイノベティブ人材の育成の循環的かつ持続的な実現を推進する。
ナノライフシステム研究所	平成30年10月	ものづくり、ナノテクノロジー及びライフサイエンスに関する分野融合研究を推進するとともに、社会的価値を創造できる人材を育成する。
マテリアルイノベーション研究所	平成30年10月	マテリアル領域におけるイノベーションに貢献するとともに、産学官連携による社会的価値の創造を行う。
量子化学イノベーション研究所	令和 6年 4月	量子、化学、医療、材料及び情報分野の融合により量子技術のフロンティアを開拓し、国際共同研究の促進、国内外の企業との共同研究の拡大及び量子技術イノベーション創出による新たな量子産業を創出する。
予防早期医療創成センター	平成27年 7月 (改組:令和 4年 4月)	高齢者をはじめとしたすべての人の健康、社会参加寿命の延伸を目指し、異分野連携の研究拠点として、予防早期医療（個人個人に最適化した疾病予防や、疾患の早期の診断・治療等を行うことをいう。）に関する新しい価値を創造する。
脱炭素社会創造センター	令和 4年 4月	地球温暖化の主因とされる二酸化炭素排出実質ゼロを目指す脱炭素社会の実現に向けて、地球規模の現状分析、戦略立案及び具体方策の実施に取り組む。

## グローバル・マルチキャンパス推進機構

設置年月	設置目的	
令和 4年 4月 (改組：令和 7年 4月)	本学がこれまで蓄積してきた海外大学等とのネットワーク及び海外拠点の展開を結集するグローバル・マルチキャンパス構想を通じて、組織的かつ戦略的に教育研究展開に取り組むとともに、国際的活動を本学の財産として持続的に担保し、最大限に活用する。	
構成組織名	設置年月	設置目的
アジアサテライトキャンパス学院	[アジアサテライトキャンパス学院]の欄を参照。	
農学国際教育研究センター	[学内共同教育研究施設等]の欄を参照。	
法政国際教育協力研究センター	[学内共同教育研究施設等]の欄を参照。	
日本法教育研究センター	令和 4年 4月	本学におけるアジア法整備支援事業の実績に基づき、2005年9月以降、法学研究科と法政国際教育協力研究センターのもとで、アジア諸国の大学と連携し、各国にて法整備を自律的に推進できる人材を育成。2022年4月、組織として独立。

## 附属図書館

### ▶蔵書数

令和7年4月1日現在

図書館・室名	和書 (冊)	洋書 (冊)	合計 (冊)
中央図書館	716,930	516,888	1,233,818
医学部分館 (含保健学図書室)	110,348	80,210	190,558
文学図書室	212,822	130,715	343,537
教育発達科学図書室 (含附属中・高等学校)	134,542	49,431	183,973
法学図書室	158,152	114,131	272,283
経済学図書室 (含国際経済政策研究センター)	166,908	133,168	300,076
情報・言語合同図書室	100,204	82,271	182,475
理学図書室	50,170	179,799	229,969
工学図書室	84,517	100,690	185,207
生命農学図書室	62,862	51,667	114,529
国際開発図書室	39,056	43,377	82,433
その他	39,308	40,414	79,722
<b>合計</b>	<b>1,875,819</b>	<b>1,522,761</b>	<b>3,398,580</b>

### ▶雑誌購入受入数 (純タイトル数)

令和7年4月1日現在

外国雑誌 (種)	国内雑誌 (種)	合計 (種)
280	796	1,076

### ▶電子ジャーナル提供数

令和7年4月1日現在

外国雑誌 (種)	国内雑誌 (種)	合計 (種)
16,434	113	16,547

### ▶電子ジャーナル利用件数 (全文表示件数)

令和6年度

合計
5,103,276

### ▶閲覧席数

令和7年4月1日現在

図書館・室名	閲覧席数
中央図書館	1,059
医学部分館・部局図書館	1,047
<b>合計</b>	<b>2,106</b>

### ▶利用状況 (中央図書館)

令和6年度

入館者数	閲覧業務		参考調査業務		相互利用業務	
	貸出者数	貸出冊数	取扱件数	取扱件数	取扱件数	取扱件数
573,672	59,173	125,072	1,556		20,861	

### ▶所蔵コレクション一覧

文庫・特殊コレクション	高木家文書*、岡田家文書、日比家文書、竹田家文書、神宮皇学館文庫、青木文庫、岡谷文庫、内田文庫、伊藤圭介文庫、森本文庫、小林文庫、後藤文庫、長谷川文庫、鈴木橋夫文庫、永井文庫、水田文庫、瀧川文庫、イギリス革命関係文献コレクション、小川文庫、徳重文庫、ベックハルト文庫、池野文庫、石井文庫、岡見文庫、ヒルベルト文庫、スペイン市民戦争関係資料
大型コレクション	ハンサード：英国議会議事録1836-1975、インド立法関係史料集、フランス官報及び議会議事録1869-1968、ホプズ・コレクション第1期、ホプズ・コレクション第2期、18-19世紀ヨーロッパ総合雑誌集成、英国近世初期書籍集成I、チベット仏教全書、英国近世初期書籍集成II、リトルトン卿収集パンフレット集成、フーパッチュ教授旧蔵書、18世紀フランス自由思想家コレクション、ロシア・ソビエト研究資料集、H.P.イブセン博士旧蔵書、英国貴族院日誌・英国議会古記録、ヨーロッパ中世キリスト教神学及び世俗文学研究コレクション、ヨーロッパ教育史・教育理論研究コレクション、言語哲学コレクション、プロイセンの政治・経済・文化、英国貴族院上訴事件判例集1755-1843、18世紀英語・英語圏刊本集成、ドイツ帝国議会連邦参議院議事録

注 \*は附属図書館が所蔵する旧旗本交代寄合西高木家の旧蔵文書群で、一部は令和元年7月に国の重要文化財に指定。

# 役員・教職員数

## 役員等数

### ▶名古屋大学執行体制

令和7年5月1日現在

区分	男性	女性	合計
総長	1		1
副総長	8	1	9
総長特別補佐	1		1
総長補佐	3		3
副総長補佐	17	4	21
合計	30	5	35

### ▶東海国立大学機構執行体制

令和7年5月1日現在

区分	男性	女性	合計
機構長	1		1
大学総括理事・副機構長	2		2
(常勤)	3		3
理事	1		1
事務局長	1	1	2
(非常勤)	1		1
監事	1		1
(常勤)	1	1	2
(非常勤)			
副理事	<2>		<2>
機構長補佐	<9>	<3>	<12>
合計	10	2	12
	<11>	<3>	<14>

注 < >は兼務。

役員は機構長、大学総括理事、理事、監事。

## 教職員数 (名古屋大学)

区分	教授			准教授			講師			助教			助手			研究員			小計		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
人文学研究科・文学部	28	15	43	21	23	44	3	3	6	3	2	5				(1)	(1)	(2)	52	43	95
教育発達科学研究科・教育学部	14	5	19	4	2	6	1	2	3		2	2							19	11	30
法学研究科・法学部	28	10	38	3	1	4	1	3	4	1		1		1	1				33	15	48
経済学研究科・経済学部	15	1	16	8	4	12	(4)	(6)	(10)	3	2	5							27	10	37
情報学研究科・情報学部	35	2	37	23	2	25	3	1	4	12		12				(1)		(1)	73	5	78
理学研究科・理学部	(1)	(1)	(2)	(3)	(1)	(4)	(1)	(1)	(2)	(5)	(2)	(7)				(17)	(5)	(22)	(26)	(9)	(35)
医学系研究科・医学部	37	4	41	30	(1)	31	20	3	23	19	7	26				(16)	(4)	(20)	106	14	120
医学部附属病院	(1)	(1)	(2)	(1)	(1)	(2)	(5)	(3)	(8)	(5)	(3)	(8)							(66)	(20)	(86)
工学研究科・工学部	61	8	69	41	14	55	17	16	33	45	24	69				(3)	(5)	(8)	164	62	226
生命農学研究科・農学部	(10)	(1)	(11)	(6)	(1)	(7)	(20)	(2)	(22)	(27)	(11)	(38)							(66)	(20)	(86)
国際開発研究科	6		6	7	1	8	35	5	40	59	18	77				(3)	(3)	(6)	107	24	131
多元数理科学研究科	(11)	(1)	(12)	(9)	(2)	(11)	(47)	(13)	(60)	(118)	(41)	(159)							(3)	(3)	(6)
環境医学研究所	91	6	97	76	3	79	10	7	17	63	8	71				(3)	(3)	(6)	(188)	(60)	(248)
未来材料・システム研究所	(3)	(3)	(6)	(3)	(3)	(6)	(3)	(3)	(6)	(10)	(9)	(19)				(8)		(8)	(27)	(9)	(36)
宇宙地球環境研究所	37	2	39	26	8	34	3	1	4	25	6	31				(4)	(5)	(9)	91	17	108
アイソトープ総合センター	6	4	10	6	4	10				1	1	2							13	9	22
環境学研究所	26		26	15	2	17	2		2	3		3							46	2	48
創薬科学研究科	36	4	40	(1)	(1)	(2)	4	3	7	(6)	(1)	(7)							(6)	(1)	(7)
教養教育院	6		6	4		4				8	(2)	(5)				(3)	(1)	(4)	76	20	96
博士課程教育推進機構	3		3	2	1	3	3		3	8	1	9				(1)		(1)	17	1	19
アジアサテライトキャンパス学院				(6)	(3)	(9)													(1)	(1)	(2)
環境医学研究所				(1)	(1)															(2)	(2)
未来材料・システム研究所	(2)		(2)	(2)		(2)	(2)	(2)	(2)	(1)	(1)	(2)							(4)	(3)	(7)
宇宙地球環境研究所	7	1	8	1	1	2	6	3	9	3	2	5							17	6	23
アイソトープ総合センター	21	2	23	(2)	(2)	(4)	(2)	(2)	(4)	(1)	(7)	(8)				(3)	(1)	(4)	(8)	(8)	(16)
物質科学国際研究センター	(7)		(7)	(6)		(6)	1	(1)	(2)	1	9	12							43	5	48
遺伝子実験施設	13	1	14	(6)	(6)	(12)	3	(3)	(6)	(6)	(2)	(8)				(14)	(1)	(15)	(33)	(4)	(37)
物質科学国際研究センター	1		1	(2)	(1)	(3)	3		3	7	7	(13)				(6)	(2)	(8)	33	2	35
物質科学国際研究センター	1		1	(2)	(1)	(3)				(8)	(5)	(13)							(16)	(8)	(24)
物質科学国際研究センター	1		1	2		2													3		3
物質科学国際研究センター	2		2	1		1	1	1	1	1	1								3	2	5
物質科学国際研究センター	1	1	2	1		1				2	2					(1)	(1)	(2)	(1)	(1)	(2)
物質科学国際研究センター	1		1	1	1	2				(1)	(4)	(5)				(1)	(3)	(4)	(2)	(7)	(9)
物質科学国際研究センター	1		1	1	1	2													2	2	4
物質科学国際研究センター	2		2	1	2	3	1		1										4	2	6
物質科学国際研究センター	2	1	3	2	1	3				(1)	(1)					(1)		(1)	(1)	(1)	(2)
物質科学国際研究センター	(1)		(1)	2		2	(1)	(1)	(2)	(2)	(3)								4	4	8
物質科学国際研究センター	4		4	2		2													2		2
物質科学国際研究センター	1		1	1	1	2				2	2								7	7	14
物質科学国際研究センター	(1)		(1)	(1)	(1)	(2)	(1)	(1)	(2)	(1)	(1)					(2)	(2)	(4)	(3)	(2)	(5)

教職員数 (東海国立大学機構)

令和7年5月1日現在

区分	専門職			事務職員・技術職員等			合計		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
東海国立大学機構事務局				1		1	1		1
総務部	(2)	1(1)	1(3)	40	38(1)	78(1)	40(2)	39(2)	79(4)
経営企画部				9	9	18	9	9	18
財務部				52	43(1)	95(1)	52	43(1)	95(1)
教育戦略部				*4		*4	*4		*4
研究戦略部	(5)	(4)	(9)	*19	*22	*41	*19(5)	*22(4)	*41(9)
施設統括部				53	22	75	53	22	75
情報環境部	(4)	1(2)	1(6)	27	6	33	27(4)	7(2)	34(6)
図書館情報部				*4	*9	*13	*4	*9	*13
名大病院事務局				79(1)	61(5)	140(6)	79(1)	61(5)	140(6)
名古屋大学教学事務部門									
教育推進部	(1)	(2)	(3)	33	38	71	33(1)	38(2)	71(3)
研究協力部				21	25	46	21	25	46
附属図書館事務局		1	1	14	31	45	14	32	46
文系事務局				12	24	36	12	24	36
情報学部・情報学研究科事務局				3	6	9	3	6	9
理学部・理学研究科・多元数理科学研究科事務局				13	17	30	13	17	30
医学部・医学系研究科事務局				*48	*44	*92	*48	*44	*92
工学部・工学研究科事務局				15	24	39	15	24	39
農学部・生命農学研究科事務局				6	11	17	6	11	17
環境学研究科事務局				5	3	8	5	3	8
創薬科学研究科・細胞生理学センター事務局				2	2	4	2	2	4
研究所事務局				8	10	18	8	10	18
Common Nexus事務局				3	1	4	3	1	4
監査室				4	1	5	4	1	5
法務室	1		1				1		1
統括技術センター									
合計	1(12)	3(9)	4(21)	475(1)	447(7)	922(8)	476(13)	450(16)	926(29)

注 ( ) は任期付正職員 ( 育休代替等 ) を示し、外数。  
 \*は兼務者を含む。  
 岐大病院事務局及び岐阜大学教学事務部門は省略。

役員・教職員数

令和7年5月1日現在

区分	専門職			リサーチ・アドミニストレーター			附属学校教員			事務職員・技術職員			合計		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
人文学研究科・文学部													52	43	95
教育発達科学研究科・教育学部							18	19	37				(1)	(3)	(4)
法学研究科・法学部													37	30	67
経済学研究科・経済学部													(1)	(1)	(1)
情報学研究科・情報学部													33	15	48
理学研究科・理学部													(6)	(7)	(13)
医学系研究科・医学部													27	10	37
医学部附属病院										235	1,229	1,464	(1)	(1)	(1)
工学研究科・工学部										(37)	(89)	(126)	(66)	(20)	(86)
生命農学研究科・農学部													342	1,253	1,595
国際開発研究科													(225)	(149)	(374)
多元数理科学研究科													240	24	264
環境学研究科													(27)	(9)	(36)
創薬科学研究科													91	17	108
教養教育院													(5)	(9)	(14)
博士課程教育推進機構													13	9	22
アジアサテライトキャンパス学院													(1)	(1)	(2)
環境医学研究所													46	2	48
未来材料・システム研究所													(6)	(1)	(7)
宇宙地球環境研究所													76	20	96
アイソトープ総合センター													(7)	(4)	(11)
遺伝子実験施設													18	1	19
物質科学国際研究センター													(1)	(1)	(1)
高等教育研究センター													8	1	9
農学国際教育研究センター													(6)	(3)	(9)
博物館													(2)	(4)	(4)
心の発達支援研究実践センター													(4)	(3)	(7)
法政国際教育協力研究センター													17	6	23
生物機能開発利用研究センター													(8)	(8)	(16)
													43	5	48
													(33)	(4)	(37)
													33	2	35
													(17)	(8)	(25)
													3		3
													3	2	5
													(1)	(1)	(1)
													4	1	5
													(2)	(7)	(9)
													2	2	4
													4	2	6
													(1)	(1)	(2)
													4	4	8
													(2)	(3)	(5)
													2		2
													7		7
													(3)	(2)	(5)

区分	教授			准教授			講師			助教			助手			研究員			小計			
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	
シンクロtron光研究センター	2		2	2	(1)	2				(1)		(1)				(1)	(1)	(2)	(1)	(3)	4	
減災連携研究センター	4	(1)	4	2	(1)	2				(1)		(1)			(1)	(2)	(3)	(4)	(7)	6	6	
細胞生理学研究センター	1		1	1		1				1		1						3		3	3	
脳とこころの研究センター	1		1	2	(1)	2				1		1						3	1	4	(1)	
ナショナルコンポジットセンター	1		1	1		1									(1)	(1)		2	(1)	(1)	2	
ジェンダーダイバーシティセンター		1	1		1	1						(1)	(1)		(1)		(1)	(1)	(1)	(2)	2	
低温プラズマ科学研究センター	3	(3)	3	1	(1)	2	(2)	(2)	(4)						(1)		(1)	4	(7)	(4)	(11)	
数理・データ科学・人工知能教育研究センター	(1)		(1)	1		1											(1)	(1)	(1)	(1)	(2)	
糖鎖生命コア研究所	2	1	3	2	(2)	3	1	1	2	1	1	2				(1)	(1)	(1)	(1)	(2)	9	
糖鎖生命コア研究所	(3)		(3)	(2)	(1)	(3)	(1)		(1)	(3)	(3)	(6)			(5)	(3)	(8)	(14)	(7)	(21)	1	
ディープテック・シリアルイノベーションセンター	(2)		(2)	1		1												1		(2)	1	
安全科学教育研究センター	1		1	1	1	2												2	1	3	3	
言語教育センター		1	1	2	4	6	7	1	8									9	6	15	15	
デジタル人文社会科学推進センター	3		3	1	(1)	2	1		1									5	1	6	(1)	
情報基盤センター	5		5	4		4				2	(1)	(2)	(3)					11	(2)	(3)	11	
総合保健体育科学センター	7	2	9	3	2	5	1		1	1	2	3						12	6	18	18	
高等研究院				1	1		(1)		(1)	1	(7)	(28)						1	1	2	2	
トランスフォーマティブ生命分子研究所	5	(2)	5	(10)	(1)	(11)	(3)	(3)	(6)	(1)	1	(1)			(5)	(5)	(10)	(22)	(7)	(29)	6	
素粒子宇宙起源研究所	2		2	7	(2)	7				2	(8)	(1)	(9)		(2)		(2)	11	(1)	(13)	11	
学際統合物質科学研究機構	1		1				1	(1)	(1)	1	(4)	(4)						3	(1)	(5)	3	
未来社会創造機構	15	(9)	15	3	(9)	3	(4)	(2)	(6)	(13)	(5)	(18)			(4)	(5)	(9)	19	(18)	(57)	19	
グローバル・マルチキャンパス推進機構	(1)	(1)	(2)	1	(5)	3	1	(3)	(4)	1	(7)	(5)	(5)					4	(15)	(22)	6	
国際環境人材育成センター																						
リーディング大学院推進機構																						
GaN研究戦略室																						
フューチャー・アース研究センター																						
最先端半導体研究戦略室																						
リカレントプログラム支援室																						
One Medicine 生命・創薬共創プラットフォーム							(1)		(1)									(1)		(1)		
研究インテグリティマネジメント室																						
全学技術センター																						
運営支援組織																						
学術研究・産学官連携推進本部	2	(2)	2				(1)		(1)						(1)		(1)	2	(4)	(2)	2	
情報連携推進本部	1		1	1		1				(1)		(1)						2	(1)	(2)	2	
環境安全衛生推進本部																						
防災推進本部																						
キャンパスマネジメント推進本部																						
教育基盤連携本部		1	1	2	(1)	3												2	(1)	(2)	4	
附属図書館																						
学生支援本部						1	1												1		1	
施設・環境計画推進室	1		1				1		1									2		2		
核燃料管理施設		1	1																1		1	
ハラスメント相談センター																						
災害対策室	1		1																1		1	
PhD登龍門推進室																						
動物実験支援センター	1		1																1		1	
障害者支援室																						
IR戦略室																						
Development Office																						
総長戦略本部																						
合計	542	75	617	367	92	459	126	52	178	282	90	372	1	1	(103)	(51)	(154)	1,317	310	1,627		
	(64)	(5)	(69)	(71)	(29)	(100)	(93)	(39)	(132)	(248)	(122)	(370)						(579)	(246)	(825)		

注 ( ) は任期付正職員 (コ・メディカル、育休代替、特任教授、寄附講座教授、病院教授、リサーチ・アドミニストレーター等) を示し、外数。

区分	専門職			リサーチ・アドミニストレーター			附属学校教員			事務職員・技術職員			合計		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
シンクロトン光研究センター													4 (2)	(1)	4 (3)
減災連携研究センター													6 (3)	(4)	6 (7)
細胞生理学研究センター													3		3
脳とこころの研究センター													3 (1)	1	4 (1)
ナショナルコンポジットセンター													2	(1)	2 (1)
ジェンダーダイバーシティセンター													(1)	(1)	2 (2)
低温プラズマ科学研究センター													4 (7)	(4)	4 (11)
数理・データ科学・人工知能教育研究センター													1 (1)	(1)	1 (2)
糖鎖生命コア研究所													6 (14)	3 (7)	9 (21)
ディープテック・シリカイノベーションセンター													1 (2)		1 (2)
安全科学教育研究センター													2	1	3
言語教育センター													9	6	15
デジタル人文社会科学推進センター	(1)		(1)										5 (2)	1	6 (2)
情報基盤センター													11 (1)	(2)	11 (3)
総合保健体育科学センター										1	4	5	13	10	23
高等研究院	(1)		(1)										1 (23)	1 (7)	2 (30)
トランスフォーマティブ生命分子研究所													5 (21)	1 (9)	6 (30)
素粒子宇宙起源研究所													11 (12)	(1)	11 (13)
学際統合物質科学研究機構													3 (4)	(1)	3 (5)
未来社会創造機構													19 (39)	(18)	19 (57)
グローバル・マルチキャンパス推進機構	(2)	2 (4)	2 (6)										4 (9)	4 (19)	8 (28)
国際環境人材育成センター															
リーディング大学院推進機構															
GaN研究戦略室															
フューチャー・アース研究センター															
最先端半導体研究戦略室															
リカレントプログラム支援室															
One Medicine 生命・創薬共創プラットフォーム													(1)		(1)
研究インテグリティマネジメント室															
全学技術センター										105	33	138	105	33	138
運営支援組織															
学術研究・産学官連携推進本部				9 (13)	14 (11)	23 (24)							11 (17)	14 (11)	25 (28)
情報連携推進本部	(1)		(1)										2 (2)		2 (2)
環境安全衛生推進本部															
防災推進本部															
キャンパスマネジメント推進本部															
教育基盤連携本部													2 (1)	2 (1)	4 (2)
附属図書館															
学生支援本部	1	2 (6)	3 (6)										1	3 (6)	4 (6)
施設・環境計画推進室													2		2
核燃料管理施設														1	1
ハラスメント相談センター		2 (1)	2 (1)											2 (1)	2 (1)
災害対策室													1		1
PhD登龍門推進室															
動物実験支援センター													1		1
障害者支援室															
IR戦略室															
Development Office										1	4	5	1	4	5
総長戦略本部															
合計	1 (6)	6 (13)	7 (19)	9 (13)	14 (11)	23 (24)	18	19	37	342 (37)	1,270 (89)	1,612 (126)	1,687 (635)	1,619 (359)	3,306 (994)

# 学生数

## 学部等学生数

令和7年5月1日現在

区分	学部学生			科目等履修生			聴講生			研究生等			合計		
	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計
文学部†	243	334	577	4	3	7				11	25	36	258	362	620
教育学部†	107	204	311				3	1	4	2	3	5	112	208	320
法学部†	395	279	674	2		2				11	19	30	408	298	706
経済学部†	610	318	928	1		1				7	4	11	618	322	940
情報学部†	491	147	638							20	4	24	511	151	662
理学部	969	221	1,190	1		1				14	7	21	984	228	1,212
医学部*	671	858	1,529							27	6	33	698	864	1,562
工学部†	2,561	375	2,936				1	1	2	30	9	39	2,592	385	2,977
農学部	354	387	741							6	3	9	360	390	750
グローバル・マルチキャンパス推進機構										2	7	9	2	7	9
言語教育センター										6	10	16	6	10	16
環境医学研究所										1	1	2	1	1	2
その他				4	16	20				11	13	24	15	29	44
合計	6,401	3,123	9,524	12	19	31	4	2	6	148	111	259	6,565	3,255	9,820

注 †は第3年次編入学を行っている学部。  
 ※は第2年次編入学を行っている学部。  
 言語教育センターの研究生等は日本語研修生を含む。  
 その他の学生数は、愛知学長懇話会、APRU及びSSHコンソーシアムの科目等履修生を計上。

## 大学院学生数

令和7年5月1日現在

区分	博士課程									医学博士課程			専門職学位課程			研究生等			合計		
	博士前期課程			博士後期課程			小計			男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計
	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計												
人文学研究科†	72	131	203	95	118	213	167	249	416							11	16	27	178	265	443
教育発達科学研究科†	41	80	121	78	98	176	119	178	297							2	6	8	121	184	305
法学研究科†	40	34	74	38	23	61	78	57	135				84	57	141	25	15	40	187	129	316
経済学研究科†	68	33	101	39	12	51	107	45	152								3	3	107	48	155
情報学研究科	309	66	375	148	40	188	457	106	563							9	4	13	466	110	576
理学研究科	319	86	405	168	61	229	487	147	634							12	3	15	499	150	649
医学系研究科†	69	97	166	24	29	53	93	126	219	502	181	683				21	7	28	616	314	930
工学研究科†	1,215	147	1,362	346	68	414	1,561	215	1,776							16	12	28	1,577	227	1,804
生命農学研究科†	200	161	361	83	47	130	283	208	491							7	3	10	290	211	501
国際開発研究科	32	62	94	54	40	94	86	102	188							2	9	11	88	111	199
多元数理科学研究科†	102	3	105	71	1	72	173	4	177							2		2	175	4	179
環境学研究科†	188	97	285	90	84	174	278	181	459							23	13	36	301	194	495
創薬科学研究科	52	21	73	23	8	31	75	29	104										75	29	104
合計	2,707	1,018	3,725	1,257	629	1,886	3,964	1,647	5,611	502	181	683	84	57	141	130	91	221	4,680	1,976	6,656

注 †は社会人特別選抜を実施している研究科。  
 医学系研究科博士前期課程は修士課程を含む。

## 教育学部附属学校生徒数

令和7年5月1日現在

区分	入学定員	学級数	生徒数
中学校	80	6	240
高等学校	120	9	359
合計	200	15	599

## 単位互換制度に基づく交流学生数（国内大学間）

令和6年度

本学大学院	他大学大学院	交流学生数							
		派遣				受入			
		修士		博士		修士		博士	
春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期		
法学研究科	南山大学大学院法務研究科	23	5			5			
経済学研究科	名古屋市立大学大学院経済学研究科	1							
情報学研究科	南山大学大学院理工学研究科	10		1					
工学研究科	岐阜大学大学院自然科学技術研究科	1	2			20	22		
工学研究科	名古屋市立大学大学院芸術工学研究科					1			
工学研究科	京都大学大学院工学研究科		1						
生命農学研究科	岐阜大学大学院自然科学技術研究科	1							
環境学研究科	名古屋市立大学大学院芸術工学研究科					1			
<b>合計</b>		<b>36</b>	<b>8</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>27</b>	<b>22</b>	<b>0</b>	<b>0</b>

## 入学者数

### 学部入学者数

令和7年4月1日現在

学部	募集人員	志願者数	入学者数		
			男子	女子	計
文学部	125	299 (19)	61 (1)	66 (2)	127 (3)
教育学部	65	199 (14)	22 (0)	51 (1)	73 (1)
法学部	150	424 (19)	94 (2)	58 (0)	152 (2)
経済学部	205	520 (40)	127 (3)	85 (1)	212 (4)
情報学部	149	424 (30)	114 (0)	41 (1)	155 (1)
理学部	270	955 (35)	220 (1)	49 (0)	269 (1)
医学部	308	870 (1)	114 (0)	203 (0)	317 (0)
工学部	700	1,732 (1)	602 (1)	99 (0)	701 (1)
農学部	170	493 (15)	89 (1)	92 (3)	181 (4)
<b>合計</b>	<b>2,142</b>	<b>5,916 (174)</b>	<b>1,443 (9)</b>	<b>744 (8)</b>	<b>2,187 (17)</b>

注 ( )内は外国人留学生を示し、内数。

### 大学院入学者数

令和7年4月1日現在

研究科	博士前期課程・修士課程						博士後期課程・医学博士課程					
	入学定員	志願者数	入学者数			入学定員	志願者数	入・進学者数				
			男子	女子	計			男子	女子	計		
人文学研究科	104	310	29 (11)	47 (28)	76 (39)	61	65	21 (11)	24 (6)	45 (17)		
教育発達科学研究科	54	209	17 (3)	42 (15)	59 (18)	31	48	15 (1)	19 (1)	34 (2)		
法学研究科	35	64	12 (5)	3 (2)	15 (7)	17	13	8 (2)	1 (1)	9 (3)		
	50	287	32 (0)	26 (1)	58 (1)							
経済学研究科	44	218	26 (14)	13 (12)	39 (26)	22	11	8 (7)	1 (1)	9 (8)		
情報学研究科	164	386	154 (26)	32 (11)	186 (37)	43	41	30 (11)	6 (2)	36 (13)		
理学研究科	188	286	144 (1)	40 (0)	184 (1)	72	70	53 (2)	16 (1)	69 (3)		
医学系研究科	100	107	29 (2)	44 (3)	73 (5)	181	217	124 (9)	54 (6)	178 (15)		
工学研究科	603	820	596 (26)	58 (7)	654 (33)	143	91	75 (9)	9 (5)	84 (14)		
生命農学研究科	151	193	88 (6)	79 (0)	167 (6)	42	28	19 (2)	9 (5)	28 (7)		
国際開発研究科	44	161	12 (9)	28 (22)	40 (31)	22	20	7 (6)	6 (5)	13 (11)		
多元数理科学研究科	47	175	45 (7)	1 (0)	46 (7)	30	23	17 (2)	1 (0)	18 (2)		
環境学研究科	127	185	85 (11)	37 (11)	122 (22)	58	30	16 (4)	10 (3)	26 (7)		
創薬科学研究科	32	69	28 (1)	12 (0)	40 (1)	10	13	9 (0)	4 (0)	13 (0)		
<b>合計</b>	<b>1,743</b>	<b>3,470</b>	<b>1,297 (122)</b>	<b>462 (112)</b>	<b>1,759 (234)</b>	<b>732</b>	<b>670</b>	<b>402 (66)</b>	<b>160 (36)</b>	<b>562 (102)</b>		

注 ( )は外国人留学生を示し、内数。

法学研究科の下段は専門職学位課程（法科大学院）。

令和6年10月入学者及び博士前期課程（修士課程）1年・博士後期課程（医学博士課程）1年に原級留置されている学生は除く。

## 現役・浪人別入学者数

▶一般選抜前期日程

令和7年4月1日現在

学部・学科等	入学者数	現 役		浪 人 等			
		人数	割合(%)	人数	割合(%)		
文学部	108	102	94.4	6	5.6		
教育学部	61	54	88.5	7	11.5		
法学部	105	90	85.7	15	14.3		
経済学部	168	154	91.7	14	8.3		
情報学部	自然情報学科	36	29	80.6	7	19.4	
	人間・社会情報学科	32	28	87.5	4	12.5	
	コンピュータ科学科	58	44	75.9	14	24.1	
	小 計	126	101	80.2	25	19.8	
理学部	213	167	78.4	46	21.6		
医学部	医学科(一般枠)	90	47	52.2	43	47.8	
	医学科(地域枠)	5	3	60.0	2	40.0	
	保健 学科	看護学専攻	42	37	88.1	5	11.9
		放射線技術科学専攻	31	28	90.3	3	9.7
		検査技術科学専攻	25	23	92.0	2	8.0
		理学療法専攻	10	9	90.0	1	10.0
		作業療法専攻	17	14	82.4	3	17.6
	計	125	111	88.8	14	11.2	
小 計	220	161	73.2	59	26.8		
工学部	化学生命工学科	83	63	75.9	20	24.1	
	物理工学科	77	53	68.8	24	31.2	
	マテリアル工学科	98	71	72.4	27	27.6	
	電気電子情報工学科	116	96	82.8	20	17.2	
	機械・航空宇宙工学科	144	112	77.8	32	22.2	
	エネルギー理工学科	36	32	88.9	4	11.1	
	環境土木・建築学科	73	52	71.2	21	28.8	
	小 計	627	479	76.4	148	23.6	
農学部	生物環境科学科	29	28	96.6	1	3.4	
	資源生物科学科	45	31	68.9	14	31.1	
	応用生命科学科	66	54	81.8	12	18.2	
	小 計	140	113	80.7	27	19.3	
合 計	1,768	1,421	80.4	347	19.6		

▶一般選抜後期日程

令和7年4月1日現在

学部・学科等	入学者数	現 役		浪 人 等	
		人数	割合(%)	人数	割合(%)
医学部医学科	5	3	60.0	2	40.0
合 計	5	3	60.0	2	40.0

## 出身高等学校所在都道府県別入学者数(学部)

令和7年4月1日現在

都道府県	男子	女子	計	
北海道	13 (0.90%)	5 (0.67%)	18 (0.82%)	
東北	青森県	1	0	1
	岩手県	0	1	1
	宮城県	1	1	2
	秋田県	1	0	1
	山形県	0	0	0
	福島県	0	1	1
小 計	3 (0.21%)	3 (0.40%)	6 (0.27%)	
関東	茨城県	9	1	10
	栃木県	4	0	4
	群馬県	6	3	9
	埼玉県	15	7	22
	千葉県	12	2	14
	東京都	43	14	57
	神奈川県	28	2	30
小 計	117 (8.11%)	29 (3.90%)	146 (6.68%)	
北陸・甲信越	新潟県	1	0	1
	富山県	23	6	29
	石川県	18	11	29
	福井県	14	6	20
	山梨県	10	8	18
長野県	30	11	41	
小 計	96 (6.65%)	42 (5.65%)	138 (6.31%)	
東海	岐阜県	136	67	203
	静岡県	101	36	137
	愛知県	717	427	1,144
	三重県	75	46	121
小 計	1,029 (71.31%)	576 (77.42%)	1,605 (73.39%)	

都道府県	男子	女子	計	
近畿	滋賀県	12	1	13
	京都府	16	9	25
	大阪府	19	5	24
	兵庫県	28	7	35
	奈良県	8	4	12
	和歌山県	5	10	15
小 計	88 (6.10%)	36 (4.84%)	124 (5.67%)	
中国	鳥取県	3	0	3
	島根県	1	1	2
	岡山県	14	6	20
	広島県	10	6	16
山口県	2	2	4	
小 計	30 (2.08%)	15 (2.02%)	45 (2.06%)	
四国	徳島県	6	6	12
	香川県	4	3	7
	愛媛県	11	5	16
	高知県	3	6	9
小 計	24 (1.66%)	20 (2.69%)	44 (2.01%)	
九州・沖縄	福岡県	7	3	10
	佐賀県	1	0	1
	長崎県	1	0	1
	熊本県	5	2	7
	大分県	2	1	3
	宮崎県	5	0	5
鹿児島県	5	3	8	
沖縄県	5	0	5	
小 計	31 (2.15%)	9 (1.21%)	40 (1.83%)	
その他	高卒認定	2	1	3
	高 専	1	0	1
	外国等	9	8	17
小 計	12 (0.83%)	9 (1.21%)	21 (0.96%)	
合 計	1,443	744	2,187	

# 卒業・学位授与者数

## 学部卒業者数

令和6年度

区分	男子	女子	計	累計	旧制
文学部	51 (2)	84 (7)	135 (9)	9,154	185
教育学部	27 (1)	57	84 (1)	4,514	
法学部	96 (1)	72 (5)	168 (6)	11,036	228
経済学部	133 (4)	68 (3)	201 (7)	14,552	310
情報学部	114	30 (1)	144 (1)	701	
理学部	214 (5)	68 (6)	282 (11)	14,962	349
医学部 (医学科)	87 (1)	28	115 (1)	6,994	1,437
医学部 (保健学科)	50 (2)	155 (1)	205 (3)	5,130	
工学部	630 (8)	61 (1)	691 (9)	44,066	1,643
農学部	86 (2)	93 (2)	179 (4)	10,366	
情報文化学部 *				2,092	
<b>合計</b>	<b>1,488 (26)</b>	<b>716 (26)</b>	<b>2,204 (52)</b>	<b>123,567</b>	<b>4,152</b>

注 ( )は外国人留学生を示し、内数。  
旧制卒業者は名古屋帝国大学創設(昭和14年)以降の累計。  
\*は平成29年度から学生募集停止。

## 学位授与者数

令和6年度

区分	修士				区分	専門職学位課程			
	男子	女子	計	累計		男子	女子	計	累計
人文学研究科	34 (16)	73 (36)	107 (52)	735	人文学研究科				
教育発達科学研究科	10 (2)	23 (4)	33 (6)	1,756	教育発達科学研究科				
法学研究科	15 (10)	18 (17)	33 (27)	1,558	法学研究科	32	20	52	1,043
経済学研究科	28 (22)	24 (21)	52 (43)	1,495	経済学研究科				
情報学研究科	122 (18)	21 (5)	143 (23)	1,048	情報学研究科				
理学研究科	148 (8)	52 (4)	200 (12)	7,894	理学研究科				
医学系研究科	35 (7)	52 (10)	87 (17)	1,940	医学系研究科				
工学研究科	583 (43)	52 (9)	635 (52)	28,456	工学研究科				
生命農学研究科	100 (7)	63 (9)	163 (16)	6,133	生命農学研究科				
国際開発研究科	16 (13)	33 (26)	49 (39)	2,022	国際開発研究科				
多元数理科学研究科	51 (2)	3	54 (2)	1,220	多元数理科学研究科				
環境学研究科	74 (12)	46 (19)	120 (31)	3,110	環境学研究科				
創薬科学研究科	20	13	33	366	創薬科学研究科				
文学研究科 *2				2,271	文学研究科 *2				
国際言語文化研究科 *2				938	国際言語文化研究科 *2				
情報科学研究科 *2				1,753	情報科学研究科 *2				
人間情報学研究科 *1				783	人間情報学研究科 *1				
<b>合計</b>	<b>1,236 (160)</b>	<b>473 (160)</b>	<b>1,709 (320)</b>	<b>63,478</b>	<b>合計</b>	<b>32</b>	<b>20</b>	<b>52</b>	<b>1,043</b>

区分	博士												旧制
	課程				論文				合計				
	男子	女子	計	累計	男子	女子	計	累計	男子	女子	計	累計	
人文学研究科	7 (4)	16 (8)	23 (12) <11>	97	2		2 <0>	3	9 (4)	16 (8)	25 (12) <11>	100	
教育発達科学研究科	10 (1)	7 (4)	17 (5) <9>	344	3	4	7 <6>	154	13 (1)	11 (4)	24 (5) <15>	498	
法学研究科	1	4 (3)	5 (3) <1>	153				70	1 (0)	4 (3)	5 (3) <1>	223	
経済学研究科	3 (2)	3 (2)	6 (4) <1>	319	1		1 <0>	95	4 (2)	3 (2)	7 (4) <1>	414	
情報学研究科	31 (14)	6 (3)	37 (17) <7>	122		2	2 <2>	4	31 (14)	8 (3)	39 (17) <9>	126	
理学研究科	39 (8)	3	42 (8) <5>	2,055		2	2 <2>	847	39 (8)	5 (0)	44 (8) <7>	2,902	
医学系研究科	105 (3)	40 (8)	145 (11) <75>	4,825	21	3	24 <8>	3,606	126 (3)	43 (8)	169 (11) <83>	8,431	
工学研究科	87 (34)	17 (15)	104 (49) <13>	3,693	3		3 <0>	1,793	90 (34)	17 (15)	107 (49) <13>	5,486	
生命農学研究科	17 (3)	18 (10)	35 (13) <6>	1,449	3		3 <1>	545	20 (3)	18 (10)	38 (13) <7>	1,994	
国際開発研究科	6 (4)	5 (4)	11 (8) <5>	445		1	1 <1>	27	6 (4)	6 (4)	12 (8) <6>	472	
多元数理科学研究科	12 (4)	2 (1)	14 (5) <1>	204				11	12 (4)	2 (1)	14 (5) <1>	215	
環境学研究科	7 (5)	12 (8)	19 (13) <3>	556	2		2 <0>	100	9 (5)	12 (8)	21 (13) <3>	656	
創薬科学研究科	6	1	7 (0) <0>	68				3	6 (0)	1 (0)	7 (0) <0>	71	
文学研究科 *2	1		1 (0) <0>	490				157	1 (0)	0 (0)	1 (0) <0>	647	
国際言語文化研究科 *2				241				22				263	
情報科学研究科 *2	1		1 (0) <0>	264				17	1 (0)		1 (0) <0>	281	
人間情報学研究科 *1				147				25				172	
<b>合計</b>	<b>333 (82)</b>	<b>134 (66)</b>	<b>467 (148) &lt;137&gt;</b>	<b>15,472</b>	<b>35</b>	<b>12</b>	<b>47 &lt;20&gt;</b>	<b>7,479</b>	<b>368 (82)</b>	<b>146 (66)</b>	<b>514 (148) &lt;157&gt;</b>	<b>22,951</b>	

注 ( )は外国人留学生を示し、内数。なお、博士については、博士後期課程・医学博士課程在籍時に外国人留学生であった者を計上。  
< >は博士後期課程・医学博士課程を満期退学後に学位を取得した者を示し、内数。  
旧制学位は名古屋医科大学設置(昭和6年)以降の累計。  
\*1は平成15年度から学生募集停止。\*2は平成29年度から学生募集停止。

# 卒業・修了後の進路

## 学部卒業後

令和7年5月1日現在

区分	進学			就職			その他			合計		
	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計
文学部	12	11	23	33	61	94	6	12	18	51	84	135
教育学部	4	8	12	22	45	67	1	4	5	27	57	84
法学部	22	15	37	67	49	116	7	8	15	96	72	168
経済学部	5	3	8	121	58	179	7	7	14	133	68	201
情報学部	75	14	89	38	15	53	1	1	2	114	30	144
理学部	154	50	204	48	15	63	12	3	15	214	68	282
医学部(医学科)	1		1	79	27	106	7	1	8	87	28	115
医学部(保健学科)	21	44	65	26	110	136	3	1	4	50	155	205
工学部	577	50	627	44	9	53	9	2	11	630	61	691
農学部	74	78	152	9	14	23	3	1	4	86	93	179
合計	945	273	1,218	487	403	890	56	40	96	1,488	716	2,204

## 学部卒業後の産業別就職者数

令和7年5月1日現在

分類	文学部			教育学部			法学部			経済学部			情報学部			理学部		
	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計
農業・林業													1		1			
建設業					1	1	2	1	3	3		3	1		1			
製造業	6	10	16	3	11	14	10	4	14	18	10	28	4	1	5	5	3	8
電気・ガス・熱供給・水道業				2		2	4	3	7	3	4	7				1	1	2
情報通信業	5	13	18	3	6	9	6	8	14	19	9	28	19	10	29	14	3	17
運輸業・郵便業	2	3	5				3	1	4	5		5		1	1	2		2
卸売・小売業	4	8	12	1	1	2	7	5	12	4	2	6	1	1	2	1		1
金融・保険業	3		3	1	1	2	8	6	14	32	16	48	2		2	7	2	9
不動産業・物品賃貸業		2	2		1	1				1	1	2	1		1	1		1
学術研究・専門技術サービス業	2	4	6	2	3	5	5	4	9	22	4	26	8	1	9	6	1	7
宿泊業・飲食サービス業		1	1															
生活関連サービス業・娯楽業	1		1		1	1				2		2						
教育・学習支援業	4	6	10	3	6	9		2	2		1	1				5	2	7
医療・福祉		2	2														1	1
複合サービス事業		1	1	1		1												
サービス業	1		1	2	5	7	1		1	5	2	7		1	1	3	1	4
公務	4	11	15	4	9	13	20	15	35	7	9	16	1		1	2	1	3
その他	1		1				1		1							1		1
合計	33	61	94	22	45	67	67	49	116	121	58	179	38	15	53	48	15	63

分類	医学部(医学科)			医学部(保健学科)			工学部			農学部			合計		
	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計
農業・林業													1		1
建設業							2	1	3	1		1	9	3	12
製造業					1	1	15	3	18	1	2	3	62	45	107
電気・ガス・熱供給・水道業					1	1	3		3		1	1	13	10	23
情報通信業				2	1	3	5	2	7	1		1	74	52	126
運輸業・郵便業					1	1	1	2	3				13	8	21
卸売・小売業					2	2	3		3	2	2	4	23	21	44
金融・保険業				1		1	3	1	4		1	1	57	27	84
不動産業・物品賃貸業													3	4	7
学術研究・専門技術サービス業							3		3	1	1	2	49	18	67
宿泊業・飲食サービス業														1	1
生活関連サービス業・娯楽業							1		1				4	1	5
教育・学習支援業				1		1				1		1	14	17	31
医療・福祉	79	27	106	22	102	124				1		1	102	132	234
複合サービス事業													1	1	2
サービス業							3		3		2	2	15	11	26
公務					2	2	5		5	1	5	6	44	52	96
その他													3		3
合計	79	27	106	26	110	136	44	9	53	9	14	23	487	403	890

## 博士前期課程修了後

令和7年5月1日現在

区 分	修了者			進学者			教 員						公務員			企業等			病院			その他				
	男子	女子	計	男子	女子	計	大学・短大			左記以外			男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計		
							男子	女子	計	男子	女子	計														
人文学研究科	34	73	107	15	21	36				1	1	2				4	4	12	27	39				6	20	26
教育発達科学研究科	10	23	33	6	9	15										2	2	2	9	11	1	2	3	1	1	2
法学研究科	15	18	33	3	2	5	1		1						4	4	8	6	11	17				1	1	2
経済学研究科	28	24	52	3	1	4												20	19	39				5	4	9
理学研究科	148	52	200	53	20	73				2		2	1		1	88	31	119						4	1	5
医学系研究科	35	52	87	12	7	19							2	4	6	14	25	39	5	15	20			2	1	3
工学研究科	583	52	635	68	5	73							8	1	9	495	46	541						12		12
生命農学研究科	100	63	163	18	6	24							3	1	4	76	52	128						3	4	7
国際開発研究科	16	33	49	2	6	8			3	3			5	2	7	6	7	13						3	15	18
多元数理科学研究科	51	3	54	16	1	17				6		6	1		1	21	1	22						7	1	8
環境学研究科	74	46	120	13	7	20							4	4	8	53	29	82						4	6	10
情報学研究科	122	21	143	15	2	17	1		1				2	2	103	15	118							3	2	5
創薬科学研究科	20	13	33	6	3	9										13	10	23						1		1
合 計	1,236	473	1,709	230	90	320	2	3	5	9	1	10	28	24	52	909	282	1,191	6	17	23			52	56	108

## 博士後期課程・医学博士課程修了後

令和7年5月1日現在

区 分	修了者・単位等認定 による退学者			教 員						公務員			企業等			病院											
	男子	女子	計	大学・短大			左記以外			男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計									
				男子	女子	計	男子	女子	計																		
人文学研究科	9	27	36	3	3	6			1	1			1	1		4	4										
文学研究科	1		1	1		1																					
教育発達科学研究科	15	11	26	9	3	12			2	1	3	2		2										1	1		
法学研究科	4	5	9									1	2	3	1	2	3										
経済学研究科	3	3	6	2	2	4										1		1									
理学研究科	36	4	40	1		1										17	3	20									
医学系研究科	136	48	184	5	5	10						2		2	15	4	19	90	15	105							
工学研究科	103	14	117	9	3	12						3		3	58	5	63										
生命農学研究科	21	16	37	3	2	5						1	1	2	5	5	10										
国際開発研究科	8	6	14	2	1	3									2	1	3										
多元数理科学研究科	13	2	15						1		1	1		1	2		2										
環境学研究科	10	13	23	1	2	3						1	3	4	4	2	6										
情報学研究科	39	7	46	3	2	5										21	2	23									
情報科学研究科	2		2													1		1									
創薬科学研究科	7	1	8												6		6										
合 計	407	157	564	39	23	62	3	2	5	11	7	18	133	28	161	90	16	106									

区 分	特別研究員等に 採用			大学院研究生等			外国へ研究留学			帰国した留学生			その他		
	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計
人文学研究科											3	3	6	15	21
文学研究科															
教育発達科学研究科	1		1										1	6	7
法学研究科	1		1	1	1	2									
経済学研究科														1	1
理学研究科	12	1	13										6		6
医学系研究科	4	1	5	3	1	4	1	1	2				16	21	37
工学研究科	10	2	12	1		1				1		1	21	4	25
生命農学研究科	2	3	5		1	1							10	4	14
国際開発研究科	1		1										3	4	7
多元数理科学研究科	3	1	4		1	1							6		6
環境学研究科	1	2	3							1	2	3	2	2	4
情報学研究科	1	2	3							2		2	12	1	13
情報科学研究科													1		1
創薬科学研究科		1	1										1		1
合 計	36	13	49	5	4	9	1	1	2	4	5	9	85	58	143

# 主な教育・研究プログラム

## 特色ある教育プログラム、プロジェクト等

### ▶国際プログラム群(G30)

課程	プログラム	学部(学科)・研究科
学士課程	自動車工学プログラム	工学部 (電気電子情報工学科、機械・航空宇宙工学科)
	物理系プログラム	理学部 (物理学科)
	化学系プログラム	理学部 (化学科)、工学部 (化学生命工学科)
	生物系プログラム	理学部 (生命理学科)、農学部 (応用生命科学科)
	国際社会科学プログラム	法学部 (法律・政治学科)、経済学部 (経済学科、経営学科)
博士前期課程、医学修士課程	「アジアの中の日本文化」プログラム	文学部 (人文学科)
	物理・数理系プログラム	理学研究科、多元数理科学研究科
	化学系プログラム	理学研究科、工学研究科
	生物系プログラム	理学研究科、生命農学研究科、医学系研究科
	経済・ビジネス国際プログラム	経済学研究科
	言語学・文化研究プログラム	人文学研究科
	「アジアの中の日本文化」プログラム	人文学研究科
	自動車工学プログラム	工学研究科
	環境土木工学プログラム	工学研究科、環境学研究科
	地球環境科学プログラム	環境学研究科
博士後期課程、医学博士課程	物理工学プログラム	工学研究科
	公衆衛生学プログラム	医学系研究科
	物理・数理系プログラム	理学研究科、多元数理科学研究科
	化学系プログラム	理学研究科、工学研究科
	生物系プログラム	理学研究科、生命農学研究科
	医学系プログラム	医学系研究科
	環境土木工学プログラム	工学研究科、環境学研究科
	地球環境科学プログラム	環境学研究科
	物理工学プログラム	工学研究科

### ▶博士課程教育リーディングプログラム

類型・テーマ	プログラム	部局名
複合領域型(環境)	グリーン自然科学国際教育研究プログラム	理学研究科、工学研究科、生命農学研究科
オンリーワン型	法制度設計・国際的の制度移植専門家の養成プログラム	法学研究科
オールラウンド型	PhDプロフェッショナル登門	全研究科
複合領域型(横断的テーマ)	フロンティア宇宙開拓リーダー養成プログラム	理学研究科、工学研究科
複合領域型(情報)	実世界データ循環学リーダー人材養成プログラム	情報学研究科、工学研究科、医学系研究科、経済学研究科
複合領域型(多文化共生社会)	「ウェルビーイングinアジア」実現のための女性リーダー育成プログラム	国際開発研究科、教育発達科学研究科、生命農学研究科、医学系研究科

### ▶ジョイント・ディグリープログラム

専攻名	連携大学所在国	研究科
名古屋大学・アデレード大学国際連携総合医学専攻	オーストラリア	医学系研究科
名古屋大学・エディンバラ大学国際連携理学専攻	英国	理学研究科
名古屋大学・lund大学国際連携総合医学専攻	スウェーデン	医学系研究科
名古屋大学・カセサート大学国際連携生命農学専攻	タイ	生命農学研究科
名古屋大学・フライブルク大学国際連携総合医学専攻	ドイツ	医学系研究科
名古屋大学・西オーストラリア大学国際連携生命農学専攻	オーストラリア	生命農学研究科
名古屋大学・チュロンコン大学国際連携サステイナブル材料工学専攻	タイ	工学研究科

### ▶卓越大学院プログラム

プログラム	部局名	実施期間
トランスフォーマティブ化学生命融合研究大学院プログラム	理学研究科、工学研究科、生命農学研究科、創薬科学研究科	
未来エレクトロニクス創成加速DII協働大学院プログラム	工学研究科	
情報・生命医科学コンボリューション グローカルアライアンス卓越大学院	医学系研究科、生命農学研究科、情報学研究科、創薬科学研究科	令和 元年度～令和 7年度
ライフスタイル革命のための超学際移動イノベーション人材養成学位プログラム	人文学研究科、法学研究科、経済学研究科、情報学研究科、工学研究科、環境学研究科	令和 2年度～令和 8年度

### ▶数理データ・サイエンス・AIプログラム

プログラム	部局名	実施期間
名古屋大学数理・データサイエンス・AIリテラシー教育プログラム	全学部	令和 2年度～令和 8年度
名古屋大学数理・データサイエンス・AI応用基礎教育プログラム	全学部	令和 4年度～令和 9年度

### ▶次世代研究者挑戦的研究プログラム

プログラム	部局名	実施期間
東海国立大学機構メイク・ニュー・スタンダード次世代研究事業	全研究科	令和 6年度～令和10年度

### ▶国家戦略分野の若手研究者及び博士後期課程学生の育成事業 (BOOST) 次世代AI人材育成プログラム (博士後期課程学生支援)

プログラム	部局名	実施期間
TokAI BOOST: 東海国立大学機構次世代AI人材育成事業	全研究科	令和 6年度～令和 8年度

▶履修証明プログラム

プログラム	部局名	開設年度
組み込みシステム技術者のための技術展開力育成プログラム (enPiT-Pro Emb) 車載組み込みシステムコース	情報学研究科	平成30年度
産業データ科学履修プログラム	数理・データ科学・人工知能教育研究センター	令和 2年度
モビリティ分野における実践DX人材育成リカレント教育プログラム	数理・データ科学・人工知能教育研究センター	令和 5年度
現場で働く教員・指導医のための医学教育学プログラム—基礎編—	医学系研究科	令和 5年度
NAGOYA Clinical Informatics Program (名古屋医療情報学プログラム、NCIP)	医学系研究科	令和 6年度
ものづくりビジネス・経済エグゼクティブプログラム	経済学研究科	令和 7年度

▶大学の世界展開力強化事業

類型	事業名	部局名	実施期間
アジア高等教育共同体(仮称)形成促進タイプA:継続コンソーシアム	東アジア共通法の深化と世界への発信にむけた法的・政策的プラットフォームを支える人材育成	法学部/法学研究科	令和 3年度～令和 7年度
アジア高等教育共同体(仮称)形成促進タイプB:新規コンソーシアム	アジア諸国における炭素ゼロナイズーションのための人材育成	工学部/工学研究科(主幹部局)、経済学部/経済学研究科、国際開発研究科	令和 3年度～令和 7年度
インド太平洋地域等との大学間交流形成支援 主な交流先:オーストラリア	ポストSDGs時代の経済安全保障に貢献できる自律協働型国際プロフェッショナル人材育成	農学部/生命農学研究科(主幹部局)、文学部/人文学研究科、法学部/法学研究科、経済学部/経済学研究科、情報学部/情報学研究科、理学部/理学研究科、医学部/医学系研究科、工学部/工学研究科、国際開発研究科、多元数理科学研究科、環境学研究科、創薬科学研究科	令和 4年度～令和 8年度
米国等との大学間交流形成支援 タイプA:交流型	微小型成長を重視した分野横断型口米協創人材育成	工学部/工学研究科(主幹部局)、文学部/人文学研究科、教育学部/教育発達科学研究科、法学部/法学研究科、経済学部/経済学研究科、情報学部/情報学研究科、理学部/理学研究科、医学部/医学系研究科、農学部/生命農学研究科、国際開発研究科、多元数理科学研究科、環境学研究科、創薬科学研究科	令和 5年度～令和 9年度

▶ソーシャルインパクト創出のための多文化共修キャンパス形成支援事業

類型	事業名	部局名	実施期間
タイプII:海外展開型	グローバル・マルチキャンパスでの多文化共修を通じた未来社会の創造	全学	令和 6年度～令和11年度

▶WWL(ワールド・ワイド・ラーニング)コンソーシアム構築支援事業(地域アドバンスト・ラーニング・ネットワーク構築のための委託事業)

事業名	部局名	実施期間
セクショナリズムからコーポレーションへ	教育学部附属学校	令和 6年度～

▶三菱みらい育成財団

事業名	部局名	実施期間
文理融合教育STEAMプログラム ～知りたい・やりたい・成し遂げたい、そしてその思いを伝えたい～	教育学部附属学校	令和 5年度～令和 7年度

▶スーパーサイエンスハイスクール(文理融合基礎枠)

事業名	部局名	実施期間
サイエンス・エージェンシーを育成するカリキュラムの開発と実践 ～萌えから推し、そしてリアルへサイエンスエコシステムの構築～	教育学部附属学校	令和 6年度～令和10年度

▶スーパーサイエンスハイスクール(科学人材育成重点枠)

事業名	部局名	実施期間
高大接続による世界に伍する自立した高校生の育成 ～コトモノ TOKAI IMPACT「ときとき」から「とっきんとっきん」へ～	教育学部附属学校	令和 6年度～令和10年度

大型の競争的研究資金

▶科学研究費助成事業を除く主なプログラム

令和7年5月1日現在

事業名	担当省庁等	研究課題名	部局名	研究期間
国家課題対応型研究開発推進事業	文部科学省	革新的パワーエレクトロニクス創出基盤技術研究開発事業(パワーデバイス領域)	未来材料・システム研究所	令和 2年度～令和 7年度

事業名	担当省庁等	研究課題名	部局名	研究代表者	職名	研究期間
戦略的創造研究推進事業(CREST)	国立研究開発法人科学技術振興機構	あいまい性を考慮したRI AI基盤技術の開発	情報学研究科	森 健策	教授	令和 2年度～令和 7年度
		任意制御コム光源の開発と高感度分光への展開	工学研究科	西澤 典彦	教授	令和 3年度～令和 8年度
		高分子微粒子の構造・カウダイナミクスの高速AFM解析	理学研究科	内橋 貴之	教授	令和 3年度～令和 8年度
		RI AI基盤を利用した内視鏡手術支援AI Robot	未来社会創造機構	長谷川泰久	教授	令和 2年度～令和 7年度
戦略的創造研究推進事業(ERATO)	国立研究開発法人科学技術振興機構	計測データ駆動型薄膜プロセス最適化システムの開発	工学研究科	吉田 隆	教授	令和 5年度～令和 8年度
		ERATO 山内物質空間テクトニクスプロジェクト	工学研究科	山内 悠輔	教授	令和 5年度～令和 7年度
未来社会創造事業	国立研究開発法人科学技術振興機構	ソルガムの社会実装における重要遺伝子の同定及び集積育種	生物機能開発利用研究センター	佐塚 隆志	教授	令和 3年度～令和 7年度
		CFRPの多軸・繰り返し疲労損傷進展評価と余寿命予測モデル構築	工学研究科	荒井 政大	教授	令和 4年度～令和 8年度

事業名	担当省庁等	研究課題名	部局名	研究代表者	職名	研究期間
研究成果展開事業	国立研究開発法人 科学技術振興機構	セキュアでユビキタスな資源・エネルギー共創拠点に関する東海国立大学機構名古屋大学による研究開発	未来社会創造機構	松田亮太郎	教授	令和4年度～令和7年度
		地域を次世代につなぐモビリティ共創拠点に関する東海国立大学機構名古屋大学による研究開発	未来社会創造機構	森川 高行	教授	令和4年度～令和8年度
戦略的創造研究推進事業	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構	化学を基盤としたmRNAの分子設計・製造法の革新とワクチンへの展開	理学研究科	阿部 洋	教授	令和3年度～令和7年度
電気自動車用革新型蓄電池開発	国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構	亜鉛負極電池の研究開発	工学研究科	高橋 康史	教授	令和3年度～令和7年度
		フッ化物電池の研究開発	工学研究科	福塚 友和	教授	令和3年度～令和7年度
グリーンイノベーション基金事業	国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構	アンモニア合成触媒開発/塩基性複合酸化物系触媒	未来社会創造機構	永岡 勝俊	教授	令和3年度～令和7年度
		低圧・低濃度CO2分離回収の低コスト化技術開発・実証/工場排ガス等からの中小規模CO2分離回収技術開発・実証/LNG未利用冷熱を活用したCO2分離回収技術開発・実証	未来社会創造機構	則永 行庸	教授	令和4年度～令和9年度
		溶液成長法による超高品質SiCウエハの開発(実施項目)①大口径化技術開発、②低欠陥密度化技術開発、③長尺化技術開発、④高速成長技術開発、⑤デバイス実証用エピ成長の実施とデバイスプロセス影響の確認	未来材料・システム研究所	宇治原 徹	教授	令和4年度～令和7年度
戦略的イノベーション創造プログラム	国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構	地域活性化のためのグローバルインターパス基盤の研究開発	未来社会創造機構	河口 信夫	教授	令和5年度～令和7年度
		先進的モビリティシステムを活用したスマート・ディストリクトの構築	未来社会創造機構	森川 高行	教授	令和5年度～令和7年度

注 部局名、職名は採択(決定)当時。

#### ▶令和6年度競争的資金新規採択分

事業名	担当省庁等	研究課題名	部局名	研究代表者	職名	研究期間
先端国際共同研究推進事業	国立研究開発法人 科学技術振興機構	金属マグネシウム層とGaN層の超格子(MiGs)構造の物性とデバイス応用およびウルトラワイドバンドギャップ半導体材料(AIN、Ga2O3等)への超高濃度ドーピング	未来材料・システム研究所	天野 浩	教授	令和6年度～令和7年度
大学発新産業創出基金事業	国立研究開発法人 科学技術振興機構	Tokai Network for Global Leading Innovation (Tongali)	学術研究・産学官連携推進本部	佐宗 章弘	副総長/ 学術研究・産学官連携推進本部長	令和6年度～令和7年度
国家課題対応型研究開発推進事業	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構	ALS多段階病態メカニズムの解明と治療法開発	医学系研究科	勝野 雅央	教授	令和6年度～令和11年度
スマートバイオ創薬等研究支援事業		間葉系幹細胞治療用中空糸膜カラムの実用化	医学部附属病院	古橋 和弘	病院講師	令和6年度～令和8年度
ワクチン・新規モデル研究開発事業	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構	辟がん間質を標的とした抗体薬物複合体の研究開発	医学系研究科	榎本 篤	教授	令和6年度～令和10年度
橋渡し研究プログラム(シリーズB)	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構	化学修飾を駆使した次世代型 mRNA 技術の開発と感染症予防ワクチンへの応用	医学系研究科	木村 宏	教授	令和6年度～令和7年度
橋渡し研究プログラム(シリーズC)		再発又は難治性のCD19陽性B細胞性急性リンパ芽球性白血病に対するpiggyBacトランスポゾン法によるキメラ抗原受容体遺伝子改変自己T細胞JPCAR019の第I/II相医師主導治験	医学部附属病院	高橋 義行	教授	令和6年度～令和10年度
宇宙戦略基金	国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構	胃腸腹膜播種に特化したアンチセンス核酸医薬開発	医学部附属病院	神田 光郎	講師	令和6年度～令和8年度
		半永久的Software Defined編隊飛行と宇宙MIMO通信への展開	工学研究科	稲守 孝哉	准教授	令和6年度～令和8年度

注 部局名、職名は採択(決定)当時。

#### ▶令和6年度科学研究費助成事業新規採択分

事業名	担当省庁等	研究課題名	部局名	研究代表者	職名	研究期間
科学研究費助成事業(基盤研究(S))	文部科学省、独立行政法人日本学術振興会	革新的電波観測による太陽嵐予測の実現	宇宙地球環境研究所	岩井 一正	准教授	令和6年度～令和10年度
		気相微生物反応の学理とプロセス構築	工学研究科	堀 克敏	教授	令和6年度～令和10年度
		インタクトメタボロームを可視化し、細胞機能・物性発現の分子機構に迫る	生命農学研究科	福島 和彦	教授	令和6年度～令和10年度
		インフラディアンリズムの設計原理の解明とその制御	生命農学研究科(WPI)	吉村 崇	教授	令和6年度～令和10年度
		中規模量子コンピュータによるセキュアな分散型量子計算の基盤創出	多元数理科学研究科	ルガル フランソワ	教授	令和6年度～令和10年度
		光演算回路に基づく広帯域かつ超省エネルギー情報処理基盤の創出	情報学研究科	石原 亨	教授	令和6年度～令和10年度

注 部局名、職名は採択(決定)当時。

# 国際交流

## 学生の海外留学者数

令和6年度

地域区分	留学先国等名	文人文		教育		法		経済		情報		理		医		工		農		国際研究	多元数理科学	環境学	創薬科学	合計			
		学部	研究科	学部	研究科	学部	研究科	学部	研究科	学部	研究科	学部	研究科	学部	研究科	学部	研究科	学部	研究科					学部	研究科	計	
アジア	インド							1				1		3			2				1			3	5	8	
	インドネシア			3	5	2		1				2				1	4	1	2	1		10			8	24	32
	カンボジア						1										16	12	15						16	28	44
	シンガポール			2		2		13		34	2	1		8		7	23	3	1			3	1		70	30	100
	スリランカ																				1				0	1	1
	タイ	3				4	1	3			7		3		6	4	11	5	4			2			30	23	53
	ネパール		1																						0	1	1
	フィリピン	1			1			1	1					1		2	3			1	1			2	5	9	14
	ベトナム		1		1		2		1				5		1	1	1							2	1	14	15
	マレーシア										2				1									1	0	4	4
	モンゴル					2	1											1						3	3	4	7
	ラオス																	1						1	1	1	2
	韓国	1	8	2		11	4	3			12		12	8	13	11	26			1	1		15	2	36	94	130
	香港		1			1					1		1	1	1	1									2	4	6
台湾	2	4							2	5		1	2	6	5								15	12	31	43	
中国	10	16	3	2	10		4		1	11		10	4	2	6	12	3	3	1	5	25		41	87	128		
大洋州	オーストラリア	4			6		6	1	1	3	3	2	10	12	20	11	7	2			1	1	1	57	33	90	
	ニュージーランド	1								1				1	1								1	2	3	5	
	パプアニューギニア												1										2	1	2	3	
	フィジー														1		1							2	0	2	
北米	米国	9	4	11	9	9	1	9	1	10	28	5	25	14	22	32	79	4	9	4	11	12	1	103	206	309	
	カナダ		1		1		2			2	3	8	4	5	3	15								13	31	44	
中南米	コスタリカ																					3		0	3	3	
	コロンビア																		2					0	2	2	
	チリ											1												0	1	1	
	トリニダード・トバゴ														1									0	1	1	
	バルバドス															1								0	1	1	
	プエルトリコ																		1					0	1	1	
	ブラジル		1		1												2							0	4	4	
	ペルー																				1			0	1	1	
	メキシコ										3										1			0	4	4	
	アイスランド											1												1	0	1	
	アイルランド										1											2		1	0	4	4
	イタリア		1			2					2	9	2	10	3		2	13				3	1	11	38	49	
	英国	7	2	1	2	3	1	3			1	2	8	5	9	3	9	4	1	2				42	24	66	
	エストニア		1																						0	1	1
オーストリア										1		1	5	3		2				1	4	2	5	14	19		
オランダ		1	1	1		1		1		1		2				2							3	7	10		
ギリシャ										7														0	7	7	
スイス							1			1		8	3	1		2								4	12	16	
スウェーデン				1																				5	13	18	
スペイン		1								8		3		1	1		3	1	5	1		1		1	17	18	
スロバキア																1								0	1	1	
チェコ				1						1		2								1				0	5	5	
デンマーク		1								1						1								1	2	3	
ドイツ	8	2		3	4	3	7			6	2	16	9	3	2	19	5	1				2	1	37	56	93	
ノルウェー	2		1		2			1						3										8	1	9	
ハンガリー																1								0	1	1	
フィンランド														6	2	1	1				1	1		7	5	12	
フランス	10	1	1		3		1		2	2			1		3	5	1	6		2		7	22	23	45		
ベルギー																1	3							1	5	6	
ポーランド			2							1				4		1	1					1		5	5	10	
ポルトガル										1										1				0	2	2	
マルタ	1						1								1									3	0	3	
リトアニア										1				1	2									1	3	4	
中東	アラブ首長国連邦									1						1						2		0	4	4	
	オマーン																						1	0	1	1	
	トルコ				1					1														0	2	2	
	パキスタン															1								0	1	1	
アフリカ	ヨルダン																						3	0	3	3	
	ウガンダ				1																			0	1	1	
	エジプト			2																				0	2	2	
	チュニジア																				2			0	2	2	
	モーリシャス										1											1		1	1	2	
モロッコ											1													0	1	1	
ルワンダ																			1					0	1	1	
オンライン留学		1			2		1			1	3	10	540	21					5				4	547	41	588	
合計		61	50	25	29	63	16	58	5	54	134	29	119	644	96	121	247	56	62	33	23	130	15	1,111	959	2,070	

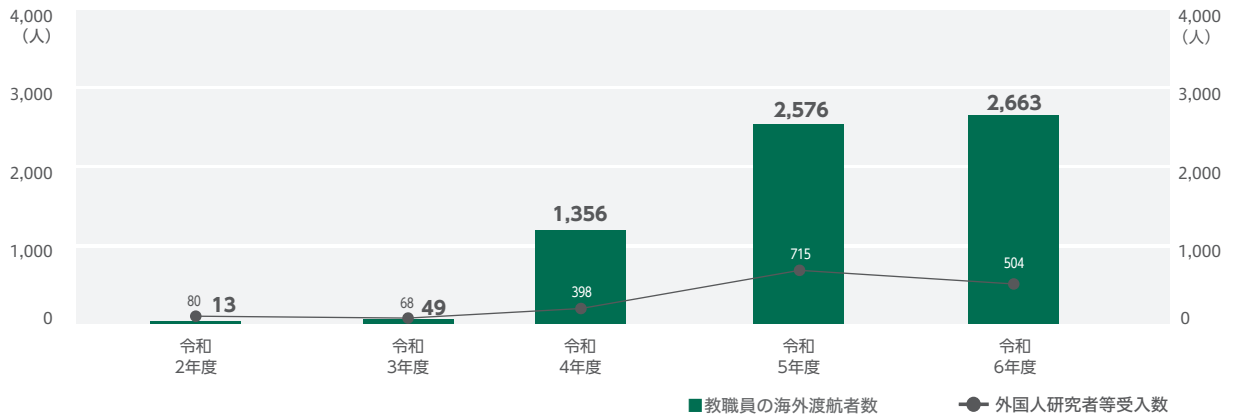
注 海外留学の種類・目的は、学位取得、交換留学、研究のための渡航、語学習得、インターンシップを含む。

令和5年度に出发し、令和6年度に引き続き渡航を継続した者を含む。

地域区分は外務省の基準による。

JASSO留学生調査の区分に基づき、マカオは中国に含め、香港は中国と別集計。

# 教職員の海外渡航者数・外国人研究者等受入数の推移



## 国（地域）別留学生・外国人研究者受入数

### ▶留学生

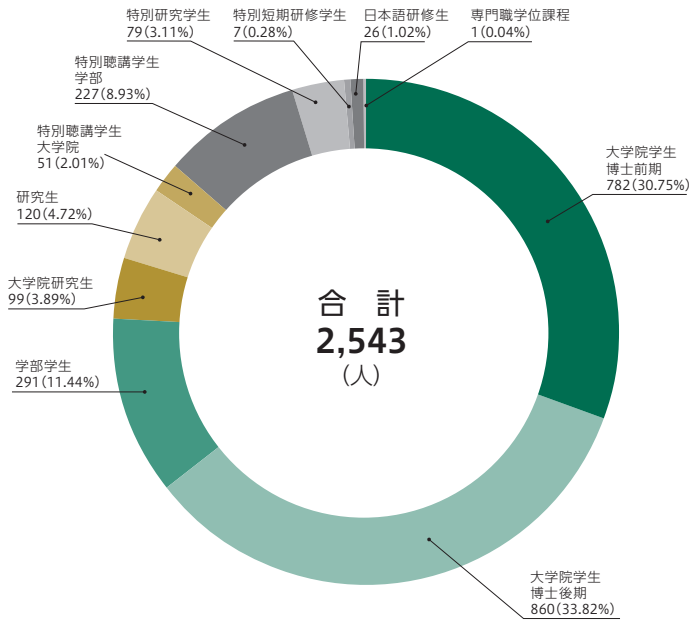
地域区分	国(地域)名	受入人数	
アジア	台湾	52	
	インド	33	
	インドネシア	106	
	カンボジア	27	
	シンガポール	20	
	スリランカ	27	
	タイ	55	
	パキスタン	18	
	バングラデシュ	22	
	フィリピン	57	
	ブータン	11	
	ブルネイ	1	
	ベトナム	101	
	マレーシア	15	
ミャンマー	21		
モルディブ	1		
モンゴル	53		
ラオス	10		
韓国	147		
香港	13		
中国	1,326		
小計	2,116		
大洋州	オーストラリア	9	
	ニュージーランド	1	
	バブアニューギニア	1	
パラオ	1		
小計	12		
北米	米国	47	
	カナダ	10	
小計	57		
中南米	アルゼンチン	3	
	グアテマラ	1	
	コロンビア	6	
	チリ	2	
	ドミニカ共和国	2	
	パラグアイ	1	
	ブラジル	18	
	ペルー	8	
	ボリビア	2	
	ホンジュラス	1	
	メキシコ	9	
	小計	53	
	欧州	アイスランド	1
		アゼルバイジャン	2
アルバニア		1	
イタリア		8	
ウクライナ		5	
ウズベキスタン		31	
エストニア		1	
オーストリア		5	
オランダ		6	
カザフスタン		2	
キプロス		2	
ギリシャ		1	
キルギス		1	
クオアチア		1	
ジョージア	2		
スイス	4		
スウェーデン	3		
スペイン	9		
セルビア	1		
タジキスタン	1		
チェコ	1		
デンマーク	5		
ドイツ	40		
ノルウェー	4		

### ▶外国人研究者等

地域区分	所属機関 国(地域)名	受入人数	
アジア	インド	17	
	インドネシア	14	
	韓国	14	
	カンボジア	3	
	シンガポール	16	
	スリランカ	1	
	タイ	25	
	台湾	30	
	中国	101	
	バングラデシュ	3	
	フィリピン	7	
	ベトナム	9	
	香港	3	
	マレーシア	2	
ミャンマー	1		
モンゴル	30		
ラオス	3		
小計	279		
大洋州	オーストラリア	7	
	ニュージーランド	1	
小計	8		
北米	米国	57	
	カナダ	12	
小計	69		
中南米	アルゼンチン	1	
	ブラジル	11	
	ペルー	1	
	メキシコ	1	
	小計	14	
	欧州	アイルランド	1
		イタリア	7
		ウズベキスタン	9
		英国	11
		オーストリア	5
		オランダ	1
		カザフスタン	2
		ギリシャ	1
		スイス	6
スウェーデン		4	
スペイン		4	
スロベニア		2	
チェコ		3	
デンマーク		1	
ドイツ	23		
ノルウェー	1		
フィンランド	8		
フランス	26		
ベルギー	5		
ポーランド	2		
ポルトガル	1		
ロシア	1		
小計	124		
中東	イスラエル	4	
	イラク	1	
イラン	2		
小計	7		
アフリカ	エジプト	1	
	エチオピア	2	
小計	3		
合計	504		

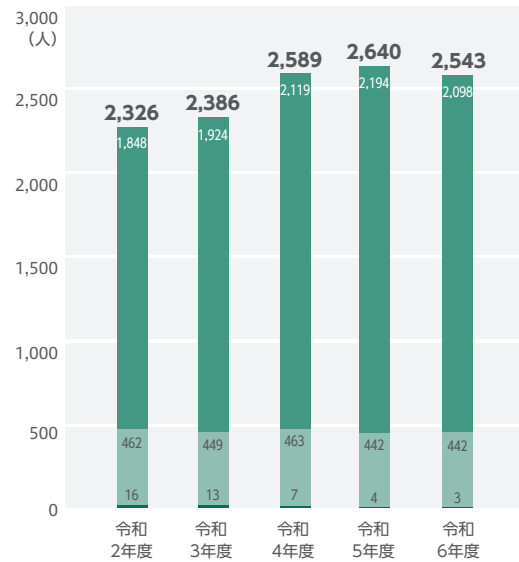
## 受入区分別留学生数

令和6年度



## 留学生数の推移

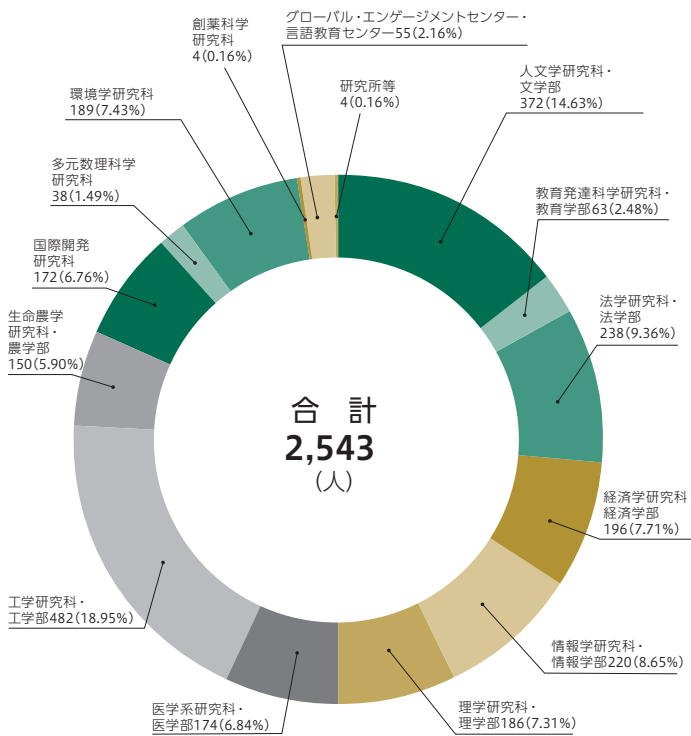
各年度実績



■ 私費留学生  
■ 国費留学生  
■ 外国政府派遣留学生

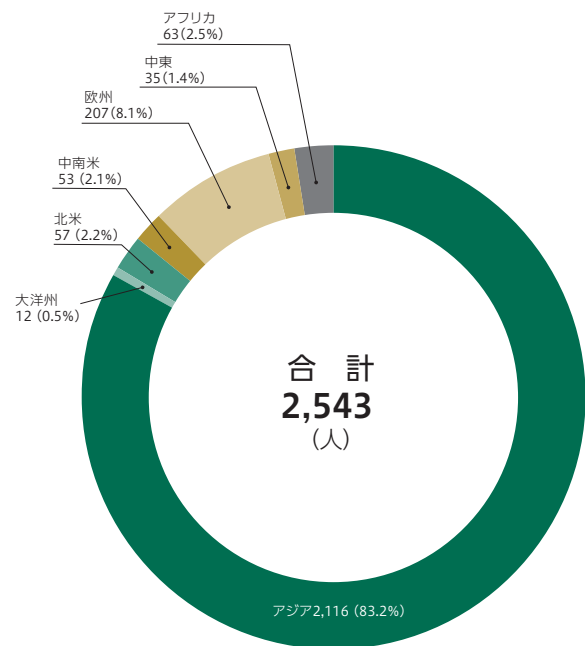
## 所属別留学生数

令和6年度



## 地域区分別留学生数

令和6年度





国(地域)名	協定数	大学間協定 163協定(※授業料不徴収130協定)		部局間協定 334協定(※授業料不徴収124協定)			
		大学等名	締結年	大学等名	部局窓口 締結年		
中国	59			※ 西安外国語大学日本文化経済学院	人文 2016		
				※ 中国人民大国外語学院	人文 2016		
				中国地震局地球物理研究所	環・減災 2017		
				※ 天津大学建築学院	環・工 2018		
				福建農林大学 HBMC FAFU-UCR ジョイントセンター	農 2018		
				南方科技大学量子科学技術研究所	多元・情報 2019		
				※ 大連理工大建設工学部	工 2020		
				香港中文大学(深圳) データ科学学院	多元・情報 2023		
				※ 天津大学建築工学院	環 2024		
				※ 長安大学高速道路工学院	環 2025		
ネパール	1			カトマンズ大学理理学部	環 2010		
バングラデシュ	3			※ バングラデシュ農業大学	農 2000		
				バングラデシュ工科大学物理学部	水 2008		
				ダッカ大学社会科学部	国開 2010		
フィリピン	6	※ フィリピン大学ロスバニョス校	2014	フィリピン大学マニラ校看護学部・看護系研究科	医 2015		
		国際イネ研究所	2019	※ デラサル大学工学部	工・環 2015		
		ビサヤ国立大学	2019	フィリピン大学ロスバニョス校	国開 2023		
ブータン	1			ブータン研究所	国開 2010		
ベトナム	14	※ ハノイ工科大学	2009	ベトナム国家と法研究所	法 1995		
		※ ベトナム国家大学ハノイ	2012	※ ハノイ法科大学	法 1999		
		ベトナム社会主義共和国司法省	2013	※ ホーチミン市法科大学	法 1999		
				ベトナム科学技術アカデミーホーチミン資源地理研究所	環 2008		
				※ ベトナム国家大学ホーチミン市校科学大学環境科学学部	環 2008		
				※ 賢翁大学	経 2010		
				フエ医科大学	医 2012		
				ベトナム科学技術アカデミー数学研究所	多元 2013		
				ホーチミン医科大学医療センター	医病 2016		
				ハノイ国立教育大学	教 2023		
		Blood Transfusion Hematology Hospital	医 2024				
香港	5	※ 香港中文大学	2010	※ 香港中文大学医学部(DD)	医 2022		
		※ 香港大学	2010				
		※ 香港城市大学	2017				
		※ 香港理工大学	2019				
マレーシア	5			マラ工科大学機械工学部	情報 2011		
				マレーシアアトラ大学理学部	工コ 2013		
				スルタン・イドリス教育大学	教 2017		
				マレーシアマラッカ技術大学	工 2020		
				マラヤ大学 理学部 物理学科 プラズマ技術研究センター	環・低減プラズマ 2022		
ミャンマー	2	※ ヤンゴン大学	2013	ヤンゴン第一医科大学	医 2015		
モンゴル	15	※ モンゴル国立大学	2006	※ モンゴル国立医療科学大学	医 2004		
		※ モンゴル科学技術大学	2009	モンゴル鉱物資源石油局地質情報センター	博 2006		
		モンゴル保健・スポーツ省	2016	モンゴル国立法律センター	法 2006		
		モンゴル自然環境・観光省	2017	※ モンゴル科学技術大学地質石油工学部	環 2006		
				モンゴル科学アカデミー地理学研究所	環 2007		
				モンゴル科学アカデミー哲学・社会学・法学研究所	法 2010		
				モンゴル気象水文環境研究所	環 2012		
				※ モンゴル国立教育大学	教 2013		
				モンゴル科学技術大学地質・鉱山学部	博 2019		
				モンゴル司法研修研究情報センター	法 2024		
		モンゴル科学アカデミー地理学地生態学研究所	宇地研 2024				
ラオス	3	※ ラオス国立大学	2001	ラオス国立農林業研究所	環・農 2009		
				チャンパサック大学	環 2013		
				メルボルン大学アジア法センター	法 2006		
オーストラリア	15	※ シドニー大学	1985	オーストラリア連邦科学産業研究機構生態系科学部門	環・工 2011		
		※ モナシュ大学	2003	※ アデレード大学健康科学部(JD)	医 2015		
		※ フリンダース大学	2004	※ 西オーストラリア大学理学部(JD)	農 2018		
		※ アデレード大学	2004	マコーリー大学経営 経済学部	経 2019		
		※ 南オーストラリア大学	2004	クイーンズランド大学工学部・建築情報工学部	工 2024		
		※ オーストラリア国立大学	2006	マコーリー大学	糖領 2024		
		※ 西オーストラリア大学	2015				
		※ ニューサウスウェールズ大学	2018				
						ニュージーランド国立水圏大気圏研究所	太陽 1989
						オークランド大学地球物理研究センター	太陽 1992
				カンタベリー大学理学部	太陽 1998		
カナダ	10	※ ヨーク大学	2006	ピクトリア大学アジア太平洋研究センター	工 2002		
		※ トロント大学(The Faculty of Arts and Science)	2008	※ モントリオール理工科大学	法 2022		
		※ モントリオール大学	2012	ウィンザー大学教育学部	教 2023		
		アルバータ大学	2015				
		※ カルガリー大学	2016				
		※ オタワ大学	2016				
		※ プリディッシュコロロンビア大学	2019				
						※ ミシガン大学工学部	工 1980
						カリフォルニア大学ロサンゼルス校教育学部	教 1981
						カリフォルニア大学バークレー校物理学部	理 1987
				ノースカロライナ大学チャペルヒル校医学部	医 1989		
				アラスカ大学地球物理研究所	太陽 1990		
				米国海洋大気局宇宙空間環境研究所	太陽 1992		
				米国海洋大気局地球物理データセンター	太陽 1993		
				マサチューセッツ工科大学ヘイスタック研究所	太陽 1994		
				ハーバード大学医学部	医 1995		
				※ チューレン大学医学部	医 1995		
				ペンシルベニア大学医学部	医 1997		
				カリフォルニア大学サン・ディエゴ校天体物理及び宇宙科学研究センター	太陽 1997		
				コロラド鉱山大学	工 1998		
				アラスカ大学地球物理研究所	環・理 2002		
				デューク大学医学部	医 2002		
				※ ジョンスホプキンス大学医学部	医 2003		
				ウイスコンシン大学ロー・スクール	法 2003		
				ウイスコンシン大学東アジア法律研究センター	法 2003		
				メリーランド大学工学部機械工学科	工コ 2005		
				ワシントン大学通信工学材料科学工学センター	工コ 2005		
				カリフォルニア大学ロサンゼルス校カリフォルニアナノシステム研究所	工コ 2006		
				ノースウエスタン大学材料研究所	工コ 2006		
				※ カリフォルニア大学バークレー校グローバルメトロポリタン研究センター	環 2007		
				ミシガン州立大学物理天文学部	環 2007		
				カリフォルニア大学サンタバーバラ校ブレ環境科学・マネジメント研究科	環 2008		
				ミシガン大学工学部高分子科学工学研究センター	工 2009		
				バージニア工科大学宇宙空間科学工学研究センター	太陽 2013		
				コロラド大学ボルダー校大気宇宙物理学研究所	理 2013		
				※ ワシントン大学工学部	工 2015		
				アグロン大学法科大学院	法 2015		
				オハイオ州立大学教育・人間環境学部	教 2015		
				ミシガン大学教養学部化学科	工 2015		
				オハイオ州立大学データ変換分析研究所	情報 2017		
				※ テンバ大学ステュムル法科大学院	法 2019		
				ブランドイスタ大学ヘルソ社政策・経営大学院	国開 2023		
				コロラド大学ボルダー校	医 2025		
アルゼンチン	2			国立ロサリオ大学生化学・薬学部	農 1993		
				ルイスF. ルロア・カムボマル財団生化学研究所	農 1994		
グアテマラ	1			※ リレ・グアテマラ大学工学部	工 2008		
ブラジル	4	※ ブラジル連邦大学	1999	フリスル国立宇宙科学研究所	太陽 1997		
		※ サンパウロ大学	2008	ジョアキン・ナブコ研究所	国開 1997		
ホンジュラス	1			ホンジュラス国立人類学歴史学研究所	高等研究 2018		
ポリビア	1			ラパス・サンアンドレス大学理学部附属チャカルタヤ宇宙線研究所	太陽 1992		
メキシコ	3	※ メキシコ国立自治大学	2015	ソノラ大学	環 1989		
アイスランド	1	※ アイスランド大学	2016	ヌエボ・レオン自治大学	工 2018		
アルメニア	1			エレバン物理研究所	太陽 1996		
イタリア	11	イタリア国立核物理学研究所	2005	※ ローマ第三大学法学科	法 2018		
		※ カターニア大学	2008	※ モデナ・レッジョ・エミリア大学 理工学部・大学院	情報 2018		
		※ ボローニャ大学	2011	マルケ工科大学	情報 2019		
		ローマ大学サピエンツァ	2014	国立原子核物理学研究所 パドヴァ支部	素粒子 2019		
		※ パドヴァ大学	2024	フェデリコ2世・ナポリ大学物理学科	素粒子 2020		
						※ ボローニャ大学医学部	医 2022
ウクライナ	1			ウクライナ科学アカデミー理論物理学研究所	理 1992		

国(地域)名	協定数	大学間協定 163協定(※授業料不徴収 130協定)		部局間協定 334協定(※授業料不徴収 124協定)		
		大学等名	締結年	大学等名	部局窓口	締結年
ウズベキスタン	6	※ タシケント国立法科大学	2006	ウズベキスタン共和国国立人権センター	法国	2021
		※ 世界経済外交大学	2010			
		※ タシケント工科大学	2015			
		ウズベキスタン共和国大統領直属国家行政アカデミー	2016			
		※ サマルカンド国立大学	2016			
英国	21	※ シェフィールド大学	1985	ノッティンガム大学生命科学部	農	1994
		※ ウォリック大学	1985	イースト・アングリア大学社会科学部国際開発学科	国開	1998
		※ プリンストール大学	2001	※ マンチェスター大学生命科学部	理	1999
		※ ロンドン大学東洋アフリカ学院	2008	レスター大学物理天文学部	理	2008
		※ リーズ大学	2014	オックスフォード大学物理学部	理	2008
		エディンバラ大学	2014	マンチェスター大学環境・開発研究科	環・工	2012
		※ ケンブリッジ大学セント・ジョンズ・カレッジ	2014	※ エディンバラ大学理工学部化学科	理	2013
		セントアンドリュース大学	2017	エディンバラ大学理論物理ヒッグスセンター	素粒子	2014
		※ ダラム大学	2017	※ エディンバラ大学理工学部 (JD)	理	2017
				※ グラスゴー大学	医	2018
オランダ	3	※ トゥエンテ大学	2017	※ ライデン大学理学部	環	2024
		※ ラドバウド大学	2018			
オーストリア	4	※ インスブルック大学	2012	※ ウィーン医科大学	医	2005
				※ ヨアネム応用科学大学	情報	2013
カザフスタン	2			※ クラウゲンフルト大学ソーシャルエコロジー研究所	環・工	2013
				※ カザフスタン人文・法科大学 (カザグ大学)	法	2004
スイス	2	※ ジュネーブ大学	2010	カザフスタン立法研究所	法	2009
		※ ウプサラ大学	2010	ベルン大学学際的エコロジー研究センター	エコ	2007
スウェーデン	7	※ スウェーデン王立工科大学	2011	※ ルンド大学法学部	法	2003
				スウェーデン宇宙物理研究所	太陽	2005
				SAFER-チャルマース工科大学車両及び交通安全に関するセンター	グリモ	2012
スペイン	5			※ ルンド大学医学部	医	2014
				※ ルンド大学医学部 (JD)	医	2016
		※ バルセロナ大学	2010	カタロニア宇宙研究所	素粒子	2013
				バスク気候変動センター	未来材料	2018
				ボンティフィシア・コミージャス大学法学部	法	2020
チェコ	1	※ チェコ工科大学	2018	農業ゲノミクス研究センター	生物	2024
デンマーク	3	※ コペンハーゲン大学	1984	デンマーク工科大学ナノ製造評価センター	低温プラズマ	2020
		※ オーフス大学	2016			
ドイツ	32	※ ブラウンシュバイク工科大学	1985	※ フライブルク大学経済学部	経	1972
		※ ミュンヘン工科大学	1997	ケルン大学第一物理学研究所	理	1989
		※ ケムニッツ工科大学	2000	※ マインツ大学化学薬学部	理	1997
		※ フライブルク大学	2001	ドイツ航空宇宙研究機構航空宇宙医学研究所	環医	1997
		※ アーヘン工科大学	2012	ウルム大学数学・経済学部	多元	1999
				※ フライブルク大学医学部	医	2000
				※ レーゲンスブルク大学法学部	法	2004
				※ ルール大学ボフム校物理天文学部及び電子情報学部	工	2005
				カイザースラウテルン工科大学建築/空間・環境計画/土木工学学部	環	2007
				※ ベルリン自由大学環境政策研究所	環	2008
				ミュンヘン東欧法研究所	法	2009
				※ グルムシュタット工科大学土木工学・測地学科	工・環	2010
				ルール大学ボフム校数学部	多元	2011
				※ デュイスブルク・エッセン大学東アジア研究所	教	2011
				フ라운ホーファー研究機構フ라운ホーファーICT (化学技術研究所)	コンボジ	2013
		CFKパラー・スターダ研究機構	コンボジ	2014		
		※ EBS法経大ロースクール	法	2014		
		※ マインツ大学物理・数学・コンピュータ学部	工	2014		
		ライプニッツ生態都市・地域開発研究所	環	2015		
		※ フライブルク大学 医学部 (JD)	医	2017		
		※ インペリヤルフォーハイパフォーマンスマイクロエレクトロニクス	理・工	2018		
		※ ハインリッヒハイネ大学デュッセルドルフ数理学部	理・ITbM	2018		
		※ ユーリッヒ総合研究機構	工・未来材料	2018		
		クライフスフルト大学病院口腔及び顎顔面外科/形成外科	低温プラズマ	2020		
		ルール大学ボフム校物理天文学部および電子情報学部	低温プラズマ	2020		
		※ ミュンヘン・ルートヴィヒ・マクシミリアン大学医学部	医	2020		
		※ ミュンスター大学化学薬学部、有機化学研究所、生物化学研究所、医薬化学研究所	理・工	2022		
ノルウェー	5	※ オスロ大学	2015	UiT ノルウェー北極大学理学部	宇地研	1993
		オスロ大学 (INTPART PROJECT)	2022	※ ノルウェー科学技術大学医学健康科学部	医	2018
ハンガリー	2			※ ベルゲン大学文学部	文学	2025
				ハンガリー科学アカデミー法学研究所	法	2004
フィンランド	2			ハンガリー外交アカデミー	国開	2021
		※ ヘルシンキ大学	2019	フィンランド気象研究所地球物理部門	太陽	1994
フランス	16	※ ストラスブール大学	2001	※ パリ第2大学 (パンテオン・アサス大学)	法	2006
		※ ボンゼジョセ工科大学	2002	※ パリ・ヴァル・ドゥ・セヌ国立高等建築学校	環	2009
		※ パリ・シテ大学 (元パリ第7大学 (パリ・ディドロ大学))	2004	ランス・シャンパーニュ・アルデンヌ大学ランス数学研究所	多元	2017
		※ リヨン第3大学	2006	※ クレルモンオーベルニュ大学	工・未来材料	2018
		※ グルノーブル・アルプ大学	2006	※ フランス国立東洋言語文化大学	文学	2020
		※ パリ東大学	2009			
		※ リヨン高等師範学校	2012			
		フランス人簡科学研究財団	2012			
エクス=マルセイユ大学	2015					
※ パリサクレ大学 (元パリ第11大学 (パリ南大学))	2017					
ランス・シャンパーニュ・アルデンヌ大学	2019					
ブルガリア	3			ソフィア大学天文学部	理	1989
				ブルガリア科学アカデミー電子工学研究所及び宇宙科学研究所	理	1989
ベルギー	1	※ ルーヴェン・カトリック大学	2016	ブルガリア科学アカデミー数学研究所	理	1989
ポーランド	4	※ フルジャワ大学	2010	※ グダニスク医科系大学医学部	医	1995
		ポーランド科学アカデミー高圧研究所	2015	※ フルジャワ工科大学	工	1996
ラトビア	1			※ ラトビア大学	理	1989
リトアニア	1			※ リトアニア健康科学大学	医	2021
ロシア	12	ヨッフエ研究所	2016	ロシア連邦理論実験物理学研究所	理	1992
		ロシア科学アカデミーシベリア支部ルジャーノフ半導体研究所	2016	ロシア連邦厚生省医学・生物学研究所	環医	1993
				モスクワ大学物理学部	工	1993
				※ モスクワ工業物理大学	工	1998
				ロシア科学アカデミーコンピュータ支援設計研究所	工	2005
				ロシア科学アカデミー極東支部宇宙物理学及び電波伝搬研究所	宇地研	2007
イスラエル	1			ロシア科学アカデミーシベリア支部太陽地球系物理学研究所	宇地研	2008
				モスクワ大学化学研究科	環	2010
イラン	2			ロシア科学アカデミーシベリア支部宇宙物理学及び超高層大気物理学研究所	宇地研	2017
				ムルマンスク極地地球物理学研究所	宇地研	2017
トルコ	3			テルアビブ大学物理・天文学部	素粒子	2017
		※ ビルケント大学	2010	グルディスタン大学工学部	環	2013
エジプト	3			グルディスタン大学工学部	未来材料	2018
		カイロ大学	2011	※ イスタンブール工科大学	環	2009
ガーナ	1			イスタンブール工科大学	リーディング	2014
				※ タンタ大学工学部	工	2008
ケニア	3			※ アシュート大学理学部	理	2018
		※ ナイロビ大学	2013	ガーナ大学社会科学部	国開	2010
南アフリカ	3	ケニア農畜産業研究機構	2019	アフリカ人造り拠点研究所	農	2002
		※ ステレンボッシュ大学	2014			
				南アフリカ天文台	理	1998
国際機関など (その他)	7	東南アジア地域農業教育研究センター	1983	人間科学研究評議会	国開	2014
		欧州原子核研究機構	1990	私法統一国際協会 (コニドロフ)	法	2015
		国際連合地域開発センター	2013	※ ユス・コム・ネトライングル交流プログラム協定 (キャンパス・アジア中核拠点形成支援)	法	2017
		タシケント工科大学及び筑波大学	2015			
		上海交通大學・韓国海洋大学校・チュロンコン大学	2023			

注 ※は、授業料を不徴収とする大学間 (部局間) 協定を結んでいる機関を示す。

(JD)はジョイントディグリープログラム、(DD)はダブルディグリープログラム、(CP)はコチュテルプログラムを示す。

## 産学連携に関する協定

令和7年5月1日現在

国名	協定数	大学間協定		部局間協定		
		大学等名	締結年	大学等名	部局窓口	締結年
英国	1			NCCオペレーション社(ブリストル大学ナショナルコンポジットセンターの法的機関)	コンポジ	2014
フランス及び日本	1			EMC2 クラスタ・IRT ジュール・ベルヌ、岐阜大学複合材料研究センター、金沢工業大学革新複合材料研究開発センター	コンポジ	2014

## インターンシップ派遣に関する協定

令和7年5月1日現在

国名	協定数	大学間協定		部局間協定		
		大学等名	締結年	大学等名	部局窓口	締結年
国際機関(タイ)	1			国連教育科学文化機関(UNESCO バンコク)	国開	2009
国際機関(スイス)	1			国際移住機関(IOM)	国開	2010
国際機関(イタリア)	1	国際連合食糧農業機関(FAO)	2010			
米国	1			オレゴン大学	教育	2019

## 参加している主な国際コンソーシアム等

令和7年5月1日現在

組織名		設立目的		加盟大学
MIRAI	MIRAI - Connecting Swedish and Japanese Universities through Research, Education and Innovation		2015年10月に開催された「日本・スウェーデン学長サミット」をきっかけに、日本・スウェーデン間の学術交流・連携の更なる強化を目指して発足したコンソーシアム。	約20大学
APRU	Association of Pacific Rim Universities		各国の高等教育の相互協力関係を強め、環太平洋地域社会にとって重要な諸問題に対し、教育・研究の分野から協力・貢献することを目的として1997年に設立されたコンソーシアム。	約60大学
UBIAS	University-Based Institutes for Advanced Study		UBIAS大学附属高等研究院連合は、大学の運営下にある世界の高等研究院のネットワーク。フェローシップを通じた研究交換や国際・学際的ワークショップの開催などを通して世界のトップレベル研究を牽引することを目的とする。	51大学

## グローバルキャンパス設置を含む重要パートナーシップ校

令和7年5月1日現在

国名	大学等名
米国	ノースカロライナ州立大学
シンガポール	シンガポール国立大学
ドイツ	フライブルク大学
英国	エディンバラ大学

注 略号は次のとおり。

文学：人文学研究科・文学部、人文：人文学研究科、教：教育発達科学研究科・教育学部、法：法学研究科・法学部、経：経済学研究科・経済学部、情報：情報学研究科・情報学部、理：理学研究科・理学部、医：医学系研究科・医学部、医病：医学部附属病院、工：工学研究科・工学部、農：生命農学研究科・農学部、国開：国際開発研究科、多元：多元数理科学研究科、環：環境学研究科、ASCI：アジアサテライトキャンパス学院、環医：環境医学研究所、エコ：旧エコトピア科学研究所、未来材料：未来材料・システム研究所、太陽：旧太陽地球環境研究所、宇地研：宇宙地球環境研究所、物国：物質科学国際研究センター、農国：農学国際教育研究センター（旧農学国際教育協力研究センター）、博：博物館、法国：法政国際教育協力研究センター、生物：生物機能開発利用研究センター、グリモ：旧グリーンモビリティ連携研究センター、減災：減災連携研究センター、コンポジ：ナショナルコンポジットセンター、水：旧地球水循環研究センター、低温プラズマ：低温プラズマ科学研究センター、糖鎖：糖鎖生命コア研究所、情基：情報基盤センター、高等研究：高等研究院、ITbM：トランスフォーマティブ生命分子研究所、素粒子：素粒子宇宙起源研究機構、未来：未来社会創造機構、ASSIA：旧アジア共創教育研究機構、リーディング：リーディング大学院推進機構、教育推進：教育推進部

# 社会との連携

## 地域貢献特別支援事業

### ▶令和6年度事業の概要

部局名	プロジェクトの名称	連携自治体等
教育学部附属中・高等学校	マグネットスクールとしての国立大学附属学校 ～SSH校としての地域貢献～	名古屋市立小学校・中学校の生徒、保護者、教職員等
法学研究科・法学部	地域社会の担い手を育む ～高校・大学・法曹三者の連携による「真の主権者教育」の理論と実践～	愛知県・名古屋市・三重県・岐阜県教育委員会、愛知県弁護士会、名古屋地方裁判所、名古屋高等検察庁・地方検察庁、各弁護士事務所、PSIMコンソーシアムなど
情報学研究科	世界遺産白川郷におけるオーバーツーリズム対策へ向けたデジタル技術の活用	白川村、一般財団法人世界遺産白川郷合掌造り保存財団、一般社団法人白川郷観光協会
医学部附属病院	小児・AYA世代の骨軟部腫瘍患者に対するパラスポーツの包括的支援プログラム	名古屋市スポーツ市民局スポーツ振興室、愛知県スポーツ局
医学系研究科（保健）	住民主体の地域創生プロジェクト ～誰もが役割感を持った社会の実現に向けて～	名古屋市名東区・A地区
工学研究科	名古屋大学と地域の各種団体連携による科学教育・啓発活動事業	名古屋大学工学研究科、応用物理学会東海支部、電気学会東海支部、電子情報通信学会東海支部、情報処理学会東海支部、プラズマ・核融合学会、日本アマチュア無線連盟、日本弁理士会東海会、国立豊田工業高等学校
生命農学研究科	ふれあい農学プロジェクト～地域と育む未来の食と自然	東郷町

## 寄附講座・寄附研究部門

※Hは平成、Rは令和を示す。

### ▶寄附講座

令和7年4月1日現在

部局名	名称	設置期間	寄附者
医学系研究科	地域医療教育学	H21.10.1～R11. 3.31	愛知県 公益財団法人愛知県市町村振興協会 名古屋市
	障害児（者）医療学	H23.11.1～R8. 3.31	愛知県
	精神医療学	H23.11.1～R8. 3.31	愛知県
	腎不全システム治療学	H27. 2.1～R8. 1.31	バクスター株式会社
工学研究科	オークマ工作機械工学	H27. 4.1～R9. 3.31	オークマ株式会社
	周術期管理システム構築学	H27.10.1～R7. 9.30	大垣市
	新規低侵襲画像診断法基盤開発研究	H28.10.1～R7. 9.30	株式会社ハイメディック
医学系研究科	先進循環器治療学	H30. 6.1～R7. 5.31	日本メトロニック株式会社
	分子循環器医学（興和）	H30. 7.1～R8. 6.30	興和株式会社
	外科周術期管理学（ヤクルト）	H30.10.1～R8. 3.31	株式会社ヤクルト本社
	循環器先端医療研究学	R4. 4.1～R10. 3.31	バイオロニックジャパン株式会社 日本ライフライン株式会社 フクダ電子株式会社 株式会社スズケン
	脳疾患治療研究学	R5. 4.1～R8. 3.31	イドルシアファーマシューティカルズジャパン株式会社
	統合画像情報解析	R6. 4.1～R9. 3.31	富士フイルム株式会社 富士フイルムメディカル株式会社

### ▶寄附研究部門

令和7年4月1日現在

部局名	名称	設置期間	寄附者
未来材料・システム研究所 （旧エコトピア科学研究所）	エネルギーシステム（中部電力）	H22. 4.1～R8. 3.31	中部電力株式会社
減災連携研究センター	エネルギー防災（中部電力）	H24. 4.1～R9. 3.31	中部電力株式会社
未来材料・システム研究所	トヨタ先端パワーエレクトロニクス	H28. 4.1～R9. 3.31	トヨタ自動車株式会社
未来社会創造機構	名古屋市量子産業創出	R6. 6.1～R9. 3.31	名古屋市

## 産学協同研究所・産学協同研究センター・産学協同研究講座・産学協同研究部門

※Hは平成、Rは令和を示す。

### ▶産学協同研究所

令和7年5月1日現在

部局名	名称	設置期間（一部、準備期間含む）	協同設置者
環境医学研究所	ラクオリア創業産学協同研究所	R7. 4.1~R12.3.31	ラクオリア創業株式会社

### ▶産学協同研究センター

令和7年5月1日現在

部局名	名称	設置期間（一部、準備期間含む）	協同設置者
未来社会創造機構	Craifバイオアナリティクス産学協同研究センター	R6.10.1~ R9.9.30	Craif株式会社

### ▶産学協同研究講座

令和7年5月1日現在

部局名	名称	設置期間（一部、準備期間含む）	協同設置者
医学系研究科	名古屋大学メナード協同研究講座	H25. 5.1~R 8.3.31	日本メナード化粧品株式会社
	革新的生体可視化技術開発産学協同研究講座	R1.10.1~R 9.9.30	キャノンメディカルシステムズ株式会社
情報学研究科	アドヴィックスプレーキシステム計算科学講座	H31. 4.1~R 8.3.31	株式会社アドヴィックス
生命農学研究科	ブランドグリーン産学協同研究講座	R6.10.1~R 9.5.31	ブランドグリーン株式会社
環境学研究科	TOWING産学協同研究講座[通称:リジェネラティブ農業ラボ]	R7. 4.1~R10.3.31	株式会社TOWING

### ▶産学協同研究部門

令和7年5月1日現在

部局名	名称	設置期間（一部、準備期間含む）	協同設置者
環境医学研究所	レアバリエント疾患ゲノム解析産学共同研究部門	R2. 8.1~ R8. 3.31	レアバリエント株式会社
	ゲノムメンテナンス産学協同研究部門	R6.10.1~ R8. 9.30	Genome Maintenance株式会社
未来材料・システム研究所	豊田合成先端デバイス応用産学協同研究部門	H30. 1.1~ R8. 3.31	豊田合成株式会社
	豊田中研GaNパワーデバイス産学協同研究部門	H31. 4.1~ R9. 3.31	株式会社豊田中央研究所
	旭化成次世代デバイス産学協同研究部門	H31. 4.1~ R8. 3.31	旭化成株式会社
	三菱ケミカルGaN基板デバイス産学協同研究部門	R1. 7.1~ R8. 3.31	三菱ケミカル株式会社
	Photo electron Soul GaN電子ビームデバイス産学協同研究部門	R4. 2.1~ R8. 3.31	株式会社Photo electron Soul
	ミライズテクノロジー先端パワーエレクトロニクス産学協同研究部門	R4. 4.1~R10. 3.31	株式会社ミライズテクノロジー
	UJ-Crystal超高品質SiC半導体産学協同研究部門	R5.10.1~ R7.12.31	株式会社UJ-Crystal
減災連携研究センター	アイクリスタル半導体プロセスインフォマティクス産学協同研究部門	R6.10.1~ R9. 9.30	アイクリスタル株式会社
	ライフライン防災(東邦ガスネットワーク)産学協同研究部門	H29. 4.1~ R9. 3.31	東邦ガスネットワーク株式会社
低温プラズマ科学研究センター	次世代プラズマ加工技術研究開発部門	R5. 8.1~ R7. 7.31	株式会社SCREENホールディングス
	半導体ナノプロセス研究部門	H31. 4.1~R10. 3.31	東京エレクトロン株式会社
	先端ドライプロセス研究部門	H31. 4.1~ R9. 3.31	キオクシア株式会社
	低温プラズマ農業・環境新技術開発部門	R4. 4.1~ R8. 3.31	株式会社遠州
	サステナブル技術研究開発部門	R4. 6.1~ R8. 5.31	株式会社荏原製作所
	ナノグラフェン二次電池開発部門	R6. 5.1~ R8. 4.30	NU-Rei株式会社
	AGC産学協同研究部門	H26.10.1~ R8. 3.31	AGC株式会社
未来社会創造機構	HMI・人間特性研究部門	H29. 4.1~ R8. 3.31	トヨタ自動車株式会社
	情報通信基盤研究部門	R1. 7.1~ R9. 3.31	KDDI株式会社
	TTDC統合ソリューション研究部門	R3. 4.1~ R9. 3.31	トヨタテクニカルディベロップメント株式会社
	新規アンモニア合成触媒研究部門	R4. 4.1~ R8. 3.31	千代田化工建設株式会社
	MabGenesis産学協同研究部門	R4.10.1~ R8.10.31	MabGenesis株式会社
	データ社会共創デンスー研究部門	R5. 1.1~R14.12.31	株式会社デンスー
	富士通-名古屋大学ソーシャルデジタルツイン研究部門	R5. 9.1~ R8. 3.31	富士通株式会社
	日本特殊陶業 先進セラミックス材料研究部門	R6. 1.1~ R8. 3.31	日本特殊陶業株式会社
	日本電子 超高速時間分解電子顕微鏡研究開発部門	R7. 4.1~R12. 3.31	日本電子株式会社
	先進パワーエレクトロニクス研究部門	R7. 4.1~R10. 3.31	長岡パワーエレクトロニクス株式会社/ 株式会社PowerDesignLaboratory

## 名古屋大学発ベンチャーの現状

### ▶名古屋大学発ベンチャー称号の授与企業数

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
授与企業数	12	10	8	6	10
現存企業数	56	64	68	74	82
備考		2社称号終了	3社解散、 1社称号終了		2社称号終了

### ▶名古屋大学発ベンチャー企業数（起業累積数）

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
132	144	164	173	180

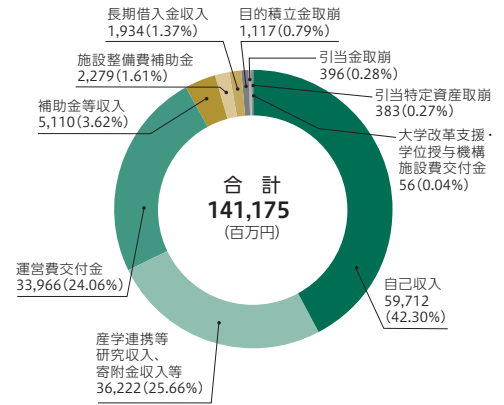
# 財政

## 令和6年度予算決算額

※各金額単位未満を切り捨てているため、計は一致しない場合がある。

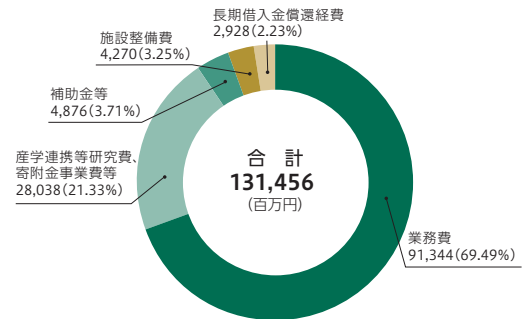
### ▶収入

区分	決算額(百万円)
運営費交付金	33,966
施設整備費補助金	2,279
補助金等収入	5,110
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	56
自己収入	59,712
授業料・入学金・検定料収入	8,536
医学部附属病院収入	48,683
雑収入	2,493
産学連携等研究収入、寄附金収入等	36,222
引当金取崩	396
長期借入金収入	1,934
目的積立金取崩	1,117
引当特定資産取崩	383
<b>合計</b>	<b>141,175</b>



### ▶支出

区分	決算額(百万円)			合計
	人件費	物件費	施設費	
業務費	48,657	42,687	-	91,344
教育研究経費	29,197	11,667	-	40,864
診療経費	19,460	31,020	-	50,480
施設整備費	-	-	4,270	4,270
補助金等	1,273	3,603	-	4,876
産学連携等研究費、寄附金事業費等	2,437	25,601	-	28,038
長期借入金償還経費	-	2,928	-	2,928
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	-	0	-	0
<b>合計</b>	<b>52,367</b>	<b>74,819</b>	<b>4,270</b>	<b>131,456</b>



注 長期借入金償還経費は大学改革支援・学位授与機構施設費貸付事業に係る償還金。

## 外部資金等

### 令和6年度外部資金

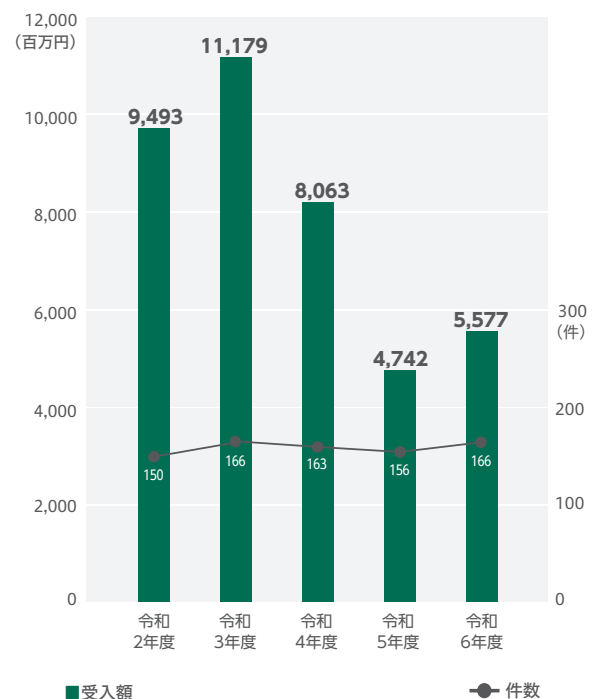
※金額は、決算額ベースの計数。 ※金額には間接経費を含む。 ※各金額単位未満を切り捨てているため、計は一致しない場合がある。 ※表とグラフでは金額の桁が異なる。

#### ▶政府補助金等

区分	件数	金額(千円)
研究拠点形成費等補助金	11	892,592
国際化拠点整備事業費補助金	6	261,912
科学技術人材育成費補助金	3	132,000
国立大学法人情報機器整備費補助金	1	15,125
授業料等減免費交付金	1	234,247
研究開発施設共用等促進費補助金	4	27,889
国立大学改革・研究基盤強化推進補助金	2	200,000
人工知能等社会実装研究拠点事業費補助金	1	158,122
共同利用・共同研究拠点形成事業費補助金	1	50,000
設備整備費補助金	1	426,960
医療施設運営費等補助金	6	24,230
感染症予防事業費等国庫負担(補助)金	3	108,690
中小企業政策推進事業費補助金	8	26,954
中小企業経営支援等対策費補助金	4	18,802
地域公共交通確保維持改善事業費補助金	1	13,408
航空宇宙産業生産技術人材育成・研究開発事業費補助金	1	68,422
愛知県周産期母子医療センター運営費補助金	1	23,330
医療資源適正化連携推進事業費補助金	1	27,750
地域医療勤務環境改善体制整備特別事業費補助金	1	246,582
愛知県新興感染症対応強化事業(協定締結医療機関施設整備事業)費補助金	2	18,149
官民による若手研究者発掘支援事業費助成金	12	86,503
医療研究開発推進事業費補助金	4	302,059
次世代研究者挑戦的研究プログラム助成金	1	1,882,100
国家戦略分野の若手研究者及び博士後期課程学生の育成事業(博士後期課程学生支援)助成金	1	33,150
研究環境向上のための若手研究者雇用支援事業費助成金	1	103,894
大学・高専成長分野転換支援基金助成金	1	37,797
その他	23	42,083
厚生労働科学研究費補助金等	64	115,046
<b>合計</b>	<b>166</b>	<b>5,577,802</b>

注 研究分担者による受入件数・金額を含む。件数は前年度からの繰越分を含む。

#### ▶政府補助金等の件数・受入金額の推移

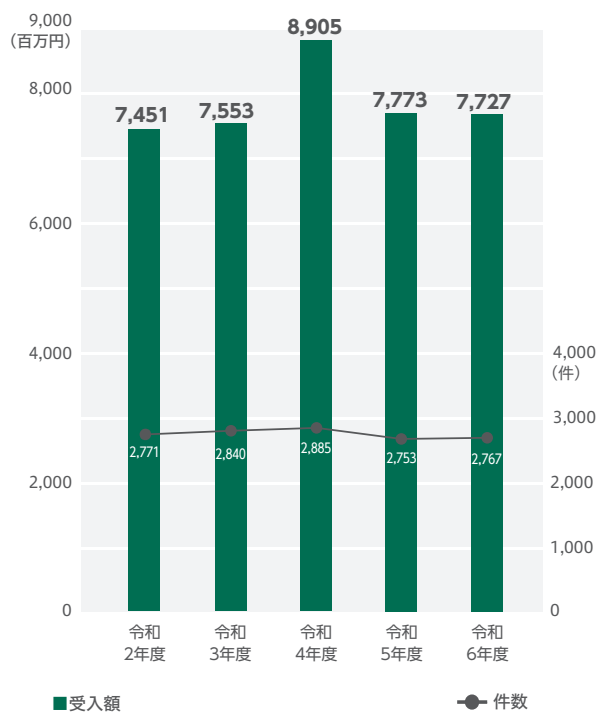


▶ 科学研究費助成事業

研究種目	件数	金額(千円)
特別推進研究	8	88,878
新学術領域研究(研究領域提案型)	5	17,150
学術変革領域研究(A)	140	1,042,718
学術変革領域研究(B)	28	155,865
学術変革領域研究(学術研究支援基盤形成)	4	99,547
基盤研究(S)	47	852,497
基盤研究(A)	248	1,159,294
基盤研究(B)	713	1,750,676
基盤研究(C)	711	714,574
挑戦的研究(開拓)	36	139,932
挑戦的研究(萌芽)	152	302,443
若手研究	295	460,287
研究活動スタート支援	59	77,984
奨励研究	3	1,350
特別研究促進費	1	247
研究成果公開促進費	1	351
特別研究員奨励費	234	307,217
国際共同研究加速基金(国際先導研究)	10	354,709
国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(A))	1	531
国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(B))	35	71,676
国際共同研究加速基金(海外連携研究)	35	106,441
国際共同研究加速基金(帰国発展研究)	1	23,400
<b>合計</b>	<b>2,767</b>	<b>7,727,775</b>

注 研究分担者による受入件数・金額を含む。

▶ 科学研究費助成事業の件数・受入金額の推移



▶ 受託研究

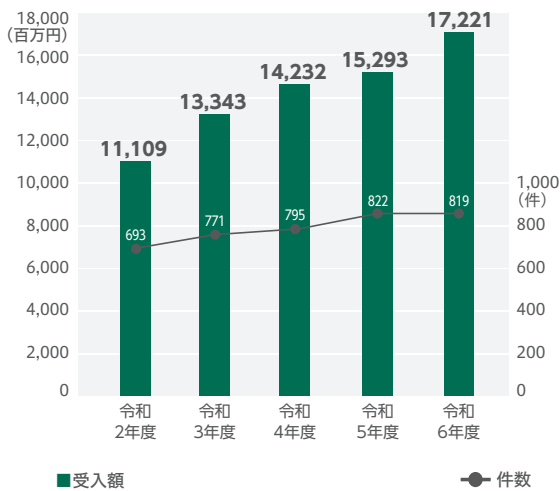
相手方別	件数	金額(千円)
国	14	2,055,162
地方公共団体	22	293,055
独立行政法人	515	12,736,545
国立大学法人	123	903,564
株式会社等	78	903,179
その他	67	330,191
<b>合計</b>	<b>819</b>	<b>17,221,699</b>

注 受入件数は治験・病理組織検査を除く。

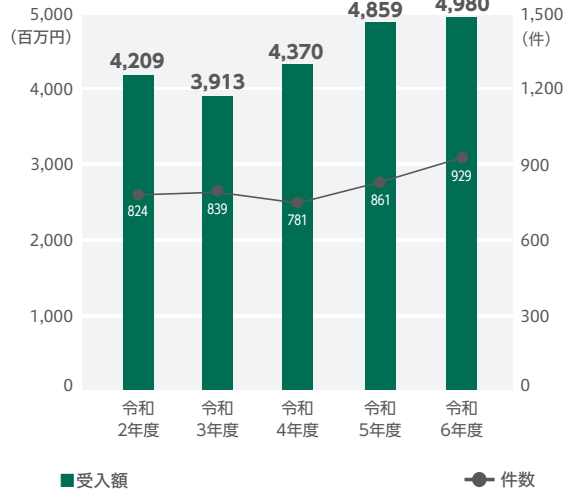
▶ 共同研究

相手方別	件数	金額(千円)
国	2	7,271
地方公共団体	8	41,676
独立行政法人	78	208,732
国立大学法人	36	40,810
株式会社等	742	4,368,432
その他	63	313,929
<b>合計</b>	<b>929</b>	<b>4,980,852</b>

▶ 受託研究の件数・受入金額の推移



▶ 共同研究の件数・受入金額の推移

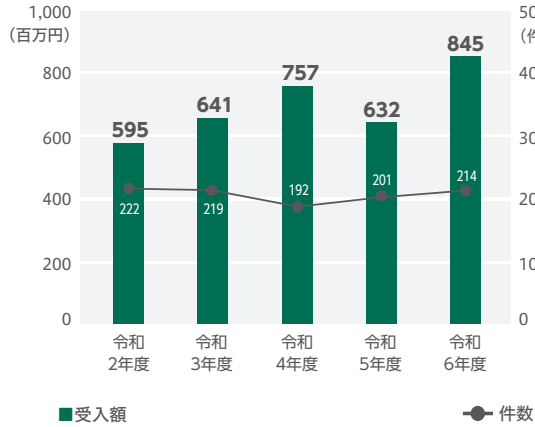


▶受託事業

相手方別	件数	金額(千円)
国	2	16,102
地方公共団体	17	122,062
独立行政法人	54	332,139
国立大学法人	9	24,866
株式会社等	102	141,620
その他	30	208,859
<b>合計</b>	<b>214</b>	<b>845,650</b>

注 受入件数は治験・病理組織検査を除く。  
受入額は決算額ベースの計数。

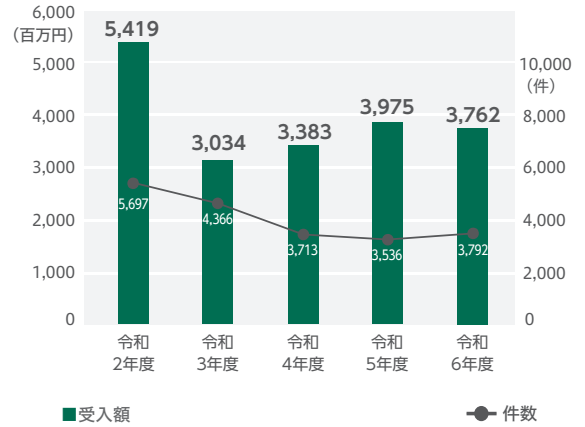
▶受託事業の件数・受入金額の推移



▶寄附金

区分	件数	金額(千円)
寄附金(一般)	1,727	2,834,743
寄附金(名大基金)	2,063	924,613
寄附金(クラウドファンディング)	2	3,566
<b>合計</b>	<b>3,792</b>	<b>3,762,923</b>

▶寄附金の件数・受入金額の推移



特許保有件数・知財収入

▶特許保有件数

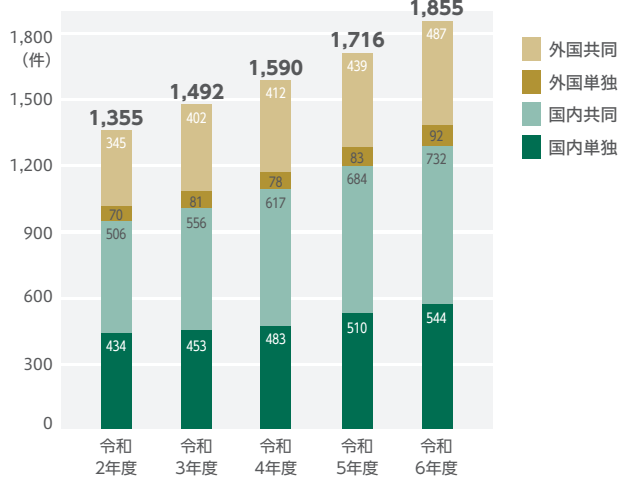
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
国内	単独	434	453	483	510	544
	共同	506	556	617	684	732
外国	単独	70	81	78	83	92
	共同	345	402	412	439	487
<b>合計</b>	<b>1,355</b>	<b>1,492</b>	<b>1,590</b>	<b>1,716</b>	<b>1,855</b>	

▶知財収入

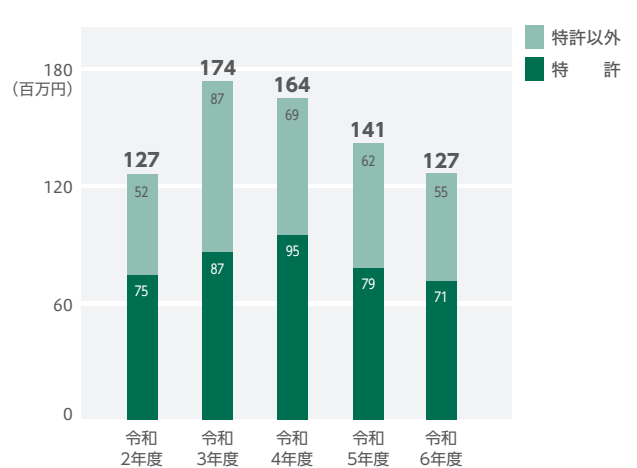
権利	収入総計(千円)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
特許	74,537	86,838	94,876	78,883	71,363
特許以外	51,982	87,402	68,872	62,156	55,179
<b>合計</b>	<b>126,520</b>	<b>174,240</b>	<b>163,748</b>	<b>141,039</b>	<b>126,543</b>

注 特許は、特許権になる前の状態で許諾・譲渡した収入を含む。  
特許以外は、意匠権※、商標権※、育成者権※、ノウハウ、著作権、成果有体物、治験の合算。  
※は、特許と同様に、権利成立前の状態で許諾・譲渡した収入を含む。

▶特許保有件数の推移



▶知財収入の推移



# 諸施設

## 運動施設・課外活動施設等

地区	施設	主な用途	面積(m <sup>2</sup> )
全学教育棟周辺	第1体育館	バドミントン、バスケットボール、バレーボールなど	1,110
	第2体育館	卓球、トレーニングなど	611
	第3体育館	剣道、各種拳法など	369
	第4体育館	柔道、合気道など	308
	第5体育館	ダンス、各種拳法	190
	屋内プール(25m×7コース)	水泳、水球など	853
	弓道場	弓道	155
	相撲道場	相撲	143
	ボクシング練習場	ボクシング	93
	第1課外活動共同棟	体育系・文化系26室	482
	第2課外活動共同棟	体育系・文化系・名大祭17室	972
総合保健体育科学センター周辺	陸上競技場(トラック、400m×6コース)	陸上競技	14,019
	陸上競技場(フィールド)	サッカー、ラグビー、アメリカンフットボールなど	
	野球場	野球、ソフトボールなど	12,508
	硬式テニスコート(7面)	硬式テニス	4,678
	軟式テニスコート(4面)	ソフトテニス	2,590
	多目的コート	フットサルなど	1,664
	ゴルフ練習場	ゴルフ	337
	新体育館(アリーナ)	ハンドボール、バドミントン、バスケットボール、バレーボールなど	1,104
	新体育館(トレーニング・ルーム)	トレーニングなど	316
	アーチェリー練習場	アーチェリー	440
	ライフル射撃場	ライフル射撃	223
	総合運動場多目的棟(1階)	体育系5室	161
	総合運動場第2多目的棟(1階)		
	総合運動場複合棟	更衣室、講義室、音楽練習室、体育系5室	649
	第2体育クラブ棟	陸上競技部・サッカー部	46
	第3体育クラブ棟	自動車部	171
	第4体育クラブ棟	体育系10室	353
音楽練習共用施設	楽器演奏・合唱8室など	644	
学生会館	集会室9、和室3、談話室1	1,482	
学生会館周辺	第1文化サークル棟	文化系18室	387
	第2文化サークル棟	文化系11室	255
体育合宿所周辺	体育合宿所	合宿室3	378
	音楽練習室	楽器演奏・合唱2室など	414
	第1体育クラブ棟	体育系17室	345

## 福利厚生施設等

地区	施設	概要	面積(m <sup>2</sup> )	
東山地区	北部厚生会館	食堂：ホール(483席) 売店・旅行センター	733 492	
	南部厚生会館	売店 書籍店舗 自動車学校カウンター	285 200 43	
	南部食堂	食堂：1階ホール(428席) 食堂：2階ホール(340席) パンショップ	1,066 835 81	
	フォレスト	書籍・自習スペース(34席) 食堂：ホール(232席)	572 348	
	アメニティハウス	食堂：ホール(236席)	356	
	プランジ	売店	70	
	グリーンサロン東山	食堂：ホール(80席) 売店	194 66	
	IBカフェ	カフェ：ホール(10席)	74	
	ラボショップ	売店	97	
	ファミリーマート 名古屋大学店	コンビニエンスストア	216	
	ファミリーマート 名古屋大学IB館店	コンビニエンスストア	117	
	ユニバーサルクラブ	食堂(100席)	123	
	シェ ジロー	レストラン(32席)	120	
	シアトルエスプレスカフェ	カフェ(22席)	59	
	スターバックス コーヒー 名古屋大学附属図書館店	カフェ(50席)	91	
	CAFE BLANC	カフェ(31席)	56	
	Cafe de MON CIRFE	カフェ(36席)	27	
	regreg	カフェ(15席)	12	
	鶴舞地区	学生食堂	食堂(264席)	411
		医学部書籍店	書籍	124
医学部売店(Tsuru My Shop)		売店	161	
鶴友会館		食堂・喫茶(112席)	246	
医系研究棟1号館売店		コンビニエンスストア	52	
病棟1階売店		コンビニエンスストア	106	
レストラン花の木(病棟1階)		食堂(100席)	157	
大幸地区	福利施設(オアシスキューブ)	コンビニエンスストア・カフェ(共有スペース69席、カフェ52席)	484	
	リフレッシュルーム	マッサージ施術(ヘルスキーパー 3名)	36	
	大幸厚生会館	食堂：ホール(231席) 購買・書籍店	259 45	

## 公開施設等

施設	開館時間	休館日	問い合わせ先
附属図書館(中央図書館)	平日 8:00~22:00 土曜・日曜・祝日/一斉休業日 8:45~22:00	ホームページ参照	052-789-3678
博物館(古川記念館)	10:00~16:00(入館は15:30まで)	日曜、月曜	052-789-5767
野外観察園	10:00~16:00(入園は15:30まで)	土曜、日曜、祝日、閉校日	052-789-5767
2008ノーベル賞展示室(ES総合館)	10:00~16:00	日曜、月曜、祝日	052-747-6577
赤崎記念研究館	10:00~16:00	日曜、月曜、祝日	052-789-5969
ケミストリーギャラリー(野依記念物質科学研究館)	10:00~16:00	土曜、日曜、祝日	052-789-5907
広報プラザ	9:00~17:00	土曜、日曜、祝日	052-789-5773
減災館	13:00~16:00(入館は15:30まで) 5名以上の団体は要予約	日曜、月曜、火曜、最終土曜、祝日	052-789-3468
ジェンダー・リサーチ・ライブラリ	10:00~17:00(金曜は20:00まで)	日曜、月曜、祝日	052-747-6981
AMANO Gallery(天野ギャラリー)	8:30~17:15	土曜、日曜、祝日	052-747-6728
Common Nexus	平日 8:30~21:30 土曜 9:30~19:00	日曜、祝日、その他機構が定める日	comone_soumu@t.thers.ac.jp

注 詳細及び開館日は各施設のホームページ参照。  
変更の可能性もあります。

## 宿舎

令和7年5月1日現在

施設	概要	所在地
国際鳴鶴館(3棟)	単身室(13㎡) 日本人学生・留学生用 収容人員291名(男子179名(留学生28名含む)、 女子112名(留学生32名含む))	〒466-0811 名古屋市昭和区高峯町165
インターナショナルレジデンス東山	夫婦室(34㎡) 15室 外国人研究者用 家族室(51.84㎡) 2室 // 単身室(16㎡) 95室 留学生用 夫婦室(34㎡) 25室 //	〒464-8601 名古屋市千種区不老町1番
インターナショナルレジデンス山手 ノース	単身室(15㎡)104室 留学生用	〒466-0811 名古屋市昭和区高峯町165
インターナショナルレジデンス山手 サウス	単身室(約7㎡) 112室 留学生用	〒466-0811 名古屋市昭和区高峯町165
インターナショナルレジデンス妙見	単身室(15.1㎡) 93室 留学生用	〒466-0814 名古屋市昭和区妙見町40
インターナショナルレジデンス大幸	単身室(13㎡) 224室 留学生用 夫婦室(30㎡) 4室 //	〒461-0047 名古屋市東区大幸南1-1-18
リサーチャーズビレッジ東山	家族室(76.45㎡・78.33㎡) 2室 外国人研究者用 // (67.5㎡) 4室 //	〒464-8601 名古屋市千種区不老町1番
リサーチャーズビレッジ大幸	単身室(28㎡) 14室 外国人研究者用	〒461-0047 名古屋市東区大幸南1-1-20
リサーチャーズビレッジ八雲	家族室・夫婦室(53㎡) 9室 外国人研究者用	〒466-0823 名古屋市昭和区八雲町28
野依記念学術交流館・外国人研究者用居住施設	単身室(50.98㎡~54.15㎡) 3室 外国人研究者用 夫婦室(81.01㎡~91.10㎡) 5室 // 家族室(97.17㎡・107.35㎡) 2室 //	〒464-8601 名古屋市千種区不老町1番
職員宿舎(6棟)	単身・世帯室(43.84㎡~54.38㎡) 86室 世帯室(55.48㎡~64.49㎡) 280室	—————

## 保育園・保育所

施設	概要	収容定員	面積(㎡)	所在地
こすもす保育園	保育室6室	60名	456	〒464-8601 名古屋市千種区不老町
あすなろ保育園	保育室5室	80名	584	〒466-8560 名古屋市昭和区鶴舞町65
学童保育所	学童室1室	45名	121	〒464-8601 名古屋市千種区不老町

# 土地及び建物

## 土地及び建物

令和7年4月1日現在

	土 地		建 物	
	資産(m)	借入(m)	資産(m)	借入(m)
<b>東山地区</b>	<b>697,365</b>	<b>105</b>	<b>515,621</b>	
豊田講堂(含シンポジオン)			8,643	
広報プラザ			394	
インキュベーション施設			1,011	
福利厚生施設(学生会館、アメニティハウス、課外活動施設等)			16,499	
インターナショナルレジデンス			4,959	
保育所			584	
本部建物等			63,382	
附属図書館(中央図書館)			15,597	
人文学研究科・文学部			8,686	
教育発達科学研究科・教育学部			5,952	
教育学部附属中・高等学校			11,994	
法学研究科・法学部			4,120	
経済学研究科・経済学部			5,907	
法学部及び経済学部共用館			5,481	
全学教育棟・情報学部			20,420	
理学研究科・理学部			64,949	
工学研究科・工学部			99,923	
生命農学研究科・農学部			26,883	
国際開発研究科			6,150	
多元数理科学研究科			4,230	
環境学研究科			10,094	
情報学研究科			8,674	
総合保健体育科学センター			10,798	
環境医学研究所			5,456	
宇宙地球環境研究所			8,076	
未来材料・システム研究所			14,521	
先端技術共同研究施設			2,034	
情報基盤センター			4,231	
アイソトープ総合センター			3,196	
遺伝子実験施設			1,206	
古川記念館(含博物館)			4,289	
生物機能開発利用研究センター			2,676	
ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー			2,039	
文系総合館			7,835	
共同教育研究施設			5,311	
E S総合館			15,265	
グリーンビークル材料研究施設			2,842	
減災連携研究センター			2,898	
ナショナルコンポジットセンター			1,658	
トランスフォーマティブ生命分子研究所			7,471	
アジア法交流館			5,487	
創薬科学研究館			6,720	
研究所共同館Ⅱ			6,240	
ジェンダー・リサーチ・ライブラリ			840	
<b>鶴舞地区</b>	<b>89,137</b>		<b>217,804</b>	
医学部医学科・医学系研究科			67,462	
医学部附属病院(含看護師宿舎)			149,035	
鶴友会館			1,307	
<b>大幸地区</b>	<b>48,463</b>		<b>30,658</b>	
医学部保健学科・医学系研究科			22,602	
事務局(リサーチーズビレッジ大幸)			720	
総合保健体育科学センター(体育館)			1,369	
事務局(インターナショナルレジデンス大幸(ゴミ集積場含む))			5,967	

	土 地		建 物	
	資産 (㎡)	借入 (㎡)	資産 (㎡)	借入 (㎡)
<b>名古屋地区</b>				
事務局 (愛知医学校記念碑)		5		
<b>愛知県豊川地区</b>				
宇宙地球環境研究所 (豊川分室)	94,212		1,461	
<b>愛知県犬山地区</b>				
環境学研究科附属地震火山研究センター犬山地震観測所		6,254	359	
<b>愛知県豊橋地区</b>				
環境学研究科附属地震火山研究センター三河地殻変動観測所		1,654	210	
<b>愛知県東郷地区</b>	<b>283,731</b>		<b>5,078</b>	
生命農学研究科附属フィールド科学教育研究センター東郷フィールド	283,731		4,604	
馬術部厩舎			474	
<b>愛知県稲武・設楽地区</b>	<b>158,949</b>	<b>1,440,562</b>	<b>2,221</b>	
生命農学研究科附属フィールド科学教育研究センター稲武・設楽フィールド(稲武)		1,440,562	1,051	
生命農学研究科附属フィールド科学教育研究センター稲武・設楽フィールド(設楽)	158,949		1,170	
<b>三重県地区</b>				
理学研究科附属臨海実験所	(地上権) 33,057	568	1,816	
<b>岐阜県地区</b>				
環境学研究科附属地震火山研究センター高山地震観測所		2,486	226	
<b>長野県地区</b>				
宇宙地球環境研究所木曾観測施設		6,240	66	
<b>山梨県地区</b>				
宇宙地球環境研究所附属国際連携研究センター富士観測所	3,500	16,426	174	
<b>鹿児島県地区</b>				
宇宙地球環境研究所附属国際連携研究センター鹿児島観測所	13,203	511	287	
<b>北海道地区</b>	<b>110,534</b>	<b>28,146</b>	<b>375</b>	<b>117</b>
宇宙地球環境研究所附属国際連携研究センター母子里観測所	110,534		325	
宇宙地球環境研究所附属国際連携研究センター陸別観測所		28,146	50	117
<b>その他</b>	<b>76,661</b>	<b>11,999</b>	<b>50,928</b>	<b>2,898</b>
国際唎鳴館、インターナショナルレジデンス山手 (名古屋市昭和区高峯町)	10,691		10,751	
インターナショナルレジデンス妙見 (名古屋市昭和区妙見町)	1,288		2,277	
リサーチャーズビレッジ八雲 (名古屋市昭和区八雲町)	731		724	
法人宿舎 (6団地)	56,188		36,131	
ヨット艇庫 (愛知県蒲郡市海陽町)				224
ボート艇庫 (名古屋市中川区大端郷町)	2,408		763	
観測施設等 (愛知県豊田市稲武町 他)		11,999	128	2,674
保育所敷地 (東山地区、鶴舞地区)	1,864			
事務局 (朝岡団地、四谷団地、春日井市、陶生町団地)	3,492		154	
<b>合 計</b>	<b>1,608,813</b>	<b>1,514,956</b>	<b>827,284</b>	<b>3,015</b>
		<b>3,123,769</b>		<b>830,299</b>

# キャンパスマップ

## 鶴舞地区



## 医学部・医学系研究科

- A 医系研究棟1号館
- B 医系研究棟2号館
- C 医系研究棟3号館
- D 基礎研究棟(講義棟)
- E 基礎研究棟別館
- F 附属医学教育研究支援センター  
(実験動物部門)
- G 附属図書館・医学部史料館・学生食堂
- H 福利施設
- I 鶴友会館

## 医学部附属病院

- 1 外来棟
- 2 中央診療棟A
- 3 中央診療棟B
- 4 病棟
- 5 看護師宿舎A棟
- 6 看護師宿舎B棟
- 7 オアシスキューブ(福利施設)
- ※ ドナルド・マクドナルド・ハウス なごや

## 施設名称

- 1 医学部保健学科本館
- 2 医学部保健学科東館
- 3 医学部保健学科南館
- 4 医学部保健学科別館
- 5 エネルギーセンター
- 6 研究棟
- 7 厚生会館
- 8 リサーチーズビレッジ大幸
- 9 車庫
- 10 体育館
- 11 硬式庭球場
- 12 運動場
- 13 弓道場
- 14 大幸ガラス温室
- 15 インターナショナルレジデンス大幸

## 大幸地区



# キャンパスマップ



## 公開施設

- |                                   |  |
|-----------------------------------|--|
| <b>C3 5</b> Common Nexus (ComoNe) | <b>D2 10</b> ケミストリーギャラリー (野依記念物質科学研究館) |
| <b>B3 2</b> 附属図書館(中央図書館)          | <b>C2 4</b> 2008ノーベル賞展示室 (ES総合館)       |
| <b>D4 1</b> 博物館(古川記念館)            | <b>B2 6</b> 赤崎記念研究館                    |
| <b>B5 2</b> 博物館野外観察園              | <b>F3 10</b> AMANO Gallery (C-TECs)    |
| <b>C2 6</b> 減災館                   | <b>D4 2</b> 広報プラザ                      |
| <b>C4 6</b> ジェンダー・リサーチ・ライブラリ      | <b>D1 2</b> 大学文書資料室(本部別館)              |

## コンベンション施設

- |                                 |                                      |
|---------------------------------|--------------------------------------|
| <b>D3 6</b> 豊田講堂・シンポジオン         | <b>C2 1</b> FUJIホール (EI創発工学館)        |
| <b>E3 1</b> 野依記念学術交流館           | <b>C2 1</b> TEL オーディトリウム (EI創発工学館)   |
| <b>C4 3</b> 経済学部キタホール(法・経本館共用館) | <b>C5 3</b> アジアコミュニティフォーラム (アジア法交流館) |
| <b>D2 7</b> 坂田・平田ホール (理学南館)     | <b>C2 7</b> オークマホール (オークマ工作機械工学館)    |
| <b>C3 1</b> 大講義室 (IB電子情報館)      | <b>B4 4</b> カンファレンスホール (文系総合館)       |
| <b>C2 4</b> ESホール (ES総合館)       |                                      |

## 食堂・レストラン

- |                                  |                                     |
|----------------------------------|-------------------------------------|
| <b>B5 3</b> 南部食堂                 | <b>D1 4</b> レストラン花の木 (グリーンサロン東山)    |
| <b>C2 2</b> 北部食堂~Polaris Dining~ | <b>D3 5</b> ユニバーサルクラブ (豊田講堂・シンポジオン) |
| <b>D1 3</b> ダイニングフォレスト           | <b>C2 4</b> シェ ジョー (ES総合館)          |

## カフェ

- |                                  |   |
|----------------------------------|---|
| <b>B3 2</b> スターバックス コーヒー (中央図書館) | <b>C4 6</b> CAFE BLANC (ジェンダー・リサーチ・ライブラリ) |
| <b>C2 6</b> シアトルエスプレスカフェ (NIC)   | <b>F3 10</b> カフェドゥ・モン・シェルフェ (C-TECs)      |
| <b>B4 1</b> レブレグ (全学教育棟本館)       |   |

## 売店

- |   |                                |
|---|--------------------------------|
| <b>B5 4</b> 南部購買 (南部厚生会館)               | <b>F3 7</b> ラボショップ (創薬科学研究館)   |
| <b>C2 2</b> 北部購買~Polaris Shop~ (北部厚生会館) | <b>C3 1</b> IBカフェ (IB電子情報館)    |
| <b>D1 3</b> ブックスフロント                    | <b>B4 1</b> プランソ (全学教育棟本館)     |
| <b>B4 2</b> ファミリーマート名古屋大学店              | <b>D1 4</b> 理系ショップ (グリーンサロン東山) |
| <b>C3 1</b> ファミリーマート名古屋大学IB館店           |                                |

## 本部事務局

- |                   |                                       |
|-------------------|---------------------------------------|
| <b>D3 7</b> 本部1号館 | <b>C4 1</b> 国際開発棟                     |
| <b>D4 4</b> 本部2号館 | <b>D3 6</b> 学生支援棟                     |
| <b>E4 1</b> 本部3号館 | <b>C2 6</b> ナショナルイノベーションコンプレックス (NIC) |
| <b>D4 3</b> 本部4号館 | <b>C3 2</b> 情報基盤センター                  |

## 部局事務局

- |   |  |
|---|--|
| <b>B4 4</b> 文系事務局 (文系総合館)                   | <b>E2 1</b> 農学部・生命農学研究科事務部 (農学部管理棟)        |
| <b>B4 1</b> 情報学部・情報学研究科事務部 (全学教育棟本館)        | <b>D2 2</b> 環境学研究科事務部 (環境総合館)              |
| <b>D2 11</b> 理学部・理学研究科・多元数理科学研究科事務部 (理学部C館) | <b>F3 7</b> 創薬科学研究科・細胞生理学センター事務部 (創薬科学研究館) |
| <b>C2 4</b> 工学部・工学研究科事務部 (ES総合館)            | <b>F3 3</b> 研究所事務局 (研究所共同館I)               |
|   | <b>B3 2</b> 附属図書館事務部 (中央図書館)               |

## 文学部・人文学研究科

- |                     |                   |
|---------------------|-------------------|
| <b>C4 1</b> 国際開発棟   | <b>B4 3</b> 文学部本館 |
| <b>A4 2</b> 人文学共用館  | <b>B4 4</b> 文系総合館 |
| <b>B4 1</b> 全学教育棟本館 |                   |

## 教育学部・教育発達科学研究科

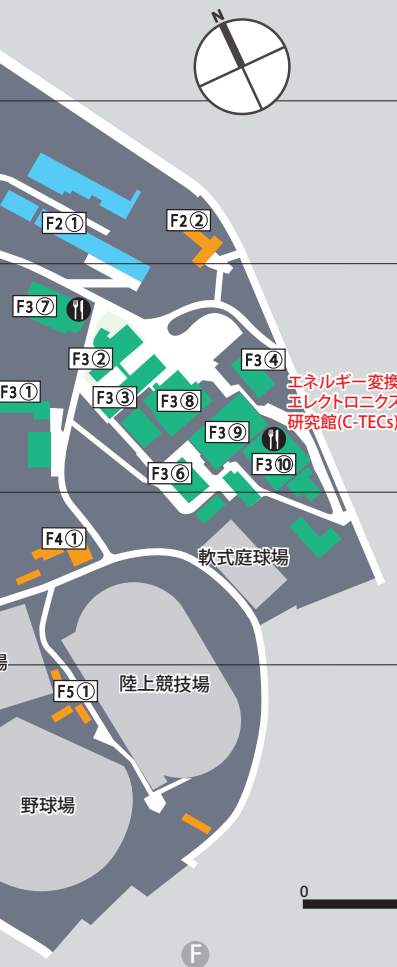
- |                            |                    |
|----------------------------|--------------------|
| <b>A2 1</b> 教育学部附属中学校・高等学校 | <b>B4 5</b> 教育学部本館 |
|----------------------------|--------------------|

## 法学部・法学研究科

- |                                  |                              |
|----------------------------------|------------------------------|
| <b>C5 3</b> アジア法交流館              | <b>B5 5</b> 法科大学院 (アメニティハウス) |
| <b>C4 4</b> 法学部・法学研究科 (法・経本館共用館) |                              |

## 経済学部・経済学研究科

- |                                    |
|------------------------------------|
| <b>C4 2</b> 経済学部・経済学研究科 (法・経本館共用館) |
|------------------------------------|



Webからもご確認いただけます



- 公開施設・本部事務局等
- 文系・文理連携等
- 理学系
- 工学系
- 農学系
- 全学共通施設等
- 厚生施設等
- 地下鉄出入口
- バス停
- ▲ 車両入構口
- ▲ 車両出構口
- 食堂・売店等



0 100 200 300m

情報学部・情報学研究科

- C3 1 IB電子情報館
- A4 3 情報学研究科棟
- B4 1 全学教育棟本館
- C2 6 ナショナルイノベーションコンプレックス (NIC)
- D3 3 理学部B館

理学部・理学研究科

- D3 2 A館
- D3 3 B館
- D2 11 C館
- D2 9 D館
- D2 5 E館
- D2 4 F館
- D2 3 G館
- D3 1 極低温実験室
- D2 8 理学館
- C3 4 理学部共用館
- D2 7 理学南館
- D2 6 理農館

工学部・工学研究科

- B2 5 1号館
- B3 3 2号館
- B3 1 3号館
- C2 3 5号館
- F2 1 6号館
- C1 3 8号館北棟
- C1 4 8号館南棟
- C1 2 9号館
- C2 1 EI創発工学館
- C2 4 ES総合館
- C3 1 IB電子情報館
- C2 7 オークマ工作機械工学館
- B2 2 航空・機械実験棟

農学部・生命農学研究科

- E1 1 A館
- E2 5 B館
- E2 1 管理棟
- E2 4 講義棟
- D2 6 理農館

国際開発研究科

- C4 1 国際開発棟

多元数理科学研究科

- D3 4 多元数理科学棟

環境学研究科

- C2 4 ES総合館
- F3 1 環境共用館
- D2 2 環境総合館
- B4 1 全学教育棟本館
- D2 5 理学部E館

創薬科学研究科

- F2 1 工学部6号館
- F3 7 創薬科学研究館

教養教育院

- A4 1 全学教育棟A館
- B4 1 全学教育棟本館

博士課程教育推進機構

- D2 11 理学部C館

附置研究所／共同利用・共同研究拠点

- E3 2 環境医学研究所
- F3 10 未来材料・システム研究所 (エネルギー変換エレクトロニクス研究館C-TECs)
- F3 9 未来材料・システム研究所 (エネルギー変換エレクトロニクス実験施設C-TEFs)
- F3 8 未来材料・システム研究所 (研究所共同館II)
- B2 1 未来材料・システム研究所 (高効率エネルギー変換研究施設)
- C1 1 未来材料・システム研究所 (先端技術共同研究施設)
- F3 6 未来材料・システム研究所 (総合研究実験棟)
- D1 1 未来材料・システム研究所 (超高圧電子顕微鏡施設)
- F3 3 宇宙地球環境研究所 (研究所共同館I)
- F3 8 宇宙地球環境研究所 (研究所共同館II)
- D4 1 宇宙地球環境研究所 (古川記念館)
- C2 6 低温プラズマ科学研究センター (NIC)
- C2 1 糖鎖生命コア研究所 (EI創発工学館)
- C3 2 情報基盤センター

総合保健体育科学センター

- E5 1 総合保健体育科学センター
- C3 3 保健管理室

国際高等研究機構

- F3 2 高等研究院 (高等総合研究館)
- D2 1 トランスフォーマティブ生命分子研究所 (ITbM)
- C2 4 素粒子宇宙起源研究所 (ES総合館)

学際統合物質科学研究機構

- D2 10 野依記念物質科学研究館

未来社会創造機構

- F3 4 グリーンビークル材料研究施設
- C2 6 ナショナルイノベーションコンプレックス (NIC)

グローバル・マルチキャンパス推進機構

- C5 1 アジアサテライトキャンパス学院 (国際棟)
- C5 3 法政国際教育協力研究センター (アジア法交流館)
- D2 2 国際環境人材育成センター (環境総合館)
- C5 3 日本教育研究センター (アジア法交流館)

その他教育研究施設 (学内共同教育研究施設等)

- E2 3 アイソトープ総合センター
- D2 4 遺伝子実験施設 (理学部F館)
- C5 1 言語教育センター (国際棟)
- C2 5 減災連携研究センター (減災館)
- B4 4 高等教育研究センター (文系総合館)
- B4 5 心の発達支援研究実践センター (教育学部本館)
- F2 1 細胞生理学センター (工学部6号館)
- D1 2 ジェンダーダイバーシティセンター (本部別館)
- C1 4 シンクロトロン光研究センター (工学部8号館南棟)
- E2 2 生物機能開発利用研究センター
- B2 4 ディープテック・シリアルイノベーションセンター (ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー)
- E3 4 ナショナルコンポジットセンター
- E1 1 農学国際教育研究センター (農学部A館)
- D2 10 物質科学国際研究センター (野依記念物質科学研究館)
- C5 3 法政国際教育協力研究センター (アジア法交流館)

産学官連携関連施設

- E2 6 Tokai Open Innovation Complex NAGOYA
- B2 3 インキュベーション施設
- F3 4 グリーンビークル材料研究施設
- C2 6 ナショナルイノベーションコンプレックス (NIC)
- B2 4 ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー

学生支援組織等

- B4 1 アビリティ支援センター (全学教育棟本館)
- C5 1 グローバル・エンゲージメントセンター (国際棟)
- D3 6 学生相談センター・キャリアサポートセンター (学生支援棟)
- C3 1 グローバル・エンゲージメントセンター アドバイジング・カウンセリングサービス (IB電子情報館)

スポーツ関連施設

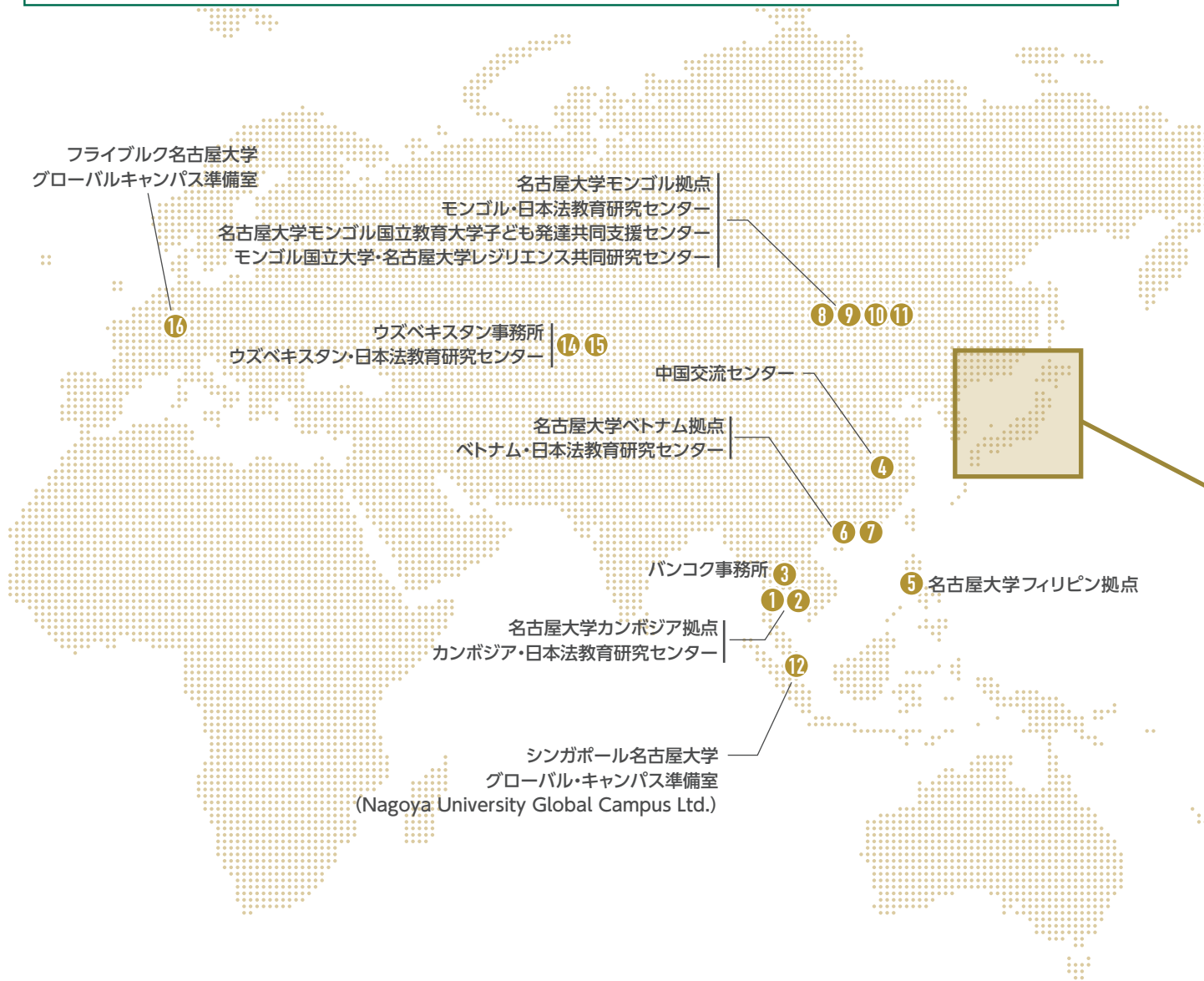
- E5 2 新体育館
- F5 1 総合運動場複合棟
- F4 1 体育合宿所
- B5 1 体育館・屋内プール

その他

- E4 2 インターナショナルレジデンス東山
- B1 1 学生会館
- D1 4 グリーンサロン東山
- F2 2 リサーチャーズ・ビレッジ東山

キャンパスマップ

# 海外拠点一覧・キャンパス所在地



## アジア

- ① 名古屋大学カンボジア拠点(カンボジア・プノンペン)
- ② カンボジア・日本法教育研究センター(カンボジア・プノンペン)
- ③ バンコク事務所(タイ・バンコク)
- ④ 中国交流センター(中国・上海)
- ⑤ 名古屋大学フィリピン拠点(フィリピン・ロスバニョス)
- ⑥ 名古屋大学ベトナム拠点(ベトナム・ハノイ)
- ⑦ ベトナム・日本法教育研究センター(ベトナム・ハノイ)
- ⑧ 名古屋大学モンゴル拠点(モンゴル・ウランバートル)
- ⑨ モンゴル・日本法教育研究センター(モンゴル・ウランバートル)

- ⑩ 名古屋大学モンゴル国立教育大学子ども発達共同支援センター(モンゴル・ウランバートル)
- ⑪ モンゴル国立大学・名古屋大学レジリエンス共同研究センター(モンゴル・ウランバートル)
- ⑫ シンガポール名古屋大学グローバル・キャンパス準備室(Nagoya University Global Campus Ltd.)(シンガポール)

## 北米

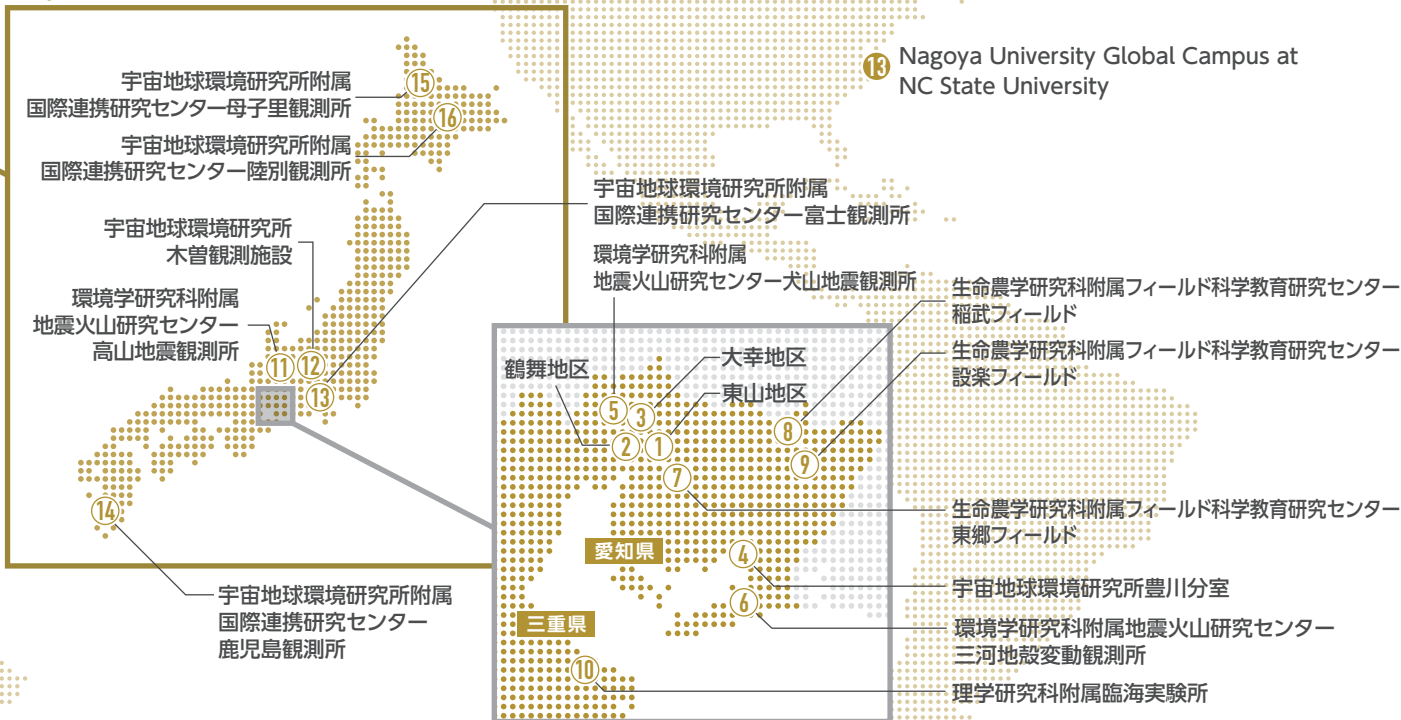
- ⑬ Nagoya University Global Campus at NC State University(米国・ノースカロライナ州)

## 欧州

- ⑭ ウズベキスタン事務所(ウズベキスタン・タシケント)
- ⑮ ウズベキスタン・日本法教育研究センター(ウズベキスタン・タシケント)
- ⑯ フライブルク名古屋大学グローバルキャンパス準備室(ドイツ・フライブルク)



日本



18 Nagoya University Global Campus at NC State University

日本

- ① 東山地区 〒464-8601 (理、工を除く東山地区) 名古屋市千種区不老町  
〒464-8602 (理学部)、〒464-8603 (工学部)
- ② 鶴舞地区 〒466-8550 (医学部医学科) 名古屋市昭和区鶴舞町65番地  
〒466-8560 (医学部附属病院)
- ③ 大幸地区 〒461-8673 名古屋市東区大幸南1丁目1番20号
- ④ 宇宙地球環境研究所豊川分室
- ⑤ 環境学研究科附属地震火山研究センター犬山地震観測所
- ⑥ 環境学研究科附属地震火山研究センター三河地殻変動観測所
- ⑦ 生命農学研究科附属フィールド科学教育研究センター東郷フィールド
- ⑧ 生命農学研究科附属フィールド科学教育研究センター稲武フィールド

- ⑨ 生命農学研究科附属フィールド科学教育研究センター設楽フィールド
- ⑩ 理学研究科附属臨海実験所
- ⑪ 環境学研究科附属地震火山研究センター高山地震観測所
- ⑫ 宇宙地球環境研究所木曾観測施設
- ⑬ 宇宙地球環境研究所附属国際連携研究センター富士観測所
- ⑭ 宇宙地球環境研究所附属国際連携研究センター鹿児島観測所
- ⑮ 宇宙地球環境研究所附属国際連携研究センター母子里観測所
- ⑯ 宇宙地球環境研究所附属国際連携研究センター陸別観測所

注 「土地及び建物」における事務局(愛知医学学校記念碑)、馬術部厩舎及び「その他」は省略。

# アクセスマップ

## 鉄道路線図



- **東山キャンパス** 地下鉄名城線「名古屋大学」駅下車 徒歩1分
- **鶴舞キャンパス** JR中央本線・地下鉄鶴舞線「鶴舞」駅下車 徒歩5分
- **大幸キャンパス** JR中央本線「大曾根」駅下車 徒歩15分 / 地下鉄名城線「ナゴヤドーム前矢田」駅下車 徒歩5分

## 学年暦

4月 1日	学年開始・春学期開始	9月30日	春学期終了
4月 5日	入学式	10月 1日	秋学期開始・秋季入学式
4月10日～8月 6日	春学期授業期間	10月 2日～2月 6日	秋学期授業期間
5月 1日	名古屋大学記念日	12月28日～1月 7日	冬季休業
8月 8日～9月30日	夏季休業	3月25日	卒業式
9月29日	秋季卒業式	3月31日	秋学期終了・学年終了

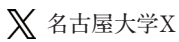
〒464-8601 名古屋市千種区不老町 Tel.052-789-5111(代表) nuinfo@t.mail.nagoya-u.ac.jp



名古屋大学HP  
<https://www.nagoya-u.ac.jp/>



広報名大  
 広報名大  
<https://note.com/nagoyauniversity/>



名古屋大学X  
[https://x.com/NagoyaUniv\\_info](https://x.com/NagoyaUniv_info)



名古屋大学Instagram  
<https://www.instagram.com/nagoya.university/>



名古屋大学Facebook  
<https://www.facebook.com/Nagoya.Univ.info>



「名古屋大学プロフィール 2025」は、FSC® 認証紙とベジタブルインキを使用しています。

## 名古屋大学基金のご案内

名古屋大学が優れた人材輩出や世界的な研究成果により、今後も日本や地域に貢献し続けるには、安定した独自財源が必要です。「名古屋大学基金」はその基盤であり、皆様からのご寄附を、さまざまな事業に活用させていただきます。

何卒ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



### 寄附の種類

#### 名古屋大学全体へのご寄附

##### 名古屋大学基金

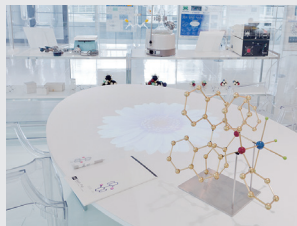
名古屋大学基金「本体」にお寄せいただいた厚志は、元本を切り崩すことなく、将来に向かって安定した基金として積み立て、その運用益をもって、様々な各種奨学支援事業、国際交流事業、若手研究助成事業等に活用させていただきます。



#### 特定の学部・研究科やプロジェクトへのご寄附

##### 特定基金

支援目的をより詳細に特定してご寄附いただける事業も多数あります。これらの特定基金は、直接各事業の支出に充てさせていただきます。



#### 使わなくなったもので支援する

##### 名大応援エコギフト

身の回りの使わなくなった物（CD、本、デジタル家電、おもちゃ、貴金属等）を通じて名古屋大学に寄附いただくプロジェクトです。ご寄附は、名古屋大学の人材育成、最先端研究、国際化、イノベーション、附属図書館支援に活用させていただきます。





名古屋大学  
NAGOYA UNIVERSITY

発行年月 / 2025年7月

企画編集 / 名古屋大学総務部広報課

〒464-8601 名古屋市千種区不老町 Tel.052-789-2699

